

# OECD 生徒の学習到達度調査

Programme for International Student Assessment

# PISA

## 2009 年デジタル読解力調査

### ～国際結果の概要～



文部科学省

国立教育政策研究所



# 目 次

I. PISA調査について	1
調査サイクル	1
内容	1
調査対象	2
調査方法	2
結果の分析尺度	2
II. デジタル読解力調査について	3
1. デジタル読解力調査とは？	3
2. デジタル読解力調査の対象、問題及び実施方法	5
3. デジタル読解力とプリント読解力の違い	6
4. デジタル読解力問題の内容・出題形式別問題数	7
5. デジタル読解力とプリント読解力の習熟度の関係	8
6. デジタル読解力問題の難易度とその特徴	9
III. デジタル読解力調査の結果	10
～結果のポイント～	10
1. 習熟度レベルの国際比較	12
2. 習熟度レベルの男女差	12
3. 平均得点の国際比較	13
4. 各国内での得点の分布	14
5. 平均得点の男女差	15
6. デジタル読解力と諸要因との関係	16
7. デジタル読解力の問題例	64
IV. 付録	89
1. PISA2009年調査結果の概要（分野別平均得点の国際比較）	89
2. 第1回から第4回調査の国際比較	91
3. 日本における生徒の習熟度レベル分布の変化	92

## 【図表一覧】

表 1	デジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	20
図 1	デジタル読解力における生徒の習熟度レベル別分布	21
表 2	プリント読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	22
図 2	デジタル読解力、プリント読解力における習熟度レベル別に見た生徒の割合	23
表 3	合成読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	24
表 4	男女別に見たデジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	25
図 3	男女別にみたデジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	26
表 5	男女別に見たプリント読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	27
表 6	男女別に見た合成読解力における習熟度レベル別の生徒の割合	28
表 7	デジタル読解力における平均得点と順位の範囲	29
表 8	合成読解力における平均得点と順位の範囲	30
図 4	デジタル読解力とプリント読解力の得点差	31
図 5	デジタル読解力とプリント読解力の関係	32
表 9	デジタル読解力平均得点の国別分布	33
表 10	プリント読解力平均得点の国別分布	34
表 11	合成読解力平均得点の国別分布	35
表 12	デジタル読解力平均得点の男女差	36
図 6	デジタル読解力平均得点の男女差	37
表 13	プリント読解力平均得点の男女差	38
図 7	デジタル読解力、プリント読解力における男女差の比較	39
表 14	合成読解力平均得点の男女差	40
表 15	読書活動（「楽しみで本を読む」）とデジタル読解力の得点	41
図 8	読書活動（「楽しみで本を読む」）とデジタル読解力との関係	42
表 16	読む本の種類・頻度とデジタル読解力の得点	43
図 9	読む本の種類・頻度とデジタル読解力との関係	44
表 17	ネット検索（情報活動）とデジタル読解力の得点	45
図 10	ネット検索（情報活動）とデジタル読解力との関係	46
表 18	ネット上での社会活動とデジタル読解力の得点	47
図 11	ネット上での社会活動とデジタル読解力との関係	48
表 19	学校でのコンピュータ利用から見たデジタル読解力	49
図 12	学校でコンピュータを利用している生徒とそうでない生徒のデジタル読解力の得点差	50
表 20	マルチメディア作品を作ることに関する回答別に見た生徒の割合	51
図 13	マルチメディア作品を作ることができると回答した生徒の割合	52
表 21	表計算ソフトを使ってグラフを作成することに関する回答別に見た生徒の割合	53
図 14	表計算ソフトを使ってグラフを作成することができると回答した生徒の割合	54
表 22	国語・数学・理科の各授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）	55
図 15	国語の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）	56
図 16	数学の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）	57
図 17	理科の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）	58
表 23	自宅のコンピュータの有無から見たデジタル読解力	59
表 24	自宅でのコンピュータ利用から見たデジタル読解力	60

図 18	自宅でコンピュータを利用している生徒とそうでない生徒のデジタル読解力の 得点差.....	61
表 25	読解力の得点と「生徒の社会経済文化的背景」指標 (EGSC) との関係.....	62
図 19	社会経済文化的背景の影響力と読解力.....	63
表 26	デジタル読解力問題の分類と正答率、無答率.....	65
表 27	デジタル読解力問題の分類と男女別正答率.....	66
表 28	デジタル読解力問題における分類別に見た平均正答率、平均無答率.....	67
表 29	「手助けしたい」に関する問 1 の結果.....	69
表 30	「手助けしたい」に関する問 2 の結果.....	70
表 31	「手助けしたい」に関する問 3 の結果.....	72
表 32	「手助けしたい」に関する問 4 の結果.....	75
表 33	「匂い」に関する問 1 の結果.....	77
表 34	「匂い」に関する問 2 の結果.....	80
表 35	「匂い」に関する問 3 の結果.....	82
表 36	「お仕事検索ネット」に関する問 1 の結果.....	83
表 37	「お仕事検索ネット」に関する問 2 の結果.....	85
表 38	「お仕事検索ネット」に関する問 3 の結果.....	88



## I. PISA調査について

- 参加国が共同して国際的に開発し、実施している 15 歳児を対象とする学習到達度調査。
- 読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの 3 分野について調査。
- 2009 年に 65 か国・地域（OECD 加盟国 34、非加盟国・地域 31）、約 47 万人の生徒を対象に調査を実施した。なお、2000 年調査には 32 か国（OECD 加盟国 28、非加盟国 4）が、2003 年調査には 41 か国・地域（OECD 加盟国 30、非加盟国・地域 11）が、2006 年調査には 57 か国・地域（OECD 加盟国 30、非加盟国・地域 27）が参加。
- PISA2009 年調査の国際的な調査の実施・調整は、オーストラリア教育研究所（ACER）を中心とするコア A とオランダ教育測定研究所（Cito）を中心とするコア B の 2 つの国際コンソーシアムが行っている。前者は主にテスト問題の開発、調査の実施・調整、データの収集、結果の分析等を、後者は主に質問紙調査の開発、データの収集、結果の分析等を行っている。日本では、コア A のメンバーでもある国立教育政策研究所を中心に、文部科学省及び国立大学法人東京工業大学教育工学開発センターと連携・協力して PISA 調査を実施。

### 【 調査サイクル 】

- PISA 調査は 2000 年に第 1 回目の本調査が実施され、以後 3 年ごとのサイクルで調査が継続されている。2009 年本調査は第 4 サイクルにあたる。
- 各調査サイクルでは調査時間の 3 分の 2 を費やす中心分野を重点的に調べ、他の 2 つの分野については概括的な状況を調べる。2000 年調査では読解力、2003 年調査では数学的リテラシー、2006 年調査では科学的リテラシー、さらに 2009 年調査では再び読解力が中心分野となった。なお、2003 年調査ではこれら 3 分野に加え、問題解決能力についても評価したが、2006 年調査及び 2009 年調査では実施していない。

### 【 内容 】

- 2009 年調査では読解力を中心分野として、数学的リテラシー、科学的リテラシーの 3 分野を調査。
- PISA 調査は、義務教育修了段階の 15 歳児が持っている知識や技能を、実生活の様々な場面でどれだけ活用できるかをみるものであり、特定の学校カリキュラムをどれだけ習得しているかをみるものではない。
- 思考プロセスの習得、概念の理解、及び各分野の様々な状況でそれらを生かす力を重視。
- 読解力の定義が、「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、これに取り組

む能力」(下線:新たに加えられた部分)となった。読解力はただ単に読む知識や技能があるというだけでなく、様々な目的のために読みを価値付けたり、用いたりする能力によっても構成されるという考え方から、「読みへの取り組み」(engaging with written texts)という要素が加えられた。つまり、読むことに対してモチベーション(動機付け)があり、読書に対する興味・関心があり、読書を楽しみと感じており、読む内容を精査したり、読書の社会的な側面に関わったり、読書を多面的にまた頻繁に行っているなどの情緒的、行動的特性を指す。

## 【 調査対象 】

- 15 歳児に関する国際定義に従って、わが国では、調査対象母集団を「高等学校本科の全日制学科、定時制学科、中等教育学校後期課程、高等専門学校」の1年生、約117万人と定義し、層化二段抽出法によって、調査を実施する学校(学科)を決定し、各学校(学科)から無作為に調査対象生徒を選定した。2009年の筆記型調査には、全国の185校(学科)、約6,000人の生徒が参加。

## 【 調査方法 】

- 2009年の筆記型調査では、各生徒はテスト問題に2時間取り組んだ。なお、国際オプションとして、わが国を含む19か国・地域でコンピュータを使用した読解力調査(次頁以降を参照)を実施。
- PISA調査は、多肢選択式及び自由記述式等の問題から構成されている。設問は、実生活で遭遇するような状況を説明する文章等に基づいて解答するものとなっている。
- 2009年の筆記型調査では総計6.5時間分に相当する問題を使用し、問題の組み合わせによって13種類(冊)のブックレット(テスト問題群)が準備された。各生徒はそのうちの1種類のブックレットに、2時間かけて解答。
- 生徒自身及び学習環境等に関する情報を収集するための生徒質問紙(生徒対象)、学校に関する情報を収集するための学校質問紙(校長対象)を実施。それぞれ回答時間は約30分程度。

## 【 結果の分析尺度 】

- OECD加盟国の生徒の平均得点が500点、約3分の2の生徒が400点から600点の間に入るように換算(OECD加盟国の平均が500点、標準偏差が100点)。ただし、平均得点については、2000年調査以降トルコ、スロバキア、チリなどの国がOECDに加盟したこともあり、必ずしも500点になっていない。
- PISA調査では、調査分野ごとに、調査問題の難易度をもとに得点をスケール化したものを習熟度(proficiency)あるいは習熟度レベル(proficiency level)と呼んでいる。2009年調査の評価の枠組みの検討にあたっては、読解力の習熟度レベルについて、



高いレベルと低いレベルをより詳細に測定、分析することが必要ではないかとの議論がなされ、読解力の習熟度レベルの見直しが行なわれた。これにより、2000年調査以降使われていた6段階（レベル5、レベル4、レベル3、レベル2、レベル1、レベル1未満）の習熟度レベルが、8段階（レベル6、レベル5、レベル4、レベル3、レベル2、レベル1a、レベル1b、レベル1b未満）となった。なお、数学的リテラシー及び科学的リテラシーは、それぞれこれまでの7段階（レベル6～レベル1未満）で変更はない。

## Ⅱ. デジタル読解力調査について

### 1. デジタル読解力調査とは？

PISA調査では、読解力を「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれたテキストを理解し、利用し、熟考し、これに取り組む能力」と定義付けている。このうち「書かれたテキスト」とは、プリントされたテキストだけでなく、インターネットやコンピュータ上でアクセスできるようなデジタルなテキストも含まれる。したがって、デジタルテキストに基づく「デジタル読解力」は、上述の読解力の一部とみなされる。

職場においてだけでなく、個人としての生活や社会生活、市民生活の場などにおいて、ICTスキルは重要性を増している。情報に通じ、社会と関わっていくためには、ICTスキルを通じて情報にアクセスするだけでなく、インターネットを効果的に利用する技能・知識を持っていることが必要となる。このように今後ますますデジタルテキストがあらゆる分野に入り込むことが予測されるため、すでに、読解力を中心分野とする第1回目のPISA2000年調査において、将来的には、評価問題冊子（ブックレット）及び質問紙に解答（回答）する筆記型から、コンピュータを使って問題を解き、解答（回答）を集計し、採点する方向になると考えられ、国際的に様々な機関・関係者によって、調査の枠組みや調査手法などの開発が行われてきた。

プリントされたテキストの読解（プリント読解）とデジタルテキストの読解（デジタル読解）に必要な技能は基本的に同じであるが、媒体としての性質の違いからもたらされるものとして、例えば、「情報へのアクセス・取り出し」では両者とも情報を選択、収集し、取り出す技能が求められるが、デジタルテキストでは、それに加え複数のナビゲーション・ツールを利用し、多くのページを横断しながら、特定のウェブページにたどり着き、特定の情報を見つけ出す技能が求められる。あるいは「統合・解釈」では、プリントテキストの場合、すでに構築されている連続的なテキストの内部において情報をまとめるのに対し、デジタルテキストの場合、リンクを選択し、テキストを収集、理解するプロセスにおいて、それぞれのテキストの重要な側面を読み手自身が構築していくという違いがある。さらに「熟考・評価」では、プリントテキスト以上に、デジタルテキストでは情報の出所や信頼性、正確さを吟味、判断しなければならない、などである。すなわち、デジタルテキストの読解にはプリントテキストの読解に加えて、新たな力点や戦略が必要とされる。PISA2009年調査のデジタル読解力調査で使用されたテキストはハイパーテキストに限定されているが、その中でも多様なテキストが含まれている。

なお、PISA2009年調査におけるデジタル読解力調査は、国際オプションとして実施され、予備調査には23か国・地域が、また本調査には19か国・地域が参加した。日本は予備調査、本調査のいずれにも参加した。

(注) コンピュータを使用したPISAの読解力調査を、OECD事務局ではデジタル読解力調査(Digital Reading Assessment)、PISA国際センターでは電子版読解力調査(Electronic Reading Assessment: ERA)と呼んでいるが、調査結果の公表は基本的にOECDが担当しているため、ここではデジタル読解力調査とした。また、PISA2006年調査では、学校に持ち込んだラップトップ・コンピュータを使用した科学的リテラシー調査(Computer-Based Assessment of Science(CBAS))を実施し、日本は予備調査のみに参加した。ただし、本調査を実施した国は2か国のみであった。デジタル読解力調査は、この時の成果及び経験を発展させたものである。

➤ デジタル読解力調査参加国・地域

・OECD加盟国(16か国)

オーストラリア オーストリア ベルギー チリ デンマーク フランス  
ハンガリー アイスランド アイルランド 日本 韓国 ニュージーランド  
ノルウェー ポーランド スペイン スウェーデン

・非OECD加盟国・地域(3か国・地域)

コロンビア 香港 マカオ

- (1) PISA2009年デジタル読解力調査の国際結果公表にあたっては、OECDはデジタル読解力のほか、筆記型の読解力をプリント読解力(print reading literacy)、デジタル読解力とプリント読解力の算術平均として捉えられる合成読解力(composite reading literacy)を用いており、この「国際結果の概要」においてもそれらの用語を使った。
- (2) 日本語版国際結果の概要を作成するにあたっては、OECDのPISA2009年調査国際結果報告書シリーズ(*Volume VI: Students on Line: Reading and Using Digital Information*)に盛り込まれる内容を踏まえ、わが国の結果を中心とする形に図表等の構成を変えるとともに、わが国に参考となる結果を中心に構成している。
- (3) PISA2009年調査では、生徒質問紙のほか、国際オプションとしてコンピュータの利用等に関するICT質問紙も実施しており、日本を含む44か国・地域が参加したが、デジタル読解力調査に参加したのはそのうち17か国・地域である。本文中の記述及び図表では、生徒質問紙に関しては19か国・地域のデータ、ICT質問紙に関しては17か国・地域のデータを取り上げている。
- (4) 本文中及び図表での国名については略称を用いるとともに、国としての参加ではない場合もあるが、煩雑さを避けて「国」としている。

## 2. デジタル読解力調査の対象、問題及び実施方法

### (1) 調査対象

PISA2009年の筆記型調査に参加した生徒の一部。日本は185校（学科）、約6,000人の筆記型調査参加者の中から109校（学科）、約3,430人が参加。

	国・地域名	参加学校数	参加生徒数
OECD 加盟国	オーストラリア	334	2,990
	オーストリア	256	2,622
	ベルギー	247	2,796
	チリ	198	1,699
	デンマーク	220	1,270
	フランス	140	1,301
	ハンガリー	183	1,792
	アイスランド	118	960
	アイルランド	141	1,407
	日本	109	3,429
	韓国	156	1,477
	ニュージーランド	145	1,752
	ノルウェー	180	1,972
	ポーランド	179	1,986
	スペイン	163	1,681
	スウェーデン	179	1,921
非加盟国・地域	コロンビア	136	1,478
	香港	149	1,450
	マカオ	44	2,519
	計	3,277	36,502

### (2) 調査問題

筆記型の読解力（プリント読解力）調査問題とは別の調査問題を使用。筆記型の問題との大きな違いは、問題を解くために、ホームページへのアクセス、ボタンのクリック、コピー&ペースト、eメールの送受信、ウェブの掲示板への書き込み等、いわゆる ICT リテラシーに関する知識・技能が必要な点である。

### (3) 調査の実施方法

コンピュータを使用したデジタル読解力調査は、筆記型調査の終了後、生徒が普段、学校の ICT 学習等で使用しているコンピュータを用いて実施する。調査問題の入った CDROM または USB メモリーからコンピュータを立ち上げ、調査を開始。生徒は練習問題に取り組

んだ後、調査問題に取り組むが、それらの解答は、調査終了後、自動的に USB メモリーに吸い上げられ、回収された。調査の主な流れは以下のとおり。

約 5 分間	導入・説明等
約 10 分間	練習問題
40 分	コンピュータ使用型調査
約 5 分間	CDROM、USB メモリー等の回収
計 1 時間	

### 3. デジタル読解力とプリント読解力の違い

特 徴	デジタル読解力	プリント読解力
調査の方法	コンピュータ使用型調査 (コンピュータ画面による調査問題の提示・解答、解答データの収集)	筆記型調査 (ブックレット、鉛筆)
参加国・地域	19 か国・地域 (OECD 加盟 16、非加盟国・地域 3)	65 か国・地域 (OECD 加盟 34、非加盟国・地域 31)
調査対象	筆記型調査を受けた生徒のうち、109 校 (学科) の約 3,430 人の高等学校 1 年生 (参加国全体で約 36,000 人) が参加。	185 校 (学科) から約 6,000 人の高等学校 1 年生 (参加国全体で約 47 万人) が参加。
調査問題数	9 ユニット (29 題)	29 ユニット (101 題)
調査時間	40 分	120 分 (ただし、このうち読解力に費やされた調査時間は生徒 1 人当たり平均約 65 分)
分析尺度	デジタル読解力のみ (問題数が少ないため下位領域なし)	総合読解力及び下位領域として 3 つの側面 (「情報へのアクセス・取り出し」「統合・解釈」「熟考・評価」)

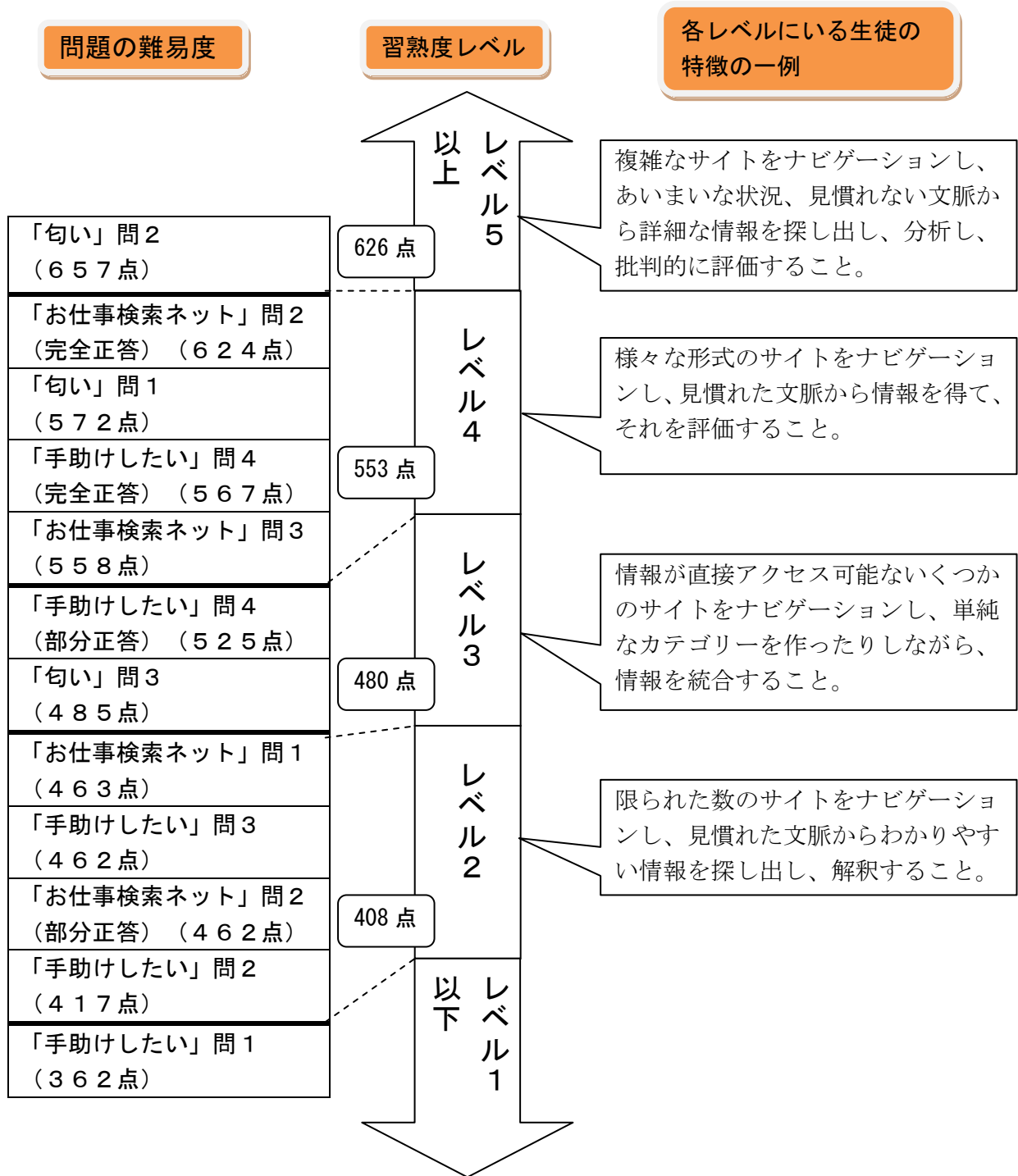
#### 4. デジタル読解力問題の内容・出題形式別問題数

内 容	問題数	多肢選択 形式問題数	複合的多肢選 択形式問題数	自由記述形式 問題数
<b>テキストの環境別</b>				
静的テキスト	19	14	0	5
動的テキスト	8	4	3	1
混成型テキスト	2	0	0	2
計	29	18	3	8
<b>テキストの形式別</b>				
連続型テキスト	2	2	0	0
非連続型テキスト	3	2	0	1
混成型テキスト	2	1	0	1
複合型テキスト	22	13	3	6
計	29	18	3	8
<b>テキスト・タイプ別</b>				
議論	6	4	0	2
記述	9	6	1	2
解説	9	7	0	2
処理	4	1	2	1
特定できないもの	1	0	0	1
計	29	18	3	8
<b>側面別</b>				
情報へのアクセス・取り出し	7	7	0	0
統合・解釈	10	9	1	0
熟考・評価	6	2	0	4
複合されたもの	6	0	2	4
計	29	18	3	8
<b>用途・状況別</b>				
私的	6	2	2	2
公的	13	10	0	3
職業的	7	4	1	2
教育的	3	2	0	1
計	29	18	3	8

## 5. デジタル読解力とプリント読解力習熟度の関係

各レベルでの得点の下限	プリント読解力	デジタル読解力		合成読解力
		習熟度レベル	各レベルの特徴	
698	レベル6	レベル5以上 レベル5以上まで到達した生徒の割合：7.8% (OECD平均)	習熟度レベル5以上の生徒は次のことができる。あいまいな状況で、見慣れない文脈に関連した情報を探し出し、分析し、批判的に評価すること。テキストを評価する基準を作り出すこと。明確な指示がない複雑なサイト間のナビゲーションを行ったり、様々な形式のテキストから詳細な情報を得ること。	レベル6
626	レベル5			レベル5
553	レベル4	レベル4 レベル4まで到達した生徒の割合：30.3% (OECD平均)	習熟度レベル4の生徒は次のことができる。様々な形式でのテキストから構成されるいくつかのサイト間をナビゲーションしたり、見慣れた、個人的あるいは実際的な文脈に関連付けて評価のための基準を作り出したりしながら、いくつかのソースから情報を得て、それを評価すること。科学的、技術的な文脈において、わかりやすい基準に従って複雑な情報を説明すること。	レベル4
480	レベル3	レベル3 レベル3まで到達した生徒の割合：60.7% (OECD平均)	習熟度レベル3の生徒は次のことができる。わかりやすい対象の情報を見つけるために、いくつかのサイト間をナビゲーションしたり、課題が明白には示されていない場合、単純なカテゴリーを創り出したりしながら、情報を統合すること。情報が直接的にアクセス可能な場合のみや、アクセス可能な情報の一部が求められる場合のみ、評価することができる。	レベル3
408	レベル2	レベル2 レベル2まで到達した生徒の割合：83.1% (OECD平均)	習熟度レベル2の生徒は次のことができる。通常見慣れた文脈に関連付けながら、わかりやすい情報を探し出し、解釈したりすること。明確な指示が与えられたり、低いレベルの推論が求められるだけの状況において、限られた数のサイト間のナビゲーションを行ったり、ドロップダウン・メニューなどのウェブツールを応用すること。定義付けられたカテゴリーに明白に適合する例を認識しながら、異なる形式で示された情報を統合すること。	レベル2
335	レベル1a	レベル1以下		レベル1a
262	レベル1b			レベル1b
	レベル1b未満			レベル1b未満

## 6. デジタル読解力問題の難易度とその特徴





### Ⅲ. デジタル読解力調査の結果

#### ～結果のポイント～

- ① デジタル読解力の習熟度レベルについて、レベル5以上の生徒の割合が多いのは韓国（19%）、ニュージーランド（19%）、オーストラリア（17%）で（日本は6%）、レベル1以下の生徒の割合が少ないのは韓国（2%）、日本（7%）、オーストラリア（10%）、香港（10%）、ニュージーランド（10%）である（12ページ参照）。
- ② 習熟度レベル1以下の生徒の割合について、デジタル読解力の方がプリント読解力よりも少ないのは韓国、日本、オーストラリア、ニュージーランド、マカオ、アイルランド、アイスランド、スウェーデン、ノルウェー、ベルギー、フランスの11か国で、プリント読解力の方がデジタル読解力よりも少ないのは香港、デンマーク、スペイン、ポーランド、ハンガリー、オーストリア、チリ、コロンビアの8か国である（12ページ参照）。
- ③ 男女別に見た習熟度レベルについて、OECD平均ではレベル5以上の生徒の割合は女子の方が男子より多く、レベル1以下の生徒の割合は女子の方が男子より少ない。レベル5以上の生徒の割合が多いのは、男子で韓国（16%）、ニュージーランド（15%）、オーストラリア（15%）、女子で韓国（22%）、ニュージーランド（22%）、オーストラリア（20%）である。日本は男子が4%、女子が7%である（12ページ参照）。
- ④ デジタル読解力の平均得点は、韓国（568点）、ニュージーランド（537点）、オーストラリア（537点）、日本（519点）、香港（515点）、アイスランド（512点）、スウェーデン（510点）、アイルランド（509点）、ベルギー（507点）の順に高い。また、デジタル読解力の方がプリント読解力よりも平均得点が高く、得点差が統計的に有意であるのは韓国（28点）、オーストラリア（22点）、ニュージーランド（16点）を含む7か国で、プリント読解力の方がデジタル読解力よりも平均得点が高く、得点差が統計的に有意であるのはコロンビア（43点）、ハンガリー（26点）を含む7か国である。日本の得点差（1点）に統計的な有意差はない（13ページ参照）。
- ⑤ 各国内でのデジタル読解力得点の分布について、上位5%に位置する生徒の得点が高いのはニュージーランド（687点）、オーストラリア（684点）、韓国（671点）などであり、日本は630点でOECD平均の635点より低い。これに対して、下位5%に位置する生徒の得点が高いのは韓国（452点）、日本（394点）、香港（371点）などで、OECD平均は342点である（14ページ参照）。
- ⑥ デジタル読解力調査に参加した19か国すべてで女子が男子よりも得点が高く、コロンビアを除く18か国でその差は統計的に有意であった。男女差が大きいのはニュージーランド（40点）、ノルウェー（35点）、アイルランド（31点）、アイスランド（30点）などで、日本は23点でOECD平均と同程度である（15ページ参照）。



- ⑦ コロンビアを除くすべての国で、読書活動が活発になるほど、すなわち「楽しみで本を読む」ほど、デジタル読解力の平均得点が高い。日本は読書活動による得点の分散説明率が12%であり、読書活動がデジタル読解力と一定程度の関連性を持っている（16ページ参照）。
- ⑧ 日本は、読書活動よりもネット検索（オンライン上での読みの活動の種類とその頻度）の方が得点の分散説明率が13%で、デジタル読解力に同程度以上の関連がある（17ページ参照）。
- ⑨ 学校でコンピュータを利用しているか否かによるデジタル読解力の得点差が、生徒と学校の社会経済的背景の影響を相殺した後でも統計的に有意であるのは、日本を含む10か国で、このうち日本を含む9か国は、学校でコンピュータを利用している生徒の方が利用していない生徒よりも、デジタル読解力得点が統計的に有意に高かった。日本の両者の得点差は、生徒と学校の社会経済的背景の影響を相殺した後で見た場合12点で、17か国中6番目である（17ページ参照）。
- ⑩ マルチメディア作品を作ることが「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」と回答した生徒の割合が、日本はデジタル読解力調査及びICT質問紙に参加した17か国中で、最も少ない。また、表計算ソフト使ってグラフを作ることが「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」と回答した生徒の割合が、日本はデジタル読解力調査及びICT質問紙に参加した17か国中、12番目であった（18ページ参照）。
- ⑪ 日本は、国語、数学、理科のいずれの授業においても、コンピュータを使用しないと回答した（無答・無効を含む）生徒の割合が、デジタル読解力調査に参加した17か国中最も多かった（18ページ参照）。
- ⑫ 自宅のコンピュータの有無で見たデジタル読解力の得点差が、社会経済的背景の影響を相殺した後でも統計的に有意であるのは、日本を含む13か国で、これらの国はすべて、自宅にコンピュータが1台以上ある生徒の方が、無い生徒よりもデジタル読解力得点が統計的に有意に高かった。日本の両者の得点差は、社会経済的背景の影響を相殺した後で見た場合25点であった（19ページ参照）。
- ⑬ 自宅でコンピュータを利用している生徒の方が利用していない生徒よりも、デジタル読解力得点が統計的に有意に高く、自宅でコンピュータを利用しているか否かによるデジタル読解力の得点差は、社会経済的背景の影響を相殺した後でも、すべての国で統計的に有意であった。日本の両者の得点差は、社会経済的背景の影響を相殺した後で見た場合38点で、17か国中14番目である（19ページ参照）。
- ⑭ 日本はデジタル読解力、プリント読解力いずれにおいても、生徒の社会経済文化的背景と読解力の関連の強さが低い水準にあり、かつ、読解力の平均得点が比較的高い水準に位置していることがわかる。つまり、家庭の経済状況や教育環境の違いが読解力に影響する程度が他の国と比べて小さく、教育機会において比較的平等性の高い教育システムを築いていると言える（19ページ参照）。

## 1. 習熟度レベルの国際比較

### 1. 1 デジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

表 1 (20 ページ) はデジタル読解力について、5 つの習熟度レベル別に各国の生徒の割合を示したもので、国名はレベル 5 以上の生徒の割合が多い順に並べている。なお、以下で示す習熟度レベルの割合は累積したものではなく、生徒が達した最高のレベルの割合について示したものである。

OECD 平均はレベル 5 以上が 8%、レベル 4 が 23%、レベル 3 が 30%、レベル 2 が 22%、レベル 1 以下が 17%である。

レベル 5 以上の生徒の割合が最も多いのは韓国の 19%、次いでニュージーランドの 19%、オーストラリアの 17%である。日本は 6%で 9 番目である。OECD 平均の 8%を上回る国は 7 か国である。

図 1 (21 ページ) はデジタル読解力について、習熟度レベル 1 以下の生徒の割合が少ない順に国名を並べたものである。レベル 1 以下の生徒の割合が最も少ないのは韓国の 2%で、次いで日本の 7%、オーストラリアの 10%、香港の 10%、ニュージーランドの 10%である。

### 1. 2 デジタル読解力、プリント読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

表 2 (22 ページ) はプリント読解力について、8 つの習熟度レベル別に各国の生徒の割合を示したものである。表 1 と表 2 をもとに、デジタル読解力でレベル 1 以下の生徒の割合が少ない順に国名を並べたものが図 2 (23 ページ) である。各国のデジタル読解力とプリント読解力を、レベル 1 以下の割合とレベル 2 以上の割合で比べると、デジタル読解力の方がレベル 1 以下の生徒の割合が少ないのは韓国、日本、オーストラリア、ニュージーランド、マカオ、アイルランド、アイスランド、スウェーデン、ノルウェー、ベルギー、フランスの 11 か国で、プリント読解力の方がレベル 1 以下の生徒の割合が少ないのは香港、デンマーク、スペイン、ポーランド、ハンガリー、オーストリア、チリ、コロンビアの 8 か国である。

### 1. 3 合成読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

表 3 (24 ページ) は合成読解力について、8 つの習熟度レベル別に各国の生徒の割合を示したものである。国名はレベル 5 以上の生徒の割合が多い順に並べている。

OECD 平均はレベル 5 以上が 7%、レベル 4 が 23%、レベル 3 が 31%、レベル 2 が 23%、レベル 1 以下が 16%である。

レベル 5 以上の生徒の割合が最も多いのはニュージーランドの 16%、次いで韓国の 14%、オーストラリアの 14%である。日本は 8%で 7 番目である。OECD 平均の 7%を上回る国は 8 か国である。

レベル 1 以下の生徒の割合が最も少ないのは韓国の 3%で、次いで香港の 8%、日本の 9%、オーストラリアの 11%である。

## 2. 習熟度レベルの男女差

### 2. 1 男女別に見たデジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

表 4 は (25 ページ) はデジタル読解力について、男女別に習熟度レベル別の生徒の割合を示したものである。レベル 5 以上の生徒の割合についてみると OECD 平均は男子 6%、女子 9%であり、この割合が最も多いのは、男子で韓国の 16%、次いでニュージーランドの

15%、オーストラリアの15%、女子で韓国の22%、ニュージーランドの22%、オーストラリアの20%である。日本は男子4%、女子7%である。

図3(26ページ)はデジタル読解力について、習熟度レベル1以下の男子の割合が少ない順に国名を並べたものである。レベル1以下の生徒の割合についてみるとOECD平均は男子21%、女子13%であり、この割合が最も少ないのは、男子で韓国の3%、次いで日本の9%、女子で韓国の1%、次いで日本の4%である。

## 2.2 男女別に見たプリント読解力、合成読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

表5(27ページ)はプリント読解力について、8つの習熟度レベル別に各国の生徒の割合を示したものである。

男子はOECD平均でレベル5以上が6%、レベル4が18%、レベル3が28%、レベル2が25%、レベル1以下が23%である。レベル5以上の男子の割合が最も多いのはニュージーランドの12%、次いでオーストラリアの10%、日本の10%である。レベル1以下の生徒の割合が最も少ないのは韓国の9%で、次いで香港の11%、日本の19%である。

女子はOECD平均でレベル5以上が11%、レベル4が26%、レベル3が31%、レベル2が21%、レベル1以下が12%である。レベル5以上の女子の割合が最も多いのはニュージーランドの20%、次いで韓国の17%、日本の17%である。レベル1以下の生徒の割合が最も少ないのは韓国の3%で、次いで香港の6%、日本の8%である。

また、表6(28ページ)は合成読解力について、8つの習熟度レベル別に各国の生徒の割合を示したものである。

男子はOECD平均でレベル5以上が5%、レベル4が19%、レベル3が29%、レベル2が25%、レベル1以下が21%である。レベル5以上の男子の割合が最も多いのはニュージーランドの13%、次いで韓国の11%、オーストラリアの11%である。日本は6%で8番目である。レベル1以下の生徒の割合が最も少ないのは韓国の4%で、次いで香港の10%、日本の13%、オーストラリア、マカオの15%である。

女子はOECD平均でレベル5以上が9%、レベル4が26%、レベル3が32%、レベル2が21%、レベル1以下が12%である。レベル5以上の女子の割合が最も多いのはニュージーランドの20%、次いで韓国の18%、オーストラリアの17%である。日本は10%で7番目である。レベル1以下の生徒の割合が最も少ないのは韓国の1%で、次いで日本の5%、ニュージーランドの6%、香港の6%、オーストラリアの7%である。

## 3. 平均得点の国際比較

### 3.1 各国のデジタル読解力平均得点と合成読解力平均得点

表7(29ページ)は、生徒のデジタル読解力の平均得点とその標準誤差、統計的に考えられる平均得点の上位及び下位の順位を示したものである。

デジタル読解力の平均得点は韓国、ニュージーランド、オーストラリア、日本、香港、アイスランド、スウェーデン、アイルランド、ベルギーの順で、日本の得点は519点であり、4番目に高い。OECD平均より得点が統計的に有意に高いのは上記9か国で、OECD平均より得点が統計的に有意に低いのは8か国である。また、順位の範囲で見ると、日本はデジタル読解力調査に参加したOECD加盟16か国中では4位、非加盟国を含む19か国中では4位から5位の間に位置している。

表8(30ページ)は、生徒の合成読解力の平均得点とその標準誤差、統計的に考えられる平均得点の上位及び下位の順位を示したものである。

合成読解力の平均得点は韓国、ニュージーランド、オーストラリア、香港、日本、ベルギー、アイスランドの順で、日本の得点は520点であり、5番目に高い。OECD平均より得点が統計的に有意に高い国は上記7か国で、OECD平均より得点が統計的に有意に低い国は8か国である。また、順位の範囲で見ると、日本はデジタル読解力調査に参加したOECD加盟16か国中では4位、非加盟国を含む19か国中では4位から5位の間に位置している。

### 3. 2 各国のデジタル読解力平均得点とプリント読解力平均得点との差

図4(31ページ)は、各国のデジタル読解力平均得点とプリント読解力平均得点について、得点差(デジタル読解力-プリント読解力)の大きい順に国を並べたものである。デジタル読解力の方がプリント読解力よりも得点が高く、その得点差が統計的に有意であるのは、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、アイスランド、スウェーデン、アイスランド、マカオの7か国である。また、プリント読解力の方がデジタル読解力よりも得点が高く、その得点差が統計的に有意であるのは、コロンビア、ポーランド、ハンガリー、香港、チリ、オーストリア、デンマークの7か国である。日本はデジタル読解力が519点、プリント読解力が520点で、得点差(1点)は統計的に有意でない。

図5(32ページ)は、各国のデジタル読解力平均得点とプリント読解力平均得点の関係を示したものである。各国を示す点は右肩上がりの直線上にほぼ並んでおり、回帰分析を用いてデジタル読解力の平均得点からプリント読解力の平均得点を予測したときの分散説明率は87%となっている。つまり、デジタル読解力の平均得点が高い国ほどプリント読解力の平均得点も高くなっていることがわかる。

## 4. 各国内での得点の分布

### 4. 1 デジタル読解力の得点の国別分布

表9(33ページ)は、それぞれの国内でのデジタル読解力得点の分布を示したものである。各国内の上位5%、上位10%、上位25%、下位25%、下位10%、下位5%に位置する生徒の得点を表している。国名は上位5%に位置する生徒の得点が高い順に示している。

上位5%に位置する生徒の得点が最も高いのはニュージーランドであり、687点である。日本の得点は630点であり、オーストラリア、韓国、アイスランド、スウェーデン、ベルギー、アイスランド、香港に次いで9番目に高い。OECD平均は635点である。

上位10%、上位25%、下位25%、下位10%、下位5%に位置する日本の生徒の得点は、それぞれ608点、570点、475点、426点、394点である。OECD平均はそれぞれ609点、562点、442点、380点、342点であり、上位25%、下位25%、下位10%、下位5%に位置する日本の生徒の得点はいずれもOECD平均を上回っているが、上位5%、上位10%に位置する日本の生徒の得点はいずれもOECD平均を下回っている。

### 4. 2 プリント読解力と合成読解力の得点の国別分布

表10(34ページ)は、それぞれの国内でのプリント読解力得点の分布を示したものである。各国内の上位5%、上位10%、上位25%、下位25%、下位10%、下位5%に位置する生徒の得点を表している。国名は上位5%に位置する生徒の得点が高い順に示している。

上位5%に位置する生徒の得点が最も高いのはニュージーランドであり、678点である。日本の得点は667点であり、オーストラリアに次いで3番目に高い。OECD平均は643点である。



上位 10%、上位 25%、下位 25%、下位 10%、下位 5%に位置する日本の生徒の得点は、それぞれ 639 点、590 点、459 点、386 点、339 点である。OECD 平均はそれぞれ 615 点、566 点、438 点、374 点、335 点であり、日本の生徒の得点はいずれも OECD 平均を上回っている。

また、表 11 (35 ページ) は、それぞれの国内での合成読解力得点の分布を示したものである。各国内の上位 5%、上位 10%、上位 25%、下位 25%、下位 10%、下位 5%に位置する生徒の得点を表している。国名は上位 5%に位置する生徒の得点が高い順に示している。

上位 5%に位置する生徒の得点が最も高いのはニュージーランドであり、678 点である。日本の得点は 638 点であり、オーストラリア、韓国、ベルギー、アイスランド、スウェーデンに次いで 7 番目に高い。OECD 平均は 633 点である。

上位 10%、上位 25%、下位 25%、下位 10%、下位 5%に位置する日本の生徒の得点は、それぞれ 616 点、577 点、470 点、412 点、374 点である。OECD 平均はそれぞれ 608 点、562 点、441 点、381 点、344 点であり、日本の生徒の得点はいずれも OECD 平均を上回っている。

## 5. 平均得点の男女差

### 5. 1 デジタル読解力平均得点の男女差

表 12 (36 ページ) は、デジタル読解力の平均得点を男女別に表し、併せて男女の得点の差 (男子-女子) を示している。図 6 (37 ページ) の右側のグラフは、男女の得点差 (女子-男子) の大きい順に国を上から並べたものである。また、図 6 (37 ページ) の左側のグラフは、デジタル読解力の平均得点と男女別の平均得点を示すことによって、各国におけるこれら 3 つの得点の差を表している。

デジタル読解力調査に参加した 19 か国すべてで女子が男子よりも得点が高く、その男女差が統計的に有意であるのはコロンビアを除く 18 か国であった。男女差の最も大きい国はニュージーランドで女子が男子よりも 40 点高かった。日本は男子 508 点に対し女子が 531 点で、女子が男子より 23 点高く、これは OECD 平均の男女差 (24 点) と同程度である。

### 5. 2 デジタル読解力、プリント読解力における男女差の比較

表 13 (38 ページ) は、プリント読解力の平均得点を男女別に表し、併せて男女の得点の差 (男子-女子) を示している。図 7 (39 ページ) は右側のグラフでは、デジタル読解力とプリント読解力それぞれの男女の得点差 (女子-男子) を比較しているが、国はデジタル読解力得点の男女差 (女子-男子) が大きい順に上から並べたものである。また、図 7 (39 ページ) の左側のグラフは、デジタル読解力、プリント読解力それぞれについて、平均得点と男女別の平均得点を示すことによって、各国におけるこれらの得点の差を表している。

デジタル読解力調査に参加した 19 か国すべてで、男女の得点の差は、プリント読解力の方がデジタル読解力よりも大きく、コロンビアを除く 18 か国で統計的な有意差があった。

### 5. 3 合成読解力平均得点の男女差

表 14 (40 ページ) は、合成読解力の平均得点を男女別に表し、併せて男女の得点の差 (男子-女子) を示している。デジタル読解力調査に参加した 19 か国すべてで、女子が

男子よりも合成読解力の平均得点が高く、その男女差が統計的に有意であるのはコロンビアを除く 18 か国であった。男女差の最も大きい国はニュージーランドで女子が男子よりも 43 点高かった。日本は男子 505 点に対し女子が 536 点で、女子が男子より 31 点高く、これは OECD 平均の男女差と同じである。

## 6. デジタル読解力と諸要因との関係

PISA2009 年調査では生徒質問紙の中で、趣味としての読書、読む本の種類と頻度、オンライン上での読みの活動などについて尋ねる項目を設けており、回答の傾向とデジタル読解力との関係を分析することができる。生徒質問紙では、国際オプションであるが、コンピュータの利用等に関する ICT 質問紙も実施しており、学校でのコンピュータ利用、授業におけるコンピュータの使用状況、自宅でのコンピュータの有無や利用などについても尋ねており、これらとデジタル読解力との関係をみている。さらに、生徒質問紙中の複数の質問項目を合成した「生徒の社会経済的文化的指標」によって、デジタル読解力の得点の違いをみている。

### 6. 1 読書活動（「楽しみで本を読む」）

生徒質問紙の問 19 において、「あなたは、普段、趣味としての読書をどのくらいしますか。あてはまる番号に一つ〇をつけてください。」と尋ねた。これに対し、「趣味で読書をすることはない」以外の選択肢、「1 日 30 分以下」「1 日 31 分～1 時間未満」「1 日 1 時間～2 時間」「1 日 2 時間より長い」に〇をつけた生徒を「楽しみで本を読む生徒」として読書活動指標を作り、表 15（41 ページ）では、各国でのこの指標値の四分位数によって生徒を上位から下位まで 4 群に分け、各群での指標の平均値とデジタル読解力得点の平均値、並びに指標 1 単位当たりの得点の変化、得点の分散説明率を示した。また、読書活動指標による得点の分散説明率が大きい順に国を上から並べたのが図 8（42 ページ）である。

コロンビアを除くすべての国で、読書活動が活発になるほど（最下位、中下位、中上位、最上位のグループになるほど）、デジタル読解力の平均得点が高くなっていることがわかる。日本においては、読書活動による得点の分散説明率が 12%である点から、読書活動がデジタル読解力と一定程度の関連性を持っているといえる。

### 6. 2 読む本の種類・頻度

生徒質問紙の問 21 において、「あなたは、次のものを自分から進んで読むことはどれくらいありますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまる番号に一つ〇をつけてください。」と尋ねた。選択肢は「まったくか、ほとんどない」「年に 2～3 回」「月に 1 回ぐらい」「月に数回」「週に数回」の 5 つであった。また 5 項目は、(1)雑誌、(2)コミック（マンガ）、(3)フィクション（小説、物語など）、(4)ノンフィクション（伝記、ルポルタージュなど）、(5)新聞である。これから読む本の種類・頻度指標を作り、表 16（43 ページ）では、各国でのこの指標値の四分位数によって生徒を上位から下位まで 4 群に分け、各群での指標の平均値とデジタル読解力得点の平均値、並びに指標 1 単位当たりの得点の変化、得点の分散説明率を示した。また、図 9（44 ページ）では、読む本の種類・頻度指標による得点の分散説明率が大きい順に国を上から並べている。

ハンガリー、ニュージーランド、香港、コロンビアを除く国々で、読む本の種類・頻度が多様になるほど（最下位、中下位、中上位、最上位のグループになるほど）、デジタル

読解力の平均得点が高くなっている。ただし、この傾向は読書活動ほど顕著ではなく、日本においても読む本の種類・頻度による得点の分散説明率は5%で、読書活動ほど関連は強くないことがわかる。

### 6. 3 ネット検索（情報活動）

生徒質問紙の問22「あなたは、コンピュータや携帯電話で、次のことをどのくらいしていますか。(1)～(7)のそれぞれについて、あてはまる番号に一つ〇をつけてください」において、オンライン上での読みの活動の種類とその頻度について尋ねた。選択肢は「これが何かわからない」「ほとんどない」「月に数回」「週に数回」「日に数回」の5つであった。項目は7つであったが、そのうち「ネット上でニュースを読む」「ネット上で辞書または辞典（例：ウィキペディア®）を使用する」「ある特定のテーマを調べるためにネットで検索する」「生活情報をネットで検索する（例：スケジュール、イベント、ヒント、料理のレシピ）」の4項目からネット検索（情報活動）指標を作成し、表17（45ページ）では、各国でのこの指標値の四分位数によって生徒を上位から下位まで4群に分け、各群での指標の平均値とデジタル読解力得点の平均値、並びに指標1単位当たりの得点の変化、得点の分散説明率を示した。また、図10（46ページ）では、ネット検索（情報活動）指標による得点の分散説明率が大きい順に国を上から並べている。

すべての国で、最下位と中下位のグループの差が開いているが、中上位と最上位では得点差のあまりない国が多い。日本については、読書活動よりもネット検索の方が得点の分散説明率が高く、デジタル読解力に同程度以上の関連があると考えられる。

### 6. 4 ネット上での社会活動

前項同様、生徒質問紙の問22の質問項目のうち「Eメールを読む」「ネット上でチャットをする」の2項目からネット上での社会活動指標を作り、このネット上での社会活動による平均得点の分散説明率が大きい順に国を上から並べたのが表18（47ページ）である。各国でのこの指標値の四分位数によって生徒を上位から下位まで4群に分け、各群での指標の平均値とデジタル読解力得点の平均値、並びに指標1単位当たりの得点の変化、得点の分散説明率を示した。また、図11（48ページ）では、ネット上での社会活動指標による得点の分散説明率が大きい順に国を上から並べている。

ネット上での社会活動によるデジタル読解力得点の分散説明率はOECD平均でも1%であり、日本の場合はほぼ0%となっている。つまり、日本を含む多くの国で、デジタル読解力とネット上での社会活動には関連性がないといえる。

### 6. 5 学校でのコンピュータ利用

ICT質問紙（国際オプションの生徒質問紙）の問2「次のもののうち、学校であなたが利用できる機器はありますか」において、「デスクトップ・コンピュータ」あるいは「ノートパソコン」の項目に「はい、使っています」と回答した生徒とそれ以外の生徒について、デジタル読解力の得点と、生徒と学校の社会経済的背景指標の平均値、それらの差を示したのが表19（49ページ）である。また、図12（50ページ）では、生徒と学校の社会経済的背景の影響を相殺した後のデジタル読解力の得点差の大きい順に国を上から並べている。

これによれば、学校でコンピュータを利用しているか否かによるデジタル読解力の得点差が、生徒と学校の社会経済的背景の影響を相殺した後でも統計的に有意であるのは、オ

オーストラリア、ノルウェー、アイスランド、スウェーデン、スペイン、日本、ニュージーランド、ベルギー、ハンガリー、マカオの10か国で、このうちハンガリーを除く9か国は学校でコンピュータを利用している生徒の方が利用していない生徒よりも、デジタル読解力得点が統計的に有意に高かった。日本の両者の得点差は、生徒と学校の社会経済的背景の影響を相殺した後で見た場合12点で、17か国中6番目である。

#### 6. 6 マルチメディア作品

ICT 質問紙の問8「あなたは、コンピュータで次のことがどのくらいできますか。(1)～(5)のそれぞれについて、あてはまる番号に一つ○をつけてください。」において、「(音声や画像、動画などの)マルチメディアの作品を作る」が項目の1つとして挙げられている。選択肢は「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」「意味はわかるができない」「意味がわからない」の4つであり、それぞれに解答した生徒の割合を示したのが表20(51ページ)である。図13(52ページ)は、マルチメディア作品を作ることが「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」と回答した生徒の割合の多い順に国を並べている。

これによれば、マルチメディア作品を作ることが「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」と回答した生徒の割合が、日本はデジタル読解力調査及びICT質問紙に参加した17か国中で、最も少ない。

#### 6. 7 表計算ソフト

前項同様ICT質問紙の問8には、「表計算ソフトを使ってグラフを作成する」が項目の1つとして挙げられている。選択肢は「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」「意味はわかるができない」「意味がわからない」の4つであり、それぞれに回答した生徒の割合を示したのが表21(53ページ)である。図14(54ページ)は、表計算ソフトを使ってグラフを作成することが「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」と回答した生徒の割合の多い順に国を並べている。

これによれば、表計算ソフトを使ってグラフを作ることが「自分で上手にできる」「誰かに手伝ってもらえばできる」と回答した生徒の割合が、日本はデジタル読解力調査及びICT質問紙に参加した17か国中、12番目であった。

#### 6. 8 国語・数学・理科の各授業におけるコンピュータの使用状況

ICT質問紙の問7では、学校の授業でコンピュータを使用する頻度を尋ねている。表22(55ページ)は、国語、数学、理科のそれぞれの授業においてコンピュータの使用が「ない」「週に0～30分」「週に31～60分」「週に60分以上」のいずれかの選択肢に○をつけた生徒の割合を示している。なお、「ない」には無答・無効も含まれている。また、図15(56ページ)、図16(57ページ)、図17(58ページ)は、それぞれ国語、数学、理科の授業におけるコンピュータの使用状況を示していて、この問において「ない」(無答・無効を含む)と回答した以外の生徒の割合の多い順に、国を左から並べている。なお、表22、図15～17では、デジタル読解力調査に参加した17か国について取り上げている。

これによれば、日本は、国語、数学、理科のいずれの授業においても、コンピュータを使用しないと回答した(無答・無効を含む)生徒の割合が、デジタル読解力調査に参加した17か国中最も多かった。



## 6. 9 自宅のコンピュータの有無

ICT 質問紙の問1「次のもののうち、自宅であなたが利用できる機器はありますか」において、「デスクトップ・コンピュータ」あるいは「ノートパソコン」の項目に「はい、使っています」「はい、でも使っていません」と回答した生徒を「自宅にコンピュータが1台以上ある生徒」とし、いずれについても「いいえ」と回答した生徒を「自宅にコンピュータが無い生徒」とし、それぞれのデジタル読解力平均得点と両者の得点差を示したのが表 23 (59 ページ) である。

これによれば、自宅でのコンピュータの有無によるデジタル読解力の得点差が、社会経済的背景の影響を相殺した後でも統計的に有意であるのは、香港、ハンガリー、ベルギー、オーストラリア、アイルランド、ニュージーランド、コロンビア、フランス、日本、チリ、ポーランド、マカオ、スペインの13か国で、これらの国はすべて、自宅にコンピュータが1台以上ある生徒の方が、無い生徒よりもデジタル読解力得点が統計的に有意に高かった。日本の両者の得点差は、社会経済的背景の影響を相殺した後で見た場合 25 点であった。

## 6. 10 自宅でのコンピュータ利用

ICT 質問紙の問1「次のもののうち、自宅であなたが利用できる機器はありますか」において、「デスクトップ・コンピュータ」あるいは「ノートパソコン」の項目に「はい、使っています」と回答した生徒とそれ以外の生徒について、デジタル読解力の得点差を示したのが表 24 (60 ページ) である。図 18 (61 ページ) は、社会経済的背景の影響を相殺した後の得点差の大きい順に国を上から並べている。

これによれば、自宅でコンピュータを利用している生徒の方が利用していない生徒よりも、デジタル読解力得点が統計的に有意に高く、自宅でコンピュータを利用しているか否かによるデジタル読解力の得点差は、社会経済的背景の影響を相殺した後でも、すべての国で統計的に有意であった。日本の両者の得点差は、社会経済的背景の影響を相殺した後で見た場合、17か国中14番目である。

## 6. 11 生徒の社会経済文化的背景と読解力得点の関連の強さ

PISA 調査では「保護者の教育的背景」と「家庭の社会経済的背景」の指標に加え、「家庭の所有物」(生徒質問紙問16の質問項目を用いた「家庭の学習リソース」指標、「家庭の文化的所有物」指標に加え、「家財」で用いられた質問項目、及び生徒質問紙問18を用いた「家庭にある本の冊数」からなる)に関する指標から、「生徒の社会経済文化的背景」指標(ESCS)を構成している。表 25 (62 ページ) は、読解力の平均得点、「生徒の社会経済文化的背景」指標を同じにした場合の読解力の平均得点、「生徒の社会経済文化的背景」指標による生徒の読解力得点に対する分散説明率、「生徒の社会経済文化的背景」指標1単位当たりの得点変化を示している。

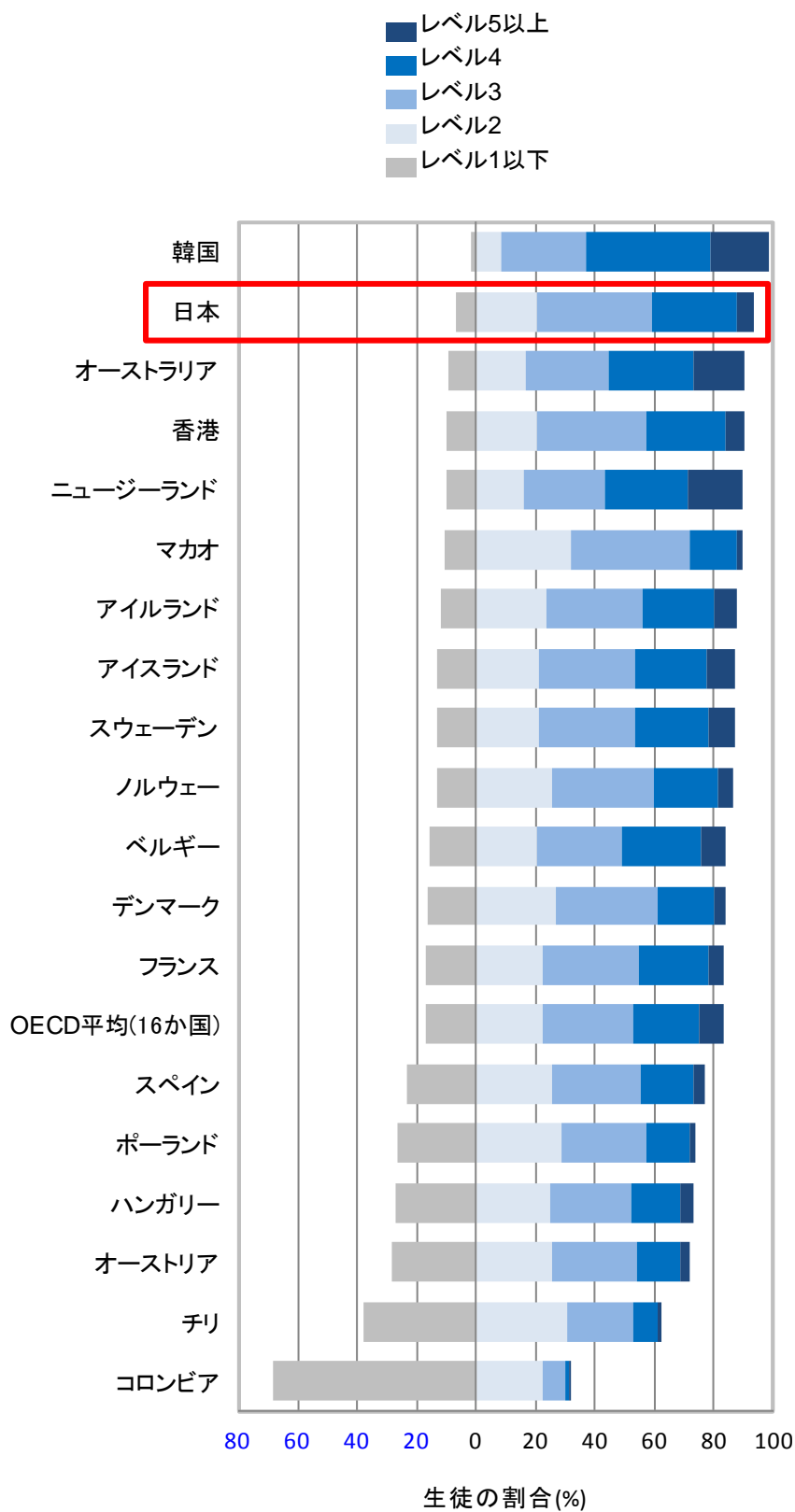
また、図 19 (63 ページ) に、生徒の社会経済文化的背景の違いによって、読解力の得点の違いが説明できる割合を横軸に取り、縦軸に各国の読解力の平均得点を取ってプロットした。これによれば、日本はデジタル読解力、プリント読解力いずれにおいても、生徒の社会経済文化的背景と読解力の関連の強さが低い水準にあり、かつ、読解力の平均得点が比較的高い水準に位置していることがわかる。つまり、家庭の経済状況や教育環境の違いが読解力に影響する程度が他の国と比べて小さく、教育機会において比較的平等性の高い教育システムを築いていると言える。

表 1 デジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

国名	デジタル読解力の習熟度レベル									
	レベル1以下 (408点未満)		レベル 2 (408点以上 481点未満)		レベル 3 (481点以上 553点未満)		レベル 4 (553点以上 626点未満)		レベル 5以上 (626点以上)	
	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
韓国	1.8	(0.4)	8.3	(1.0)	28.7	(1.4)	42.0	(1.4)	19.2	(1.6)
ニュージーランド	10.2	(1.4)	16.1	(0.8)	27.2	(1.0)	27.8	(1.0)	18.6	(0.8)
オーストラリア	9.6	(0.6)	16.5	(0.6)	28.2	(0.7)	28.5	(0.8)	17.3	(0.9)
アイスランド	12.9	(7.6)	21.1	(0.8)	32.2	(1.0)	24.1	(1.0)	9.7	(0.6)
ベルギー	15.9	(2.6)	20.2	(0.7)	28.8	(0.9)	26.3	(1.1)	8.8	(0.7)
スウェーデン	13.0	(5.4)	21.2	(1.0)	32.4	(0.8)	24.7	(1.1)	8.6	(0.8)
アイルランド	12.1	(8.6)	23.4	(1.0)	32.7	(0.9)	24.0	(1.0)	7.8	(0.8)
OECD平均(16か国)	16.9	(0.3)	22.3	(0.3)	30.4	(0.3)	22.6	(0.3)	7.8	(0.2)
香港	9.8	(0.9)	20.3	(1.1)	36.8	(1.1)	26.8	(1.1)	6.3	(0.7)
日本	6.7	(0.7)	20.5	(0.9)	38.9	(1.2)	28.2	(1.0)	5.7	(0.6)
ノルウェー	13.3	(2.4)	25.5	(1.0)	34.4	(1.1)	21.4	(1.0)	5.4	(0.5)
フランス	16.7	(5.6)	22.4	(1.1)	32.3	(1.5)	23.6	(1.2)	5.1	(0.7)
ハンガリー	26.8	(6.6)	25.0	(1.6)	27.1	(1.2)	16.3	(1.2)	4.8	(0.7)
スペイン	23.1	(4.4)	25.4	(1.1)	30.2	(1.1)	17.3	(1.0)	3.9	(0.6)
デンマーク	16.4	(4.6)	26.8	(1.2)	33.9	(1.1)	19.2	(1.0)	3.7	(0.4)
オーストリア	28.5	(1.6)	25.7	(1.1)	28.3	(1.2)	14.9	(1.0)	2.6	(0.4)
ポーランド	26.3	(3.4)	28.4	(1.0)	28.6	(1.0)	14.7	(0.9)	2.0	(0.3)
マカオ	10.5	(0.5)	31.8	(0.8)	39.9	(0.8)	15.8	(0.5)	2.0	(0.2)
チリ	37.7	(3.6)	30.6	(1.0)	22.5	(1.1)	8.0	(0.7)	1.1	(0.3)
コロンビア	68.4	(1.7)	22.4	(1.1)	7.7	(0.9)	1.4	(0.3)	0.1	(0.1)

(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
2. 国・地域はレベル5以上の割合で降順。

図 1 デジタル読解力における生徒の習熟度レベル別分布



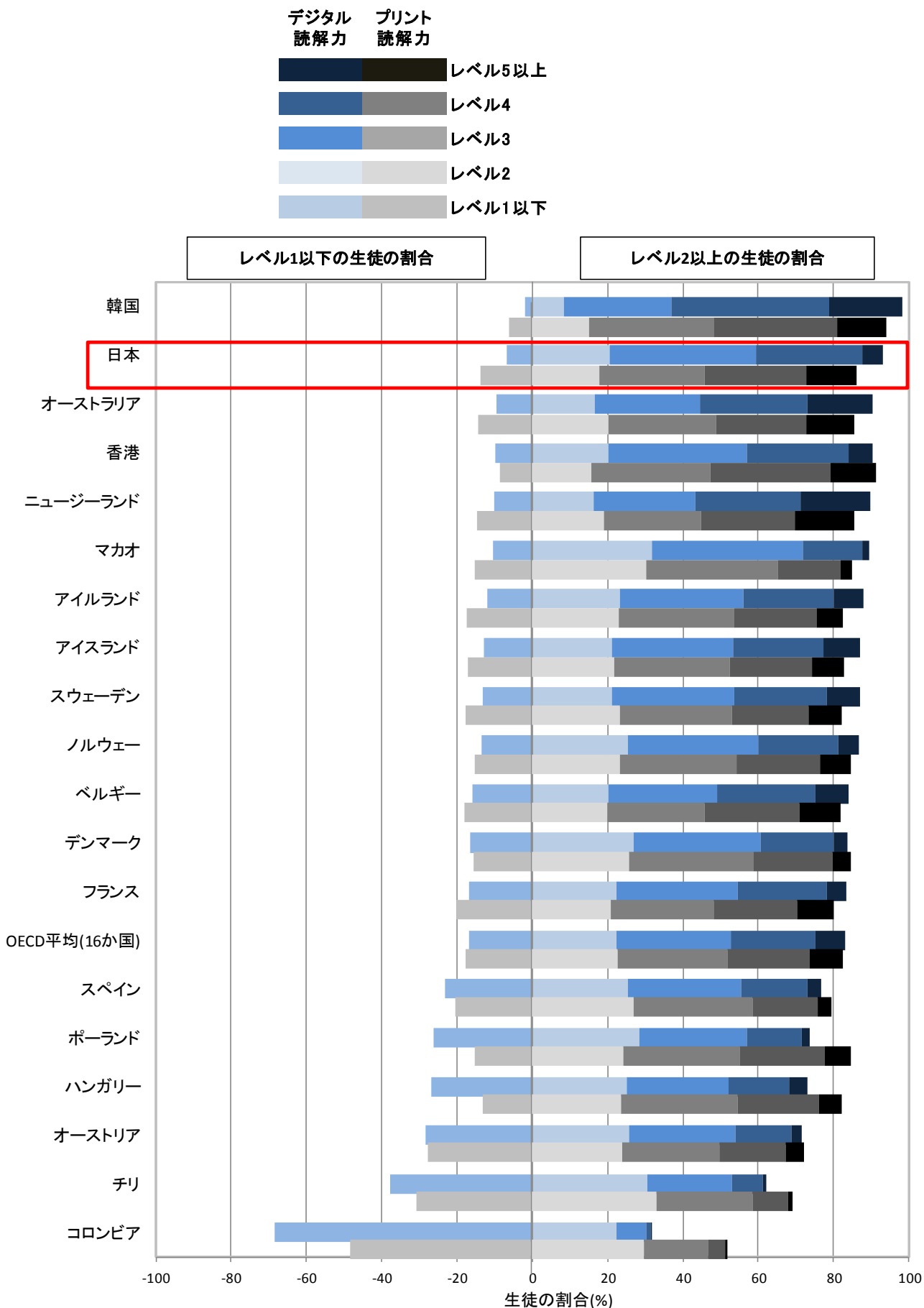
(注) 習熟度レベル1以下の割合が少ない順に上から並べている。

表 2 プリント読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

国名	プリント読解力の習熟度レベル															
	レベル1b 未満 (262点未満)		レベル1b (262点以上 335点未満)		レベル1a (335点以上 408点未満)		レベル 2 (408点以上 481点未満)		レベル 3 (481点以上 553点未満)		レベル 4 (553点以上 626点未満)		レベル 5 (626点以上 698点未満)		レベル 6 (698点以上)	
	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
ニュージーランド	0.9	(0.2)	3.2	(0.4)	10.2	(0.6)	19.3	(0.8)	25.8	(0.8)	24.8	(0.8)	12.9	(0.8)	2.9	(0.4)
日本	1.3	(0.4)	3.4	(0.5)	8.9	(0.7)	18.0	(0.8)	28.0	(0.9)	27.0	(0.9)	11.5	(0.7)	1.9	(0.4)
韓国	0.2	(0.2)	0.9	(0.3)	4.7	(0.6)	15.4	(1.0)	33.0	(1.2)	32.9	(1.4)	11.9	(1.0)	1.0	(0.2)
オーストラリア	1.0	(0.1)	3.3	(0.3)	10.0	(0.4)	20.4	(0.6)	28.5	(0.7)	24.1	(0.7)	10.7	(0.5)	2.1	(0.3)
香港	0.2	(0.1)	1.5	(0.3)	6.6	(0.6)	16.1	(0.8)	31.4	(0.9)	31.8	(0.9)	11.2	(0.7)	1.2	(0.3)
ベルギー	1.1	(0.3)	4.7	(0.5)	11.9	(0.6)	20.3	(0.7)	25.8	(0.9)	24.9	(0.7)	10.1	(0.5)	1.1	(0.2)
フランス	2.3	(0.5)	5.6	(0.5)	11.8	(0.8)	21.1	(1.0)	27.2	(1.0)	22.4	(1.1)	8.5	(0.8)	1.1	(0.3)
スウェーデン	1.5	(0.3)	4.3	(0.4)	11.7	(0.7)	23.5	(1.0)	29.8	(1.0)	20.3	(0.9)	7.7	(0.6)	1.3	(0.3)
アイスランド	1.1	(0.2)	4.2	(0.4)	11.5	(0.7)	22.2	(0.8)	30.6	(0.9)	21.9	(0.8)	7.5	(0.6)	1.0	(0.2)
OECD平均(16か国)	1.1	(0.1)	4.3	(0.1)	12.0	(0.2)	22.9	(0.2)	29.3	(0.2)	21.9	(0.2)	7.5	(0.2)	1.0	(0.1)
ノルウェー	0.5	(0.1)	3.4	(0.4)	11.0	(0.7)	23.6	(0.8)	30.9	(0.9)	22.1	(1.2)	7.6	(0.9)	0.8	(0.2)
ポーランド	0.6	(0.1)	3.1	(0.3)	11.3	(0.7)	24.5	(1.1)	31.0	(1.0)	22.3	(1.0)	6.5	(0.5)	0.7	(0.1)
アイルランド	1.5	(0.4)	3.9	(0.5)	11.8	(0.7)	23.3	(1.0)	30.6	(0.9)	21.9	(0.9)	6.3	(0.5)	0.7	(0.2)
ハンガリー	0.6	(0.2)	4.7	(0.8)	12.3	(1.0)	23.8	(1.2)	31.0	(1.3)	21.6	(1.1)	5.8	(0.7)	0.3	(0.1)
オーストリア	1.9	(0.4)	8.1	(0.8)	17.5	(1.0)	24.1	(1.0)	26.0	(0.9)	17.4	(0.9)	4.5	(0.4)	0.4	(0.1)
デンマーク	0.4	(0.1)	3.1	(0.3)	11.7	(0.7)	26.0	(0.9)	33.1	(1.2)	20.9	(1.1)	4.4	(0.4)	0.3	(0.1)
スペイン	1.1	(0.3)	4.8	(0.6)	14.4	(0.8)	27.1	(1.0)	31.8	(1.0)	17.2	(0.9)	3.4	(0.4)	0.2	(0.1)
マカオ	0.3	(0.1)	2.6	(0.3)	12.0	(0.4)	30.6	(0.6)	34.8	(0.7)	16.9	(0.5)	2.8	(0.2)	0.1	(0.1)
チリ	1.3	(0.2)	7.4	(0.8)	21.9	(1.0)	33.2	(1.1)	25.6	(1.1)	9.3	(0.7)	1.3	(0.2)	0.0	(0.0)
コロンビア	4.3	(0.8)	14.7	(0.9)	29.0	(1.2)	30.0	(1.1)	16.9	(1.0)	4.6	(0.6)	0.5	(0.2)	0.0	(0.0)

- (注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. プリント読解力に関しては、生徒の割合がPISA2009年調査国際結果報告書と異なる場合がある。  
 3. 国・地域はレベル5以上の割合で降順。

図 2 デジタル読解力、プリント読解力における習熟度レベル別に見た生徒の割合



(注) デジタル読解力でレベル1以下の生徒の割合が少ない順に上から並べている。

表 3 合成読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

国名	合成読解力の習熟度レベル															
	レベル1b 未満 (262点未満)		レベル1b (262点以上 335点未満)		レベル1a (335点以上 408点未満)		レベル2 (408点以上 481点未満)		レベル3 (481点以上 553点未満)		レベル4 (553点以上 626点未満)		レベル5 (626点以上 698点未満)		レベル6 (698点以上)	
	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
ニュージーランド	0.7	(0.2)	2.5	(0.3)	8.3	(0.5)	18.2	(0.7)	27.1	(0.8)	26.9	(0.8)	13.8	(0.7)	2.5	(0.3)
韓国	0.1	(0.1)	0.4	(0.2)	2.2	(0.5)	11.8	(1.0)	32.0	(1.2)	39.1	(1.3)	13.6	(1.1)	0.8	(0.2)
オーストラリア	0.7	(0.1)	2.4	(0.2)	7.9	(0.4)	18.6	(0.6)	29.5	(0.6)	27.0	(0.6)	11.7	(0.6)	2.2	(0.4)
ベルギー	0.7	(0.2)	3.9	(0.4)	12.0	(0.6)	20.4	(0.7)	27.3	(0.8)	26.4	(1.0)	8.8	(0.6)	0.5	(0.2)
アイスランド	0.6	(0.2)	3.1	(0.3)	10.5	(0.6)	21.9	(0.8)	32.5	(1.0)	23.2	(0.8)	7.4	(0.5)	0.8	(0.2)
スウェーデン	0.8	(0.2)	3.4	(0.4)	10.1	(0.7)	23.0	(1.0)	31.8	(0.9)	23.0	(0.9)	7.0	(0.6)	0.8	(0.2)
日本	0.5	(0.2)	1.7	(0.3)	7.1	(0.7)	19.5	(0.9)	33.8	(0.9)	29.8	(1.0)	7.2	(0.7)	0.3	(0.1)
香港	0.3	(0.1)	1.4	(0.2)	6.3	(0.5)	18.1	(0.8)	35.5	(1.1)	31.1	(1.1)	7.0	(0.6)	0.4	(0.1)
OECD平均(16か国)	0.8	(0.1)	4.0	(0.1)	11.6	(0.2)	23.0	(0.2)	30.7	(0.3)	22.6	(0.2)	6.6	(0.2)	0.6	(0.0)
アイルランド	0.8	(0.2)	2.9	(0.4)	10.1	(0.6)	24.0	(1.1)	32.6	(1.2)	23.1	(1.0)	6.0	(0.6)	0.5	(0.2)
フランス	1.1	(0.3)	5.0	(0.6)	12.2	(0.8)	21.9	(1.1)	30.2	(1.3)	23.2	(1.2)	6.1	(0.8)	0.3	(0.1)
ノルウェー	0.4	(0.1)	2.5	(0.3)	10.4	(0.7)	25.1	(0.9)	33.7	(0.8)	22.0	(1.0)	5.7	(0.6)	0.3	(0.1)
ハンガリー	1.0	(0.3)	6.4	(0.9)	14.0	(0.9)	25.3	(1.3)	29.9	(1.2)	18.7	(1.2)	4.4	(0.6)	0.2	(0.1)
デンマーク	0.4	(0.1)	2.9	(0.4)	11.8	(0.6)	26.2	(1.0)	35.6	(0.9)	19.7	(1.0)	3.2	(0.4)	0.2	(0.1)
ポーランド	0.7	(0.2)	4.6	(0.5)	14.2	(0.8)	27.5	(1.1)	31.0	(1.0)	18.7	(0.9)	3.2	(0.4)	0.2	(0.1)
スペイン	1.1	(0.3)	5.1	(0.6)	14.8	(0.8)	26.8	(1.1)	32.0	(1.0)	17.1	(1.0)	3.0	(0.4)	0.1	(0.1)
オーストリア	2.4	(0.6)	8.4	(0.8)	17.0	(0.9)	25.0	(1.0)	28.0	(1.1)	16.2	(0.8)	2.8	(0.4)	0.1	(0.1)
マカオ	0.1	(0.0)	1.3	(0.2)	10.2	(0.4)	31.9	(0.6)	39.5	(0.7)	15.5	(0.5)	1.6	(0.2)	0.0	c
チリ	1.5	(0.3)	8.7	(0.8)	23.2	(1.0)	33.3	(1.0)	24.3	(1.1)	8.0	(0.7)	0.9	(0.2)	0.0	c
コロンビア	5.4	(0.7)	20.0	(1.1)	33.4	(1.2)	27.6	(1.2)	11.3	(0.9)	2.1	(0.3)	0.2	(0.1)	0.0	c

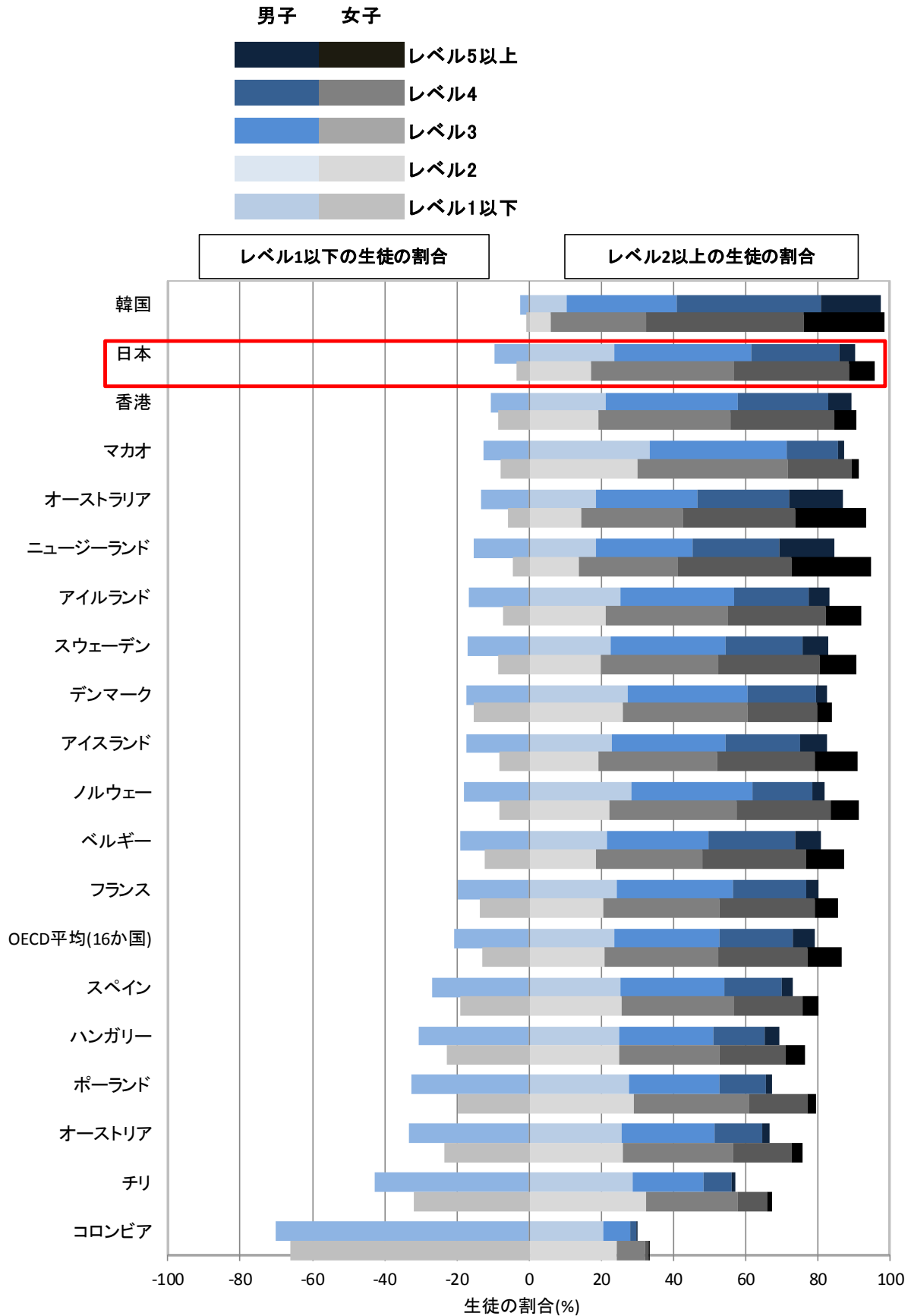
(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 表中のcは欠損値。  
 3. 国・地域はレベル5以上の割合で降順。

表 4 男女別に見たデジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

国名	性別	デジタル読解力の習熟度レベル									
		レベル1以下 (408点未満)		レベル 2 (408点以上 481点未満)		レベル 3 (481点以上 553点未満)		レベル 4 (553点以上 626点未満)		レベル 5以上 (626点以上)	
		割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
オーストラリア	男子	13.1	(0.9)	18.7	(0.9)	28.1	(1.1)	25.4	(1.1)	14.7	(1.1)
	女子	6.2	(0.5)	14.3	(0.7)	28.2	(0.8)	31.5	(1.1)	19.8	(1.1)
オーストリア	男子	33.4	(2.0)	25.7	(1.5)	25.7	(1.4)	13.2	(1.1)	2.1	(0.5)
	女子	23.8	(2.0)	25.8	(1.4)	30.8	(1.7)	16.5	(1.5)	3.1	(0.6)
ベルギー	男子	19.1	(1.2)	21.8	(1.0)	28.0	(1.1)	23.9	(1.3)	7.2	(0.8)
	女子	12.4	(0.8)	18.6	(0.9)	29.6	(1.2)	28.8	(1.2)	10.6	(0.8)
チリ	男子	42.9	(2.0)	28.8	(1.4)	19.7	(1.4)	7.8	(1.0)	0.9	(0.3)
	女子	32.4	(1.8)	32.5	(1.5)	25.3	(1.3)	8.3	(1.0)	1.4	(0.4)
デンマーク	男子	17.2	(1.1)	27.5	(1.5)	33.1	(1.7)	18.8	(1.3)	3.3	(0.5)
	女子	15.6	(1.2)	26.0	(1.7)	34.7	(1.7)	19.6	(1.3)	4.0	(0.5)
フランス	男子	19.6	(1.8)	24.4	(1.3)	32.1	(1.8)	20.3	(1.5)	3.6	(0.8)
	女子	13.9	(1.5)	20.4	(1.4)	32.5	(1.7)	26.7	(1.5)	6.5	(1.0)
ハンガリー	男子	30.4	(1.9)	25.0	(1.7)	26.0	(1.4)	14.3	(1.4)	4.2	(0.8)
	女子	23.1	(2.0)	24.9	(1.9)	28.1	(1.6)	18.4	(1.5)	5.5	(0.9)
アイスランド	男子	17.3	(1.1)	23.1	(1.2)	31.5	(1.2)	20.7	(0.9)	7.5	(0.8)
	女子	8.5	(0.7)	19.2	(1.1)	32.9	(1.6)	27.4	(1.6)	11.9	(0.9)
アイルランド	男子	16.6	(1.3)	25.5	(1.3)	31.4	(1.3)	20.7	(1.2)	5.8	(0.8)
	女子	7.4	(0.9)	21.3	(1.3)	33.9	(1.5)	27.5	(1.7)	9.9	(1.2)
日本	男子	9.4	(1.2)	23.8	(1.6)	37.9	(1.5)	24.4	(1.4)	4.4	(0.6)
	女子	3.9	(0.6)	17.0	(1.1)	40.0	(1.4)	32.1	(1.4)	7.1	(0.9)
韓国	男子	2.5	(0.6)	10.4	(1.5)	30.6	(1.7)	40.0	(1.7)	16.4	(1.8)
	女子	1.0	(0.3)	6.0	(1.0)	26.5	(1.9)	44.1	(1.8)	22.4	(2.2)
ニュージーランド	男子	15.4	(1.0)	18.6	(1.1)	26.7	(1.1)	24.3	(1.3)	15.0	(1.0)
	女子	4.7	(0.6)	13.6	(1.0)	27.8	(1.4)	31.6	(1.1)	22.4	(1.3)
ノルウェー	男子	18.1	(1.3)	28.5	(1.2)	33.3	(1.9)	16.7	(1.6)	3.3	(0.4)
	女子	8.3	(0.9)	22.3	(1.5)	35.6	(1.7)	26.3	(1.4)	7.6	(0.9)
ポーランド	男子	32.6	(1.5)	27.9	(1.3)	25.0	(1.1)	12.9	(0.9)	1.6	(0.3)
	女子	20.0	(1.4)	28.9	(1.4)	32.2	(1.4)	16.4	(1.2)	2.4	(0.4)
スペイン	男子	26.8	(1.7)	25.4	(1.3)	28.8	(1.4)	15.9	(1.2)	3.1	(0.6)
	女子	19.3	(1.4)	25.5	(1.4)	31.6	(1.5)	18.9	(1.2)	4.7	(0.7)
スウェーデン	男子	17.1	(1.3)	22.5	(1.4)	32.1	(1.2)	21.2	(1.2)	7.1	(0.7)
	女子	8.8	(1.1)	19.8	(1.1)	32.8	(1.2)	28.3	(1.4)	10.2	(1.1)
OECD平均 (16か国)	男子	20.7	(0.4)	23.6	(0.3)	29.4	(0.4)	20.0	(0.3)	6.3	(0.2)
	女子	13.1	(0.3)	21.0	(0.3)	31.4	(0.4)	25.1	(0.3)	9.3	(0.3)
コロンビア	男子	70.1	(2.3)	20.5	(1.6)	7.5	(1.2)	1.7	(0.6)	0.2	(0.1)
	女子	66.8	(2.1)	24.1	(1.5)	8.0	(1.1)	1.1	(0.3)	0.0	c
香港	男子	10.7	(1.1)	21.3	(1.4)	36.7	(1.3)	25.0	(1.5)	6.3	(0.8)
	女子	8.7	(1.0)	19.3	(1.4)	36.8	(1.7)	28.8	(1.6)	6.3	(0.8)
マカオ	男子	12.6	(1.0)	33.6	(1.1)	37.8	(1.0)	14.2	(0.6)	1.8	(0.3)
	女子	8.3	(0.6)	30.0	(1.1)	42.1	(1.1)	17.5	(0.8)	2.1	(0.4)

(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
2. 表中のcは欠損値。

図3 男女別にみたデジタル読解力における習熟度レベル別の生徒の割合



(注) 男子のデジタル読解力でレベル1以下の生徒の割合が少ない順に上から並べている。



表 5 男女別に見たプリント読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

国名	性別	プリント読解力の習熟度レベル															
		レベル1b 未満 (262点未満)		レベル1b (262点以上 335点未満)		レベル1a (335点以上 408点未満)		レベル 2 (408点以上 481点未満)		レベル 3 (481点以上 553点未満)		レベル 4 (553点以上 626点未満)		レベル 5 (626点以上 698点未満)		レベル 6 (698点以上)	
		割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
オーストラリア	男子	1.5	(0.2)	4.9	(0.5)	13.2	(0.6)	22.5	(0.8)	27.4	(0.8)	20.6	(0.9)	8.3	(0.6)	1.6	(0.3)
	女子	0.4	(0.1)	1.8	(0.2)	6.8	(0.5)	18.4	(0.8)	29.5	(1.0)	27.4	(0.8)	13.0	(0.7)	2.6	(0.4)
オーストリア	男子	3.1	(0.6)	10.8	(1.2)	21.3	(1.4)	25.1	(1.3)	23.2	(1.2)	13.7	(1.3)	2.7	(0.5)	0.1	(0.1)
	女子	0.9	(0.4)	5.6	(0.9)	13.8	(1.1)	23.1	(1.4)	28.7	(1.3)	21.1	(1.2)	6.3	(0.7)	0.6	(0.2)
ベルギー	男子	1.7	(0.3)	6.2	(0.7)	13.7	(0.8)	22.0	(0.9)	24.7	(1.0)	22.4	(1.0)	8.6	(0.7)	0.8	(0.3)
	女子	0.6	(0.2)	3.2	(0.6)	10.0	(0.9)	18.5	(0.9)	27.1	(1.1)	27.6	(1.1)	11.6	(0.8)	1.4	(0.3)
チリ	男子	1.9	(0.4)	9.4	(1.1)	24.8	(1.2)	32.1	(1.4)	22.7	(1.4)	8.1	(0.8)	1.0	(0.3)	0.0	(0.0)
	女子	0.7	(0.3)	5.2	(0.7)	18.9	(1.2)	34.4	(1.5)	28.7	(1.5)	10.6	(1.2)	1.5	(0.4)	0.0	c
デンマーク	男子	0.6	(0.2)	4.3	(0.5)	14.1	(1.1)	29.2	(1.3)	31.6	(1.5)	17.0	(1.4)	3.0	(0.6)	0.2	(0.1)
	女子	0.2	(0.1)	2.0	(0.3)	9.3	(0.8)	22.9	(1.2)	34.6	(1.7)	24.8	(1.3)	5.7	(0.6)	0.4	(0.2)
フランス	男子	3.4	(0.7)	8.1	(0.9)	14.1	(1.2)	23.3	(1.4)	25.4	(1.5)	18.6	(1.3)	6.3	(0.8)	0.7	(0.3)
	女子	1.3	(0.5)	3.3	(0.6)	9.6	(0.8)	19.0	(1.2)	28.9	(1.4)	25.9	(1.4)	10.6	(1.2)	1.5	(0.4)
ハンガリー	男子	0.9	(0.4)	6.6	(1.1)	16.1	(1.4)	25.6	(1.7)	29.7	(1.4)	17.3	(1.4)	3.8	(0.7)	0.1	c
	女子	0.2	(0.2)	2.8	(0.8)	8.4	(1.1)	21.9	(1.7)	32.5	(1.9)	26.0	(1.7)	7.8	(1.0)	0.5	(0.2)
アイスランド	男子	1.8	(0.3)	6.6	(0.6)	15.5	(0.9)	24.4	(1.1)	28.2	(1.1)	18.0	(1.1)	5.1	(0.7)	0.6	(0.3)
	女子	0.4	(0.2)	1.9	(0.5)	7.6	(0.9)	19.9	(1.0)	33.1	(1.6)	25.7	(1.4)	9.9	(1.0)	1.4	(0.4)
アイルランド	男子	2.5	(0.6)	5.7	(0.7)	15.0	(1.3)	25.0	(1.6)	29.5	(1.3)	17.8	(1.6)	4.1	(0.7)	0.4	(0.2)
	女子	0.6	(0.2)	2.1	(0.5)	8.6	(0.8)	21.4	(1.4)	31.6	(1.1)	26.2	(1.3)	8.6	(0.9)	1.0	(0.4)
日本	男子	2.0	(0.7)	5.0	(0.8)	11.9	(1.0)	20.3	(1.2)	26.7	(1.5)	24.1	(1.4)	8.9	(0.9)	1.2	(0.4)
	女子	0.6	(0.3)	1.6	(0.4)	5.7	(0.7)	15.5	(1.2)	29.4	(1.3)	30.2	(1.3)	14.2	(1.2)	2.7	(0.6)
韓国	男子	0.4	(0.3)	1.4	(0.5)	7.0	(1.0)	19.3	(1.6)	34.3	(1.6)	28.4	(1.9)	8.7	(1.1)	0.7	(0.2)
	女子	0.1	c	0.3	(0.1)	2.1	(0.5)	11.1	(1.3)	31.6	(1.7)	38.0	(1.9)	15.4	(1.4)	1.5	(0.3)
ニュージーランド	男子	1.7	(0.4)	5.1	(0.7)	13.9	(0.9)	21.3	(1.0)	25.7	(1.1)	20.6	(1.1)	10.1	(1.1)	1.8	(0.4)
	女子	0.2	(0.1)	1.3	(0.4)	6.3	(0.6)	17.3	(1.0)	25.9	(1.1)	29.3	(1.1)	15.8	(1.0)	4.0	(0.7)
ノルウェー	男子	1.0	(0.3)	5.5	(0.6)	14.9	(0.9)	27.4	(1.2)	28.8	(1.1)	17.4	(1.1)	4.5	(0.8)	0.5	(0.2)
	女子	0.1	c	1.3	(0.3)	7.0	(0.8)	19.6	(1.0)	33.1	(1.4)	27.0	(1.6)	10.8	(1.2)	1.2	(0.3)
ポーランド	男子	1.2	(0.3)	5.4	(0.6)	16.1	(1.0)	28.3	(1.3)	27.9	(1.3)	16.9	(1.0)	4.0	(0.7)	0.3	(0.2)
	女子	0.1	c	0.9	(0.2)	6.5	(0.8)	20.7	(1.3)	34.1	(1.3)	27.6	(1.5)	9.1	(0.9)	1.0	(0.2)
スペイン	男子	1.4	(0.4)	6.3	(0.8)	17.2	(1.2)	28.6	(1.2)	30.2	(1.4)	13.9	(1.1)	2.2	(0.4)	0.1	c
	女子	0.7	(0.3)	3.2	(0.6)	11.5	(0.9)	25.5	(1.5)	33.4	(1.5)	20.7	(1.4)	4.7	(0.6)	0.3	(0.2)
スウェーデン	男子	2.3	(0.4)	6.5	(0.6)	15.4	(1.1)	25.8	(1.4)	27.8	(1.2)	16.3	(1.0)	5.3	(0.6)	0.7	(0.2)
	女子	0.7	(0.3)	2.0	(0.5)	7.8	(0.7)	21.1	(1.1)	31.8	(1.3)	24.5	(1.3)	10.2	(0.9)	2.0	(0.4)
OECD平均 (16か国)	男子	1.7	(0.1)	6.1	(0.2)	15.3	(0.3)	25.0	(0.3)	27.7	(0.3)	18.2	(0.3)	5.4	(0.2)	0.6	(0.1)
	女子	0.5	(0.1)	2.4	(0.1)	8.7	(0.2)	20.6	(0.3)	30.9	(0.4)	25.8	(0.3)	9.7	(0.2)	1.4	(0.1)
コロンビア	男子	4.5	(0.9)	16.0	(1.3)	29.6	(1.5)	29.4	(1.4)	15.5	(1.3)	4.3	(0.7)	0.5	(0.2)	0.0	c
	女子	4.0	(0.9)	13.5	(1.2)	28.4	(1.6)	30.5	(1.4)	18.3	(1.2)	4.7	(0.8)	0.6	(0.2)	0.0	(0.0)
香港	男子	0.4	(0.2)	2.1	(0.5)	8.8	(1.0)	18.7	(1.2)	33.2	(1.4)	27.9	(1.4)	8.1	(0.9)	0.8	(0.3)
	女子	0.0	c	0.8	(0.2)	4.1	(0.7)	13.1	(0.9)	29.4	(1.2)	36.2	(1.2)	14.7	(1.0)	1.7	(0.4)
マカオ	男子	0.4	(0.1)	3.9	(0.5)	16.2	(0.8)	33.8	(0.9)	31.7	(0.8)	12.3	(0.7)	1.6	(0.3)	0.1	(0.1)
	女子	0.1	(0.1)	1.3	(0.2)	7.6	(0.6)	27.2	(0.8)	38.0	(1.0)	21.6	(0.7)	4.0	(0.4)	0.1	c

(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。

2. 表中のcは欠損値。

3. プリント読解力に関し、生徒の割合がPISA2009年調査国際結果報告書と異なる場合がある。

表 6 男女別に見た合成読解力における習熟度レベル別の生徒の割合

国名	性別	合成読解力の習熟度レベル															
		レベル1b 未満 (262点未満)		レベル1b (262点以上 335点未満)		レベル1a (335点以上 408点未満)		レベル 2 (408点以上 481点未満)		レベル 3 (481点以上 553点未満)		レベル 4 (553点以上 626点未満)		レベル 5 (626点以上 698点未満)		レベル 6 (698点以上)	
		割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
オーストラリア	男子	1.1	(0.2)	3.7	(0.3)	10.5	(0.6)	21.2	(1.0)	28.8	(1.0)	23.5	(0.9)	9.3	(0.7)	1.8	(0.5)
	女子	0.4	(0.1)	1.1	(0.2)	5.4	(0.5)	16.1	(0.7)	30.1	(0.8)	30.4	(0.9)	14.0	(0.8)	2.6	(0.4)
オーストリア	男子	3.2	(0.6)	10.5	(1.1)	20.1	(1.3)	25.8	(1.4)	25.2	(1.3)	13.2	(1.0)	1.9	(0.4)	0.0	c
	女子	1.7	(0.6)	6.3	(0.9)	14.0	(1.2)	24.2	(1.5)	30.8	(1.5)	19.1	(1.2)	3.8	(0.6)	0.2	(0.1)
ベルギー	男子	1.1	(0.2)	5.2	(0.6)	13.9	(1.0)	22.1	(1.0)	26.4	(1.0)	23.8	(1.3)	7.2	(0.7)	0.3	(0.2)
	女子	0.3	(0.1)	2.6	(0.4)	10.0	(0.8)	18.6	(0.9)	28.3	(1.1)	29.0	(1.1)	10.5	(0.7)	0.6	(0.2)
チリ	男子	2.1	(0.5)	10.6	(1.1)	26.3	(1.4)	31.7	(1.4)	21.1	(1.5)	7.4	(1.0)	0.7	(0.3)	0.0	c
	女子	0.9	(0.3)	6.6	(0.8)	20.1	(1.2)	35.0	(1.3)	27.6	(1.4)	8.6	(1.0)	1.1	(0.3)	0.0	c
デンマーク	男子	0.5	(0.2)	3.6	(0.6)	13.3	(0.8)	28.1	(1.3)	34.6	(1.3)	17.4	(1.1)	2.2	(0.4)	0.2	(0.1)
	女子	0.2	(0.1)	2.3	(0.4)	10.3	(0.9)	24.4	(1.2)	36.6	(1.4)	21.9	(1.3)	4.2	(0.5)	0.2	(0.1)
フランス	男子	1.5	(0.4)	6.8	(1.0)	14.6	(1.1)	23.7	(1.5)	29.1	(1.6)	19.6	(1.3)	4.4	(0.7)	0.2	(0.1)
	女子	0.7	(0.3)	3.3	(0.5)	9.9	(0.8)	20.1	(1.4)	31.2	(1.6)	26.5	(1.4)	7.8	(1.1)	0.5	(0.2)
ハンガリー	男子	1.5	(0.4)	8.4	(1.2)	16.4	(1.3)	26.4	(1.6)	28.6	(1.5)	15.2	(1.3)	3.3	(0.6)	0.1	(0.1)
	女子	0.6	(0.3)	4.4	(0.9)	11.5	(1.2)	24.1	(1.6)	31.3	(1.7)	22.3	(1.5)	5.6	(0.8)	0.3	(0.2)
アイスランド	男子	1.0	(0.3)	4.6	(0.6)	14.3	(1.0)	24.5	(1.4)	30.8	(1.1)	19.1	(1.0)	5.2	(0.5)	0.4	(0.2)
	女子	0.3	(0.1)	1.7	(0.3)	6.6	(0.8)	19.4	(0.9)	34.1	(1.4)	27.3	(1.3)	9.5	(0.9)	1.2	(0.3)
アイルランド	男子	1.4	(0.3)	4.5	(0.7)	13.1	(1.0)	26.5	(1.4)	31.4	(1.3)	18.8	(1.1)	4.1	(0.6)	0.3	(0.2)
	女子	0.3	(0.2)	1.3	(0.3)	7.0	(0.8)	21.4	(1.2)	33.8	(1.7)	27.4	(1.9)	8.1	(1.0)	0.6	(0.3)
日本	男子	0.5	(0.2)	2.7	(0.6)	10.0	(1.1)	23.0	(1.3)	32.6	(1.2)	25.7	(1.3)	5.4	(0.7)	0.2	(0.1)
	女子	0.4	(0.2)	0.7	(0.2)	4.0	(0.7)	15.9	(1.2)	35.2	(1.4)	34.2	(1.4)	9.2	(1.0)	0.4	(0.2)
韓国	男子	0.2	(0.1)	0.6	(0.3)	3.3	(0.8)	15.2	(1.6)	34.4	(1.6)	34.9	(1.9)	10.8	(1.3)	0.6	(0.3)
	女子	0.0	c	0.1	(0.1)	1.0	(0.3)	8.0	(1.1)	29.4	(1.7)	43.7	(2.0)	16.8	(1.7)	1.0	(0.4)
ニュージーランド	男子	1.1	(0.3)	4.2	(0.5)	11.8	(0.8)	20.6	(1.1)	26.7	(1.1)	22.7	(1.0)	11.2	(0.9)	1.6	(0.3)
	女子	0.1	(0.1)	0.8	(0.2)	4.5	(0.6)	15.6	(0.9)	27.5	(1.3)	31.4	(1.2)	16.5	(1.0)	3.5	(0.5)
ノルウェー	男子	0.7	(0.2)	3.7	(0.6)	14.2	(1.0)	29.4	(1.1)	31.6	(1.0)	16.8	(1.0)	3.3	(0.5)	0.2	(0.1)
	女子	0.1	c	1.2	(0.4)	6.4	(0.6)	20.5	(1.2)	35.8	(1.5)	27.4	(1.3)	8.1	(1.0)	0.4	(0.2)
ポーランド	男子	1.4	(0.3)	7.4	(0.8)	18.7	(0.9)	28.6	(1.3)	27.0	(1.3)	14.7	(1.0)	2.2	(0.4)	0.0	(0.0)
	女子	0.1	(0.1)	1.8	(0.4)	9.8	(1.1)	26.4	(1.4)	35.0	(1.3)	22.6	(1.3)	4.2	(0.7)	0.3	(0.1)
スペイン	男子	1.4	(0.4)	6.5	(0.8)	17.5	(1.2)	27.5	(1.2)	30.3	(1.2)	14.6	(1.2)	2.1	(0.4)	0.0	c
	女子	0.8	(0.3)	3.7	(0.7)	11.9	(0.9)	26.1	(1.5)	33.8	(1.5)	19.6	(1.3)	3.9	(0.6)	0.2	(0.1)
スウェーデン	男子	1.2	(0.3)	5.3	(0.6)	13.1	(0.9)	25.4	(1.3)	30.5	(1.3)	18.9	(1.3)	5.1	(0.6)	0.5	(0.2)
	女子	0.5	(0.2)	1.5	(0.4)	7.0	(0.8)	20.5	(1.0)	33.2	(1.1)	27.1	(1.2)	9.0	(0.9)	1.1	(0.3)
OECD平均 (16か国)	男子	1.2	(0.1)	5.5	(0.2)	14.5	(0.3)	25.0	(0.3)	29.3	(0.3)	19.2	(0.3)	4.9	(0.2)	0.4	(0.0)
	女子	0.5	(0.1)	2.5	(0.1)	8.7	(0.2)	21.0	(0.3)	32.1	(0.4)	26.2	(0.3)	8.3	(0.2)	0.8	(0.1)
コロンビア	男子	5.5	(0.9)	20.9	(1.7)	34.6	(1.8)	26.2	(1.9)	10.3	(1.4)	2.3	(0.6)	0.2	(0.1)	0.0	c
	女子	5.2	(0.9)	19.2	(1.4)	32.3	(1.3)	28.9	(1.4)	12.3	(1.0)	1.9	(0.4)	0.1	(0.1)	0.0	c
香港	男子	0.4	(0.2)	1.7	(0.3)	7.8	(0.8)	20.1	(1.1)	36.5	(1.4)	27.6	(1.4)	5.6	(0.8)	0.3	(0.2)
	女子	0.1	(0.1)	1.0	(0.2)	4.5	(0.6)	16.0	(1.1)	34.4	(1.4)	34.9	(1.5)	8.6	(0.7)	0.5	(0.2)
マカオ	男子	0.1	(0.1)	1.8	(0.3)	13.3	(0.6)	35.0	(1.1)	36.5	(0.8)	11.9	(0.7)	1.3	(0.3)	0.0	c
	女子	0.0	c	0.7	(0.2)	6.9	(0.6)	28.6	(0.8)	42.6	(1.0)	19.1	(0.8)	2.0	(0.3)	0.0	c

(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。

2. 表中のcは欠損値。

表 7 デジタル読解力における平均得点と順位の詳細

順位	国名	デジタル読解力						プリント 読解力 平均得点	デジタル読解力と プリント読解力の 平均得点の差 (デジタルー プリント)
		平均 得点	標準 誤差	順位の詳細					
				OECD加盟国		すべての参加国			
				上位	下位	上位	下位		
1	韓国	568	(3.0)	1	1	1	1	539	28
2	ニュージーランド	537	(2.3)	2	3	2	3	521	16
3	オーストラリア	537	(2.8)	2	3	2	3	515	22
4	日本	519	(2.4)	4	4	4	5	520	-1
5	香港	515	(2.6)	-	-	4	7	533	-18
6	アイスランド	512	(1.4)	5	7	5	8	500	12
7	スウェーデン	510	(3.3)	5	8	5	9	497	13
8	アイルランド	509	(2.8)	5	8	6	9	496	13
9	ベルギー	507	(2.1)	6	8	7	9	506	1
10	ノルウェー	500	(2.8)	9	10	10	11	503	-3
	OECD平均(16か国)	499	(0.8)	-	-	-	-	499	0
11	フランス	494	(5.2)	9	11	10	13	496	-2
12	マカオ	492	(0.7)	-	-	11	13	487	5
13	デンマーク	489	(2.6)	10	11	11	13	495	-6
14	スペイン	475	(3.8)	12	13	14	15	481	-6
15	ハンガリー	468	(4.2)	12	14	14	16	494	-26
16	ポーランド	464	(3.1)	13	15	15	17	500	-37
17	オーストリア	459	(3.9)	14	15	16	17	470	-12
18	チリ	435	(3.6)	16	16	18	18	449	-15
19	コロンビア	368	(3.4)	-	-	19	19	412	-43

国名	OECD加盟国
国名	非OECD加盟国・地域

平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に高い国・地域
平均得点	OECD平均と統計的に有意差がない国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域

- (注) 1. プリント読解力の平均得点について、PISA2009年調査国際結果報告書と異なる場合がある。  
 2. デジタル読解力とプリント読解力の平均得点の差で、太字は統計的に有意であることを示す。  
 3. 平均得点、及びデジタル読解力とプリント読解力の平均得点の差は、整数に丸めた値。

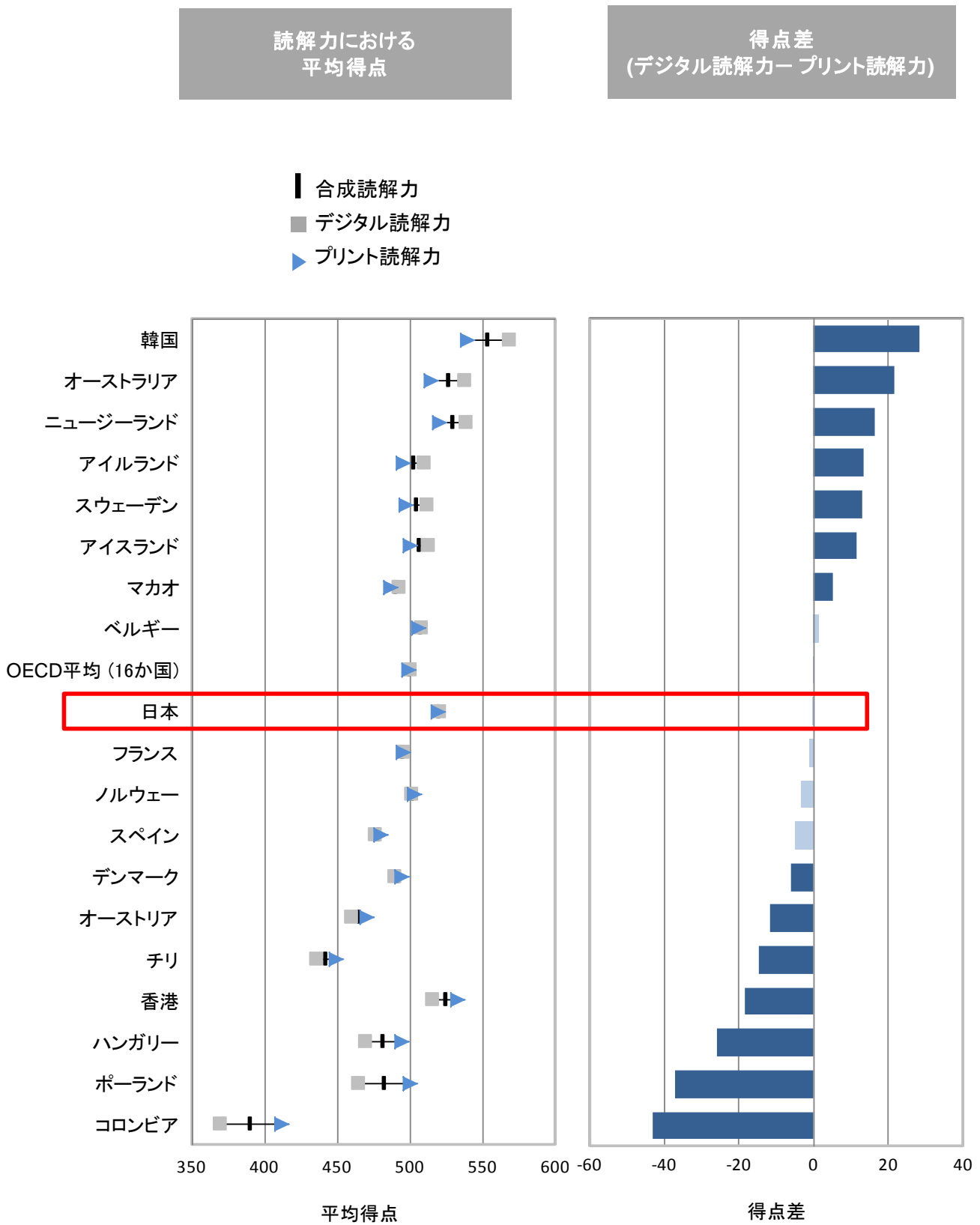
表 8 合成読解力における平均得点と順位の範囲

	国名	合成読解力					
		平均 得点	標準 誤差	順位の範囲			
				OECD加盟国		すべての参加国	
				上位	下位	上位	下位
1	韓国	553	(3.1)	1	1	1	1
2	ニュージーランド	529	(2.2)	2	3	2	3
3	オーストラリア	526	(2.4)	2	3	2	4
4	香港	524	(2.0)	-	-	3	5
5	日本	520	(2.6)	4	4	4	5
6	ベルギー	507	(2.1)	5	8	6	9
7	アイスランド	506	(1.3)	5	7	6	8
8	スウェーデン	504	(2.9)	5	9	6	10
9	アイルランド	502	(2.6)	6	10	7	11
10	ノルウェー	502	(2.5)	6	10	7	11
	OECD平均(16か国)	499	(0.7)	-	-	-	-
11	フランス	495	(3.7)	9	11	10	13
12	デンマーク	492	(2.1)	10	11	11	13
13	マカオ	489	(0.7)	-	-	12	13
14	ポーランド	482	(2.6)	12	14	14	16
15	ハンガリー	481	(3.4)	12	14	14	16
16	スペイン	478	(3.2)	12	14	14	16
17	オーストリア	464	(3.1)	15	15	17	17
18	チリ	442	(3.1)	16	16	18	18
19	コロンビア	390	(3.2)	-	-	19	19

国名	OECD加盟国
国名	非OECD加盟国・地域

平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に高い国・地域
平均得点	OECD平均と統計的に有意差がない国・地域
平均得点	OECD平均よりも統計的に有意に低い国・地域

図 4 デジタル読解力とプリント読解力の得点差



(注) 1. 統計的な有意差が見られない場合はグラフを淡い色にしている。  
 2. 得点差(デジタル読解力ープリント読解力)の大きい順に上から並べている。

図 5 デジタル読解力とプリント読解力の関係

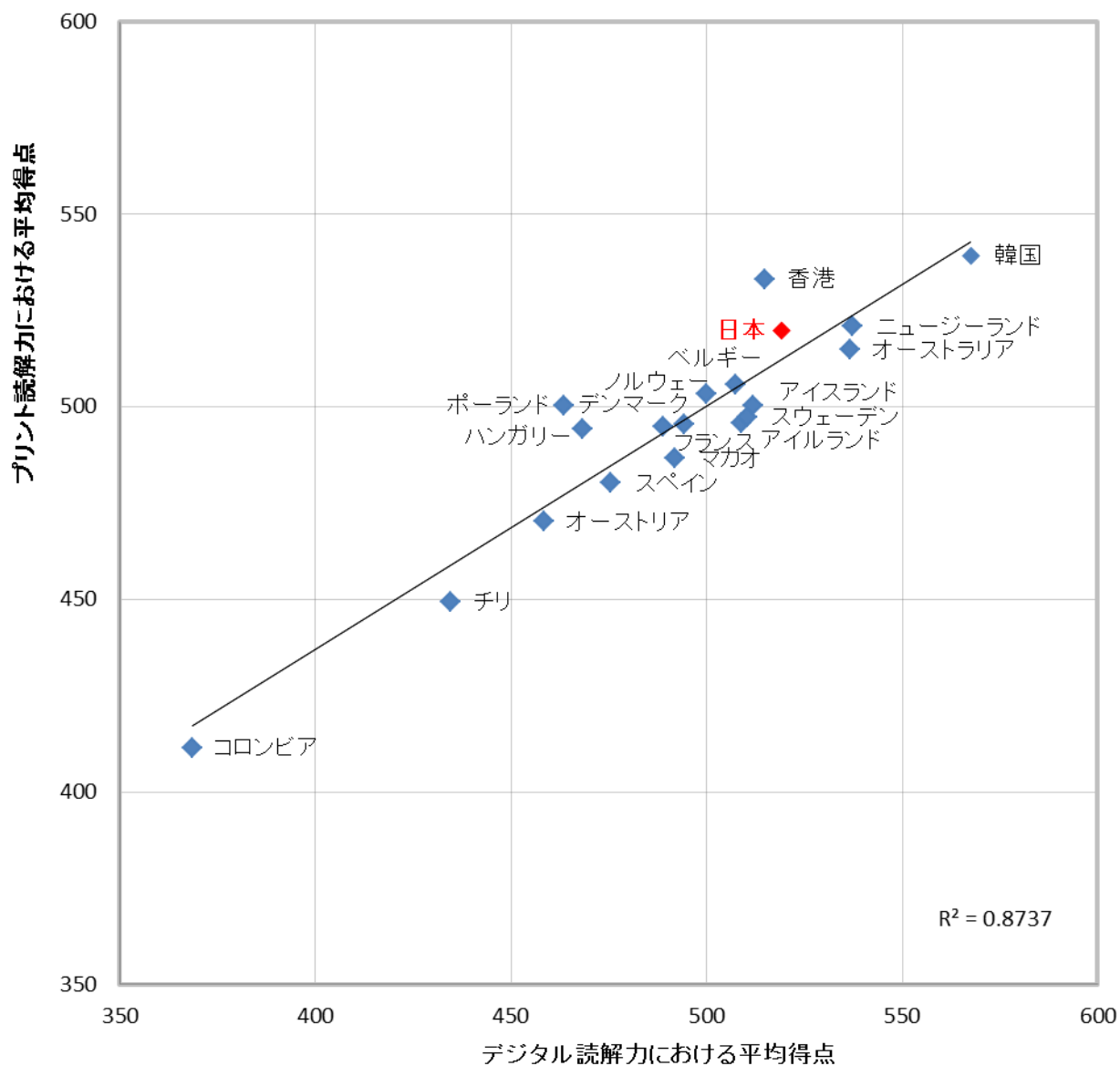


表 9 デジタル読解力平均得点の国別分布

国名	デジタル読解力の国別分布											
	下位5%値		下位10%値		下位25%値		上位25%値		上位10%値		上位5%値	
	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差
ニュージーランド	363	(6.7)	406	(4.8)	476	(3.5)	607	(2.6)	658	(3.0)	687	(3.5)
オーストラリア	367	(4.4)	411	(3.7)	477	(3.1)	603	(2.9)	654	(3.7)	684	(5.5)
韓国	452	(6.2)	479	(5.8)	526	(3.7)	614	(3.4)	650	(4.3)	671	(4.8)
アイスランド	353	(4.5)	392	(3.4)	455	(2.7)	574	(2.3)	624	(2.9)	654	(3.2)
スウェーデン	354	(6.6)	392	(5.5)	454	(4.4)	573	(3.7)	619	(3.7)	645	(3.3)
ベルギー	341	(4.8)	377	(4.1)	444	(3.5)	577	(2.2)	621	(2.9)	645	(3.2)
アイルランド	357	(6.9)	398	(4.3)	453	(3.3)	570	(2.8)	616	(3.5)	643	(4.6)
OECD平均(16か国)	342	(1.9)	380	(1.4)	442	(1.1)	562	(0.8)	609	(0.9)	635	(1.1)
香港	371	(6.0)	409	(5.7)	467	(3.6)	570	(2.7)	610	(3.0)	634	(3.5)
日本	394	(5.0)	426	(4.3)	475	(2.9)	570	(2.6)	608	(3.2)	630	(3.8)
ノルウェー	356	(5.5)	392	(4.3)	448	(3.4)	557	(3.4)	602	(2.9)	629	(4.1)
フランス	328	(14.6)	371	(8.7)	439	(6.3)	561	(3.7)	603	(4.0)	626	(4.2)
ハンガリー	288	(8.5)	328	(7.5)	401	(5.8)	542	(5.0)	596	(5.1)	624	(6.3)
スペイン	308	(9.0)	347	(6.7)	414	(5.2)	543	(4.0)	592	(4.3)	618	(4.3)
デンマーク	341	(4.9)	378	(4.4)	436	(3.4)	547	(3.3)	592	(2.8)	617	(3.3)
オーストリア	282	(12.1)	323	(7.8)	395	(5.7)	533	(3.8)	579	(4.4)	605	(5.0)
ポーランド	306	(6.4)	343	(4.0)	404	(4.2)	529	(3.2)	577	(2.8)	601	(3.2)
マカオ	381	(3.0)	406	(1.8)	448	(1.5)	537	(1.6)	576	(2.0)	600	(1.8)
チリ	283	(6.0)	316	(4.9)	374	(4.8)	497	(4.2)	549	(4.6)	578	(5.2)
コロンビア	236	(4.8)	264	(3.7)	311	(3.6)	424	(4.2)	477	(5.5)	507	(6.3)

(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 国・地域は上位5%値の平均得点で降順。

表 10 プリント読解力平均得点の国別分布

国名	プリント読解力の国別分布											
	下位5%値		下位10%値		下位25%値		上位25%値		上位10%値		上位5%値	
	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差
ニュージーランド	344	(5.8)	383	(4.5)	452	(3.1)	595	(2.8)	649	(2.7)	678	(3.7)
オーストラリア	343	(3.8)	384	(3.1)	450	(2.9)	584	(2.7)	638	(3.2)	668	(3.9)
日本	339	(9.8)	386	(7.1)	459	(4.8)	590	(3.0)	639	(3.6)	667	(4.6)
香港	380	(5.5)	418	(4.5)	482	(3.0)	592	(2.5)	634	(2.9)	659	(3.1)
韓国	400	(7.6)	435	(5.9)	490	(4.1)	595	(3.4)	635	(3.0)	658	(3.8)
ベルギー	326	(6.1)	368	(4.3)	436	(3.8)	583	(2.2)	631	(2.7)	657	(2.9)
フランス	305	(8.2)	352	(7.0)	429	(4.7)	572	(4.0)	624	(3.9)	651	(4.6)
スウェーデン	326	(5.3)	368	(5.5)	437	(3.3)	565	(3.2)	620	(3.7)	651	(3.9)
アイスランド	332	(5.0)	371	(4.1)	439	(2.9)	567	(2.0)	619	(2.6)	648	(3.9)
ノルウェー	346	(4.5)	382	(4.0)	443	(3.6)	568	(2.9)	619	(3.9)	647	(4.4)
OECD平均(16か国)	335	(1.6)	374	(1.3)	438	(0.9)	566	(0.8)	615	(0.8)	643	(1.0)
ポーランド	346	(5.6)	382	(4.2)	441	(3.4)	565	(3.2)	613	(3.3)	640	(3.6)
アイルランド	330	(7.8)	373	(4.7)	435	(3.9)	562	(2.8)	611	(2.8)	638	(3.2)
ハンガリー	332	(7.4)	371	(6.9)	435	(4.3)	559	(3.6)	607	(3.5)	632	(4.0)
オーストリア	299	(5.2)	334	(6.1)	399	(4.3)	545	(3.3)	596	(3.3)	625	(4.3)
デンマーク	350	(3.8)	383	(3.7)	440	(2.9)	554	(2.8)	599	(3.0)	624	(2.9)
スペイン	327	(5.4)	363	(5.0)	423	(3.7)	543	(3.5)	589	(3.6)	615	(3.7)
マカオ	357	(2.7)	388	(1.9)	437	(1.4)	540	(1.4)	582	(1.8)	608	(1.8)
チリ	310	(5.1)	342	(5.0)	393	(4.1)	506	(3.3)	556	(3.6)	584	(5.1)
コロンビア	268	(7.2)	299	(5.3)	353	(5.0)	472	(4.1)	523	(4.1)	554	(4.3)

- (注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. プリント読解力については、平均得点がPISA2009年調査国際結果報告書と異なる場合がある。  
 3. 国・地域は上位5%値の平均得点で降順。



表 11 合成読解力平均得点の国別分布

国名	合成読解力の国別分布											
	下位5%値		下位10%値		下位25%値		上位25%値		上位10%値		上位5%値	
	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差	得点	標準誤差
ニュージーランド	359	(5.2)	397	(4.8)	466	(2.8)	599	(2.4)	651	(2.8)	678	(3.3)
オーストラリア	361	(4.2)	401	(3.1)	466	(2.7)	591	(2.5)	642	(3.4)	671	(4.6)
韓国	430	(7.0)	462	(5.0)	510	(3.6)	602	(3.3)	638	(3.4)	659	(3.4)
ベルギー	339	(4.8)	375	(4.0)	441	(3.5)	579	(1.9)	623	(2.8)	647	(2.8)
アイスランド	349	(4.6)	386	(3.6)	449	(3.0)	567	(1.6)	617	(2.5)	645	(3.3)
スウェーデン	343	(5.0)	383	(5.4)	447	(3.7)	567	(3.2)	616	(3.0)	643	(3.9)
日本	374	(7.9)	412	(5.5)	470	(3.9)	577	(2.3)	616	(2.8)	638	(3.3)
香港	384	(6.5)	421	(5.0)	477	(3.4)	578	(2.0)	616	(2.5)	638	(2.8)
アイルランド	350	(6.3)	389	(4.3)	446	(3.0)	564	(2.8)	609	(2.8)	635	(4.2)
フランス	324	(7.8)	364	(6.2)	433	(5.4)	564	(3.6)	609	(4.3)	634	(4.3)
OECD平均(16か国)	344	(1.5)	381	(1.2)	441	(0.9)	562	(0.7)	608	(0.8)	633	(0.9)
ノルウェー	358	(4.7)	392	(3.6)	447	(3.5)	561	(3.0)	606	(3.3)	632	(3.7)
ハンガリー	316	(7.5)	353	(7.3)	420	(4.8)	548	(4.0)	598	(4.3)	623	(4.8)
デンマーク	352	(4.1)	385	(3.6)	440	(2.9)	549	(2.3)	590	(2.8)	614	(2.5)
ポーランド	332	(5.2)	367	(4.3)	424	(3.5)	545	(2.9)	590	(2.9)	613	(3.4)
スペイン	324	(5.3)	360	(5.2)	420	(3.9)	541	(3.3)	585	(3.4)	611	(3.7)
オーストリア	293	(7.4)	331	(5.6)	397	(4.8)	538	(2.9)	584	(3.5)	610	(3.6)
マカオ	375	(1.9)	402	(1.6)	445	(1.2)	535	(1.2)	574	(1.5)	597	(1.9)
チリ	304	(4.9)	333	(4.8)	386	(4.2)	500	(3.5)	548	(3.5)	575	(4.2)
コロンビア	260	(4.9)	287	(4.6)	334	(4.1)	445	(4.2)	495	(3.9)	524	(4.6)

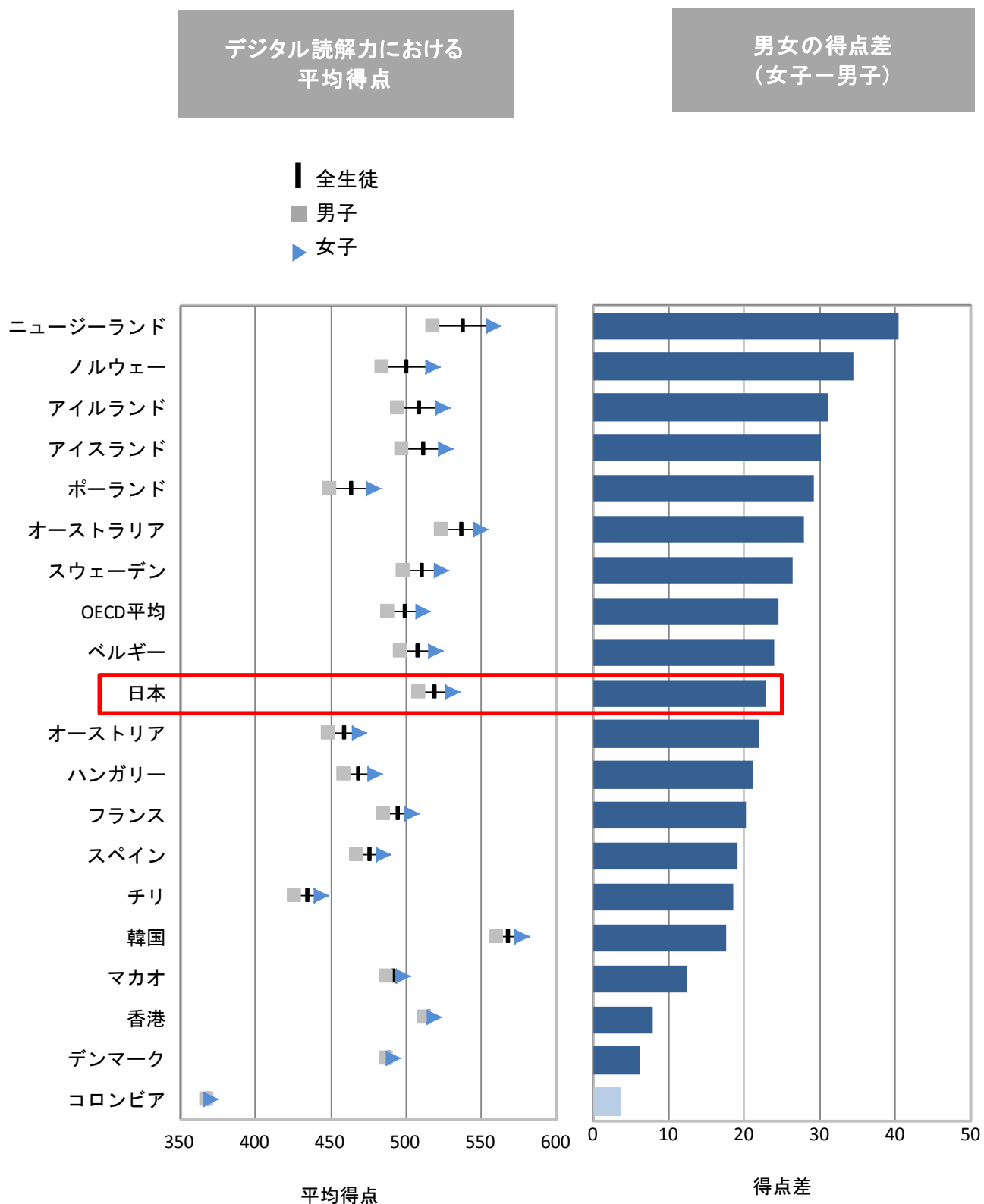
(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 国・地域は上位5%値の平均得点で降順。

表 12 デジタル読解力平均得点の男女差

国名	デジタル読解力の平均得点							
	全生徒		男子		女子		男女差 (男子-女子)	
	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	得点差	標準 誤差
ニュージーランド	537	(2.3)	518	(3.5)	558	(2.7)	<b>-40</b>	(4.1)
ノルウェー	500	(2.8)	483	(3.2)	518	(3.0)	<b>-35</b>	(2.6)
アイルランド	509	(2.8)	494	(3.7)	525	(2.9)	<b>-31</b>	(3.9)
アイスランド	512	(1.4)	497	(2.1)	527	(1.8)	<b>-30</b>	(2.6)
ポーランド	464	(3.1)	449	(3.4)	478	(3.3)	<b>-29</b>	(2.7)
オーストラリア	537	(2.8)	522	(3.6)	550	(2.9)	<b>-28</b>	(3.5)
スウェーデン	510	(3.3)	497	(3.5)	524	(3.5)	<b>-26</b>	(2.3)
OECD平均(16か国)	499	(0.8)	487	(1.0)	511	(0.9)	<b>-24</b>	(1.0)
ベルギー	507	(2.1)	496	(3.0)	520	(2.4)	<b>-24</b>	(3.7)
日本	519	(2.4)	508	(3.2)	531	(2.9)	<b>-23</b>	(4.0)
オーストリア	459	(3.9)	447	(4.6)	469	(5.1)	<b>-22</b>	(6.0)
ハンガリー	468	(4.2)	458	(5.0)	479	(4.8)	<b>-21</b>	(5.1)
フランス	494	(5.2)	484	(5.2)	504	(5.7)	<b>-20</b>	(3.3)
スペイン	475	(3.8)	466	(4.3)	485	(3.8)	<b>-19</b>	(3.1)
チリ	435	(3.6)	425	(4.3)	444	(3.8)	<b>-19</b>	(3.9)
韓国	568	(3.0)	559	(4.3)	577	(3.5)	<b>-18</b>	(5.2)
マカオ	492	(0.7)	486	(1.0)	498	(1.1)	<b>-12</b>	(1.6)
香港	515	(2.6)	511	(3.2)	519	(3.2)	<b>-8</b>	(3.9)
デンマーク	489	(2.6)	486	(3.1)	492	(2.9)	<b>-6</b>	(3.1)
コロンビア	368	(3.4)	367	(4.5)	370	(3.8)	<b>-3</b>	(4.8)

- (注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 太字は統計的に有意な差があることを示す。  
 3. 国・地域は男女の得点差(男子-女子)で降順。

図 6 デジタル読解力平均得点の男女差



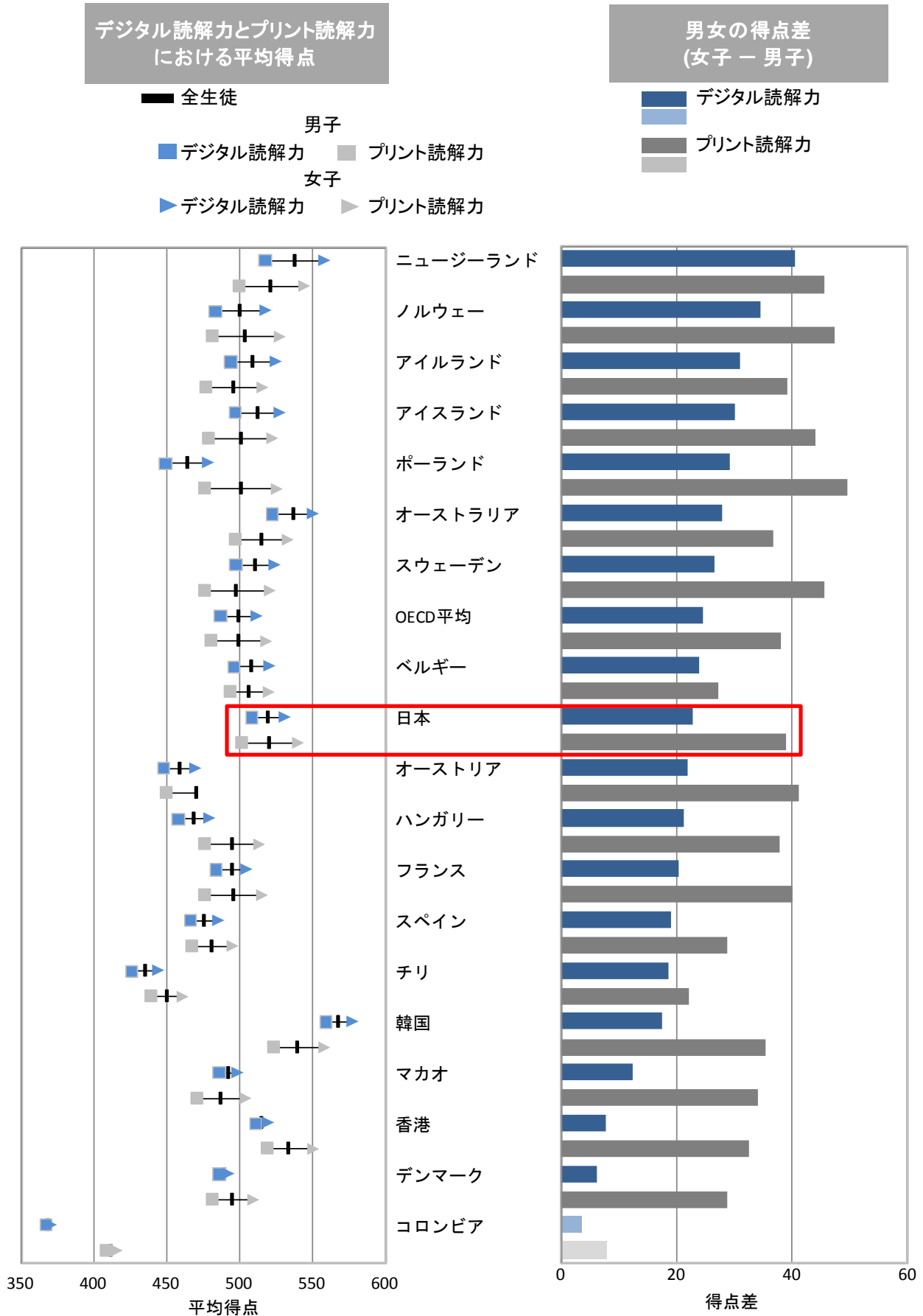
(注) 1. コロンビア以外は、男女差に統計的な有意差が見られる。  
 2. 男女差(女子-男子)の大きい順に上から並べている。

表 13 プリント読解力平均得点の男女差

国名	プリント読解力の平均得点							
	全生徒		男子		女子		男女差 (男子-女子)	
	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	得点差	標準 誤差
ポーランド	500	(2.6)	476	(2.8)	525	(2.9)	<b>-50</b>	(2.5)
ノルウェー	503	(2.6)	480	(3.0)	527	(2.9)	<b>-47</b>	(2.9)
ニュージーランド	521	(2.4)	499	(3.6)	544	(2.6)	<b>-46</b>	(4.3)
スウェーデン	497	(2.9)	475	(3.2)	521	(3.1)	<b>-46</b>	(2.7)
アイスランド	500	(1.4)	478	(2.1)	522	(1.9)	<b>-44</b>	(2.8)
オーストリア	470	(2.9)	449	(3.8)	490	(4.0)	<b>-41</b>	(5.5)
フランス	496	(3.4)	475	(4.3)	515	(3.4)	<b>-40</b>	(3.7)
アイルランド	496	(3.0)	476	(4.2)	515	(3.1)	<b>-39</b>	(4.7)
日本	520	(3.5)	501	(5.6)	540	(3.7)	<b>-39</b>	(6.8)
OECD平均(16か国)	499	(0.7)	480	(0.9)	518	(0.8)	<b>-38</b>	(1.0)
ハンガリー	494	(3.2)	475	(3.9)	513	(3.6)	<b>-38</b>	(4.0)
オーストラリア	515	(2.3)	496	(2.9)	533	(2.6)	<b>-37</b>	(3.1)
韓国	539	(3.5)	523	(4.9)	558	(3.8)	<b>-35</b>	(5.9)
マカオ	487	(0.9)	470	(1.3)	504	(1.2)	<b>-34</b>	(1.7)
香港	533	(2.1)	518	(3.3)	550	(2.8)	<b>-33</b>	(4.4)
デンマーク	495	(2.1)	480	(2.5)	509	(2.5)	<b>-29</b>	(2.9)
スペイン	480	(3.1)	466	(3.5)	495	(3.2)	<b>-29</b>	(3.0)
ベルギー	506	(2.3)	493	(3.4)	520	(2.9)	<b>-27</b>	(4.4)
チリ	449	(3.1)	439	(3.9)	461	(3.6)	<b>-22</b>	(4.1)
コロンビア	412	(3.6)	407	(4.2)	415	(4.2)	<b>-8</b>	(4.5)

- (注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 太字は統計的に有意な差があることを示す。  
 3. プリント読解力の平均得点については、PISA2009年調査国際結果報告書と異なる場合がある。  
 4. 国・地域は男女の得点差(男子-女子)で降順。

図 7 デジタル読解力、プリント読解力における男女差の比較



(注) 1. コロンビア以外は、男女差が統計的に有意である。  
2. デジタル読解力得点の男女差(女子-男子)が大きい順に上から並べている。

表 14 合成読解力平均得点の男女差

国名	合成読解力の平均得点							
	全生徒		男子		女子		男女差 (男子-女子)	
	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	得点差	標準 誤差
ニュージーランド	529	(2.2)	508	(3.3)	551	(2.5)	<b>-43</b>	(4.0)
ノルウェー	502	(2.5)	482	(2.9)	522	(2.8)	<b>-41</b>	(2.6)
ポーランド	482	(2.6)	462	(2.8)	502	(2.9)	<b>-39</b>	(2.4)
アイスランド	506	(1.3)	487	(2.0)	525	(1.7)	<b>-37</b>	(2.6)
スウェーデン	504	(2.9)	486	(3.2)	522	(3.1)	<b>-36</b>	(2.4)
アイルランド	502	(2.6)	485	(3.5)	520	(2.7)	<b>-35</b>	(3.9)
オーストラリア	526	(2.4)	509	(3.1)	542	(2.6)	<b>-32</b>	(3.2)
オーストリア	464	(3.1)	448	(3.9)	480	(4.2)	<b>-32</b>	(5.5)
OECD平均(16か国)	499	(0.7)	483	(0.9)	515	(0.8)	<b>-31</b>	(0.9)
日本	520	(2.6)	505	(4.2)	536	(2.9)	<b>-31</b>	(5.2)
フランス	495	(3.7)	479	(4.2)	510	(3.8)	<b>-30</b>	(3.3)
ハンガリー	481	(3.4)	467	(4.0)	496	(4.1)	<b>-30</b>	(4.1)
韓国	553	(3.1)	541	(4.4)	567	(3.5)	<b>-27</b>	(5.3)
ベルギー	507	(2.1)	494	(3.0)	520	(2.5)	<b>-26</b>	(3.9)
スペイン	478	(3.2)	466	(3.6)	490	(3.2)	<b>-24</b>	(2.9)
マカオ	489	(0.7)	478	(1.0)	501	(1.0)	<b>-23</b>	(1.4)
チリ	442	(3.1)	432	(3.9)	452	(3.4)	<b>-20</b>	(3.8)
香港	524	(2.0)	514	(3.0)	535	(2.8)	<b>-20</b>	(3.9)
デンマーク	492	(2.1)	483	(2.6)	501	(2.5)	<b>-18</b>	(2.9)
コロンビア	390	(3.2)	387	(4.1)	393	(3.7)	-6	(4.4)

- (注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 太字は統計的に有意な差があることを示す。  
 3. 国・地域は男女の得点差(男子-女子)で降順。

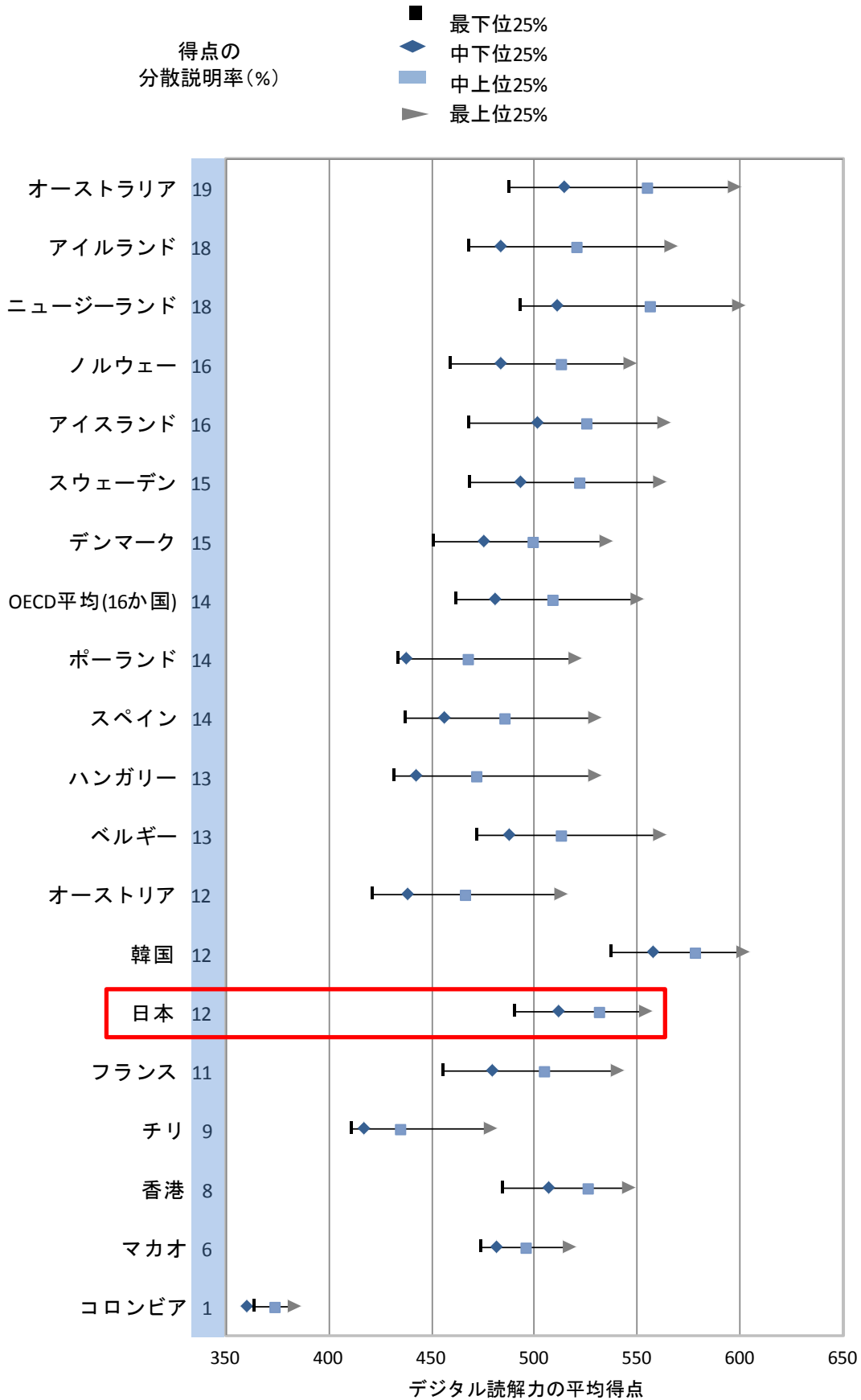
表 15 読書活動（「楽しみで本を読む」）とデジタル読解力の得点

国名	読書活動指標												指標によって国ごとに4分割した際の平均得点						指標1単位当たりの得点の変化		得点の分散説明率 (R <sup>2</sup> 値)	
	全生徒			最下位25%			中下位25%			中上位25%			最上位25%			平均得点	標準誤差	パーセント	標準誤差			
	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均得点	標準誤差								
															平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均得点	標準誤差
オーストラリア	0.00	(0.02)	-1.36	(0.01)	-0.37	(0.00)	0.31	(0.00)	1.42	(0.01)	488	(2.8)	514	(3.2)	555	(3.2)	597	(3.3)	37.0	1.0	18.7	0.0
オーストリア	-0.13	(0.03)	-1.52	(0.02)	-0.65	(0.01)	0.16	(0.01)	1.47	(0.02)	421	(4.1)	438	(4.5)	467	(5.8)	513	(5.0)	30.1	1.7	12.5	0.0
ベルギー	-0.20	(0.02)	-1.42	(0.01)	-0.57	(0.00)	0.11	(0.01)	1.11	(0.01)	472	(2.6)	487	(3.1)	514	(3.3)	561	(2.6)	33.3	1.1	13.0	0.0
チリ	-0.06	(0.01)	-1.01	(0.01)	-0.37	(0.00)	0.10	(0.00)	1.02	(0.02)	411	(4.2)	416	(4.7)	435	(4.4)	479	(3.9)	31.9	1.7	8.6	0.0
デンマーク	-0.09	(0.02)	-1.17	(0.01)	-0.40	(0.01)	0.15	(0.01)	1.07	(0.02)	450	(3.4)	475	(3.6)	500	(3.3)	535	(3.0)	36.1	1.4	14.9	0.0
フランス	0.01	(0.03)	-1.26	(0.01)	-0.33	(0.01)	0.34	(0.01)	1.30	(0.02)	455	(5.3)	479	(4.9)	505	(6.0)	540	(8.3)	36.4	1.6	10.7	0.0
ハンガリー	0.14	(0.02)	-0.94	(0.01)	-0.19	(0.01)	0.37	(0.01)	1.30	(0.02)	431	(5.5)	442	(4.7)	472	(6.1)	529	(4.9)	30.9	3.2	13.4	0.0
アイスランド	-0.06	(0.02)	-1.27	(0.02)	-0.42	(0.01)	0.18	(0.01)	1.27	(0.02)	467	(2.8)	501	(2.5)	526	(2.8)	563	(2.8)	36.8	1.7	16.0	0.0
アイルランド	-0.08	(0.02)	-1.30	(0.02)	-0.44	(0.01)	0.19	(0.01)	1.23	(0.02)	468	(3.9)	484	(4.3)	521	(4.3)	567	(3.8)	41.8	2.5	18.2	0.0
日本	0.20	(0.02)	-1.07	(0.01)	-0.18	(0.01)	0.48	(0.01)	1.58	(0.02)	490	(3.4)	511	(2.5)	532	(2.8)	554	(2.9)	34.7	1.4	11.8	0.0
韓国	0.13	(0.02)	-0.82	(0.01)	-0.14	(0.00)	0.31	(0.00)	1.17	(0.02)	537	(4.0)	557	(3.2)	579	(3.1)	601	(3.6)	22.7	1.3	12.4	0.0
ニュージーランド	0.13	(0.02)	-1.07	(0.02)	-0.20	(0.01)	0.40	(0.01)	1.41	(0.02)	493	(3.8)	510	(3.2)	557	(3.4)	599	(3.3)	32.9	1.4	17.8	0.0
ノルウェー	-0.19	(0.02)	-1.41	(0.01)	-0.56	(0.01)	0.09	(0.01)	1.12	(0.02)	458	(4.0)	483	(3.5)	514	(3.4)	547	(3.3)	29.1	2.0	16.4	0.0
ポーランド	0.02	(0.02)	-1.21	(0.01)	-0.43	(0.01)	0.21	(0.01)	1.49	(0.02)	433	(4.0)	437	(4.0)	468	(4.2)	520	(3.1)	40.7	1.8	13.9	0.0
スペイン	-0.03	(0.02)	-1.17	(0.02)	-0.37	(0.00)	0.21	(0.01)	1.19	(0.02)	437	(4.9)	456	(3.9)	486	(4.5)	529	(4.1)	31.0	1.5	13.6	0.0
スウェーデン	-0.11	(0.02)	-1.29	(0.02)	-0.45	(0.01)	0.18	(0.01)	1.14	(0.02)	468	(3.6)	493	(4.2)	523	(4.2)	561	(3.8)	35.5	1.6	15.2	0.0
OECD平均(16か国)	-0.02	(0.00)	-1.21	(0.00)	-0.38	(0.00)	0.24	(0.00)	1.27	(0.00)	461	(1.0)	480	(0.9)	510	(1.0)	550	(1.0)	33.8	0.4	14.2	0.0
コロンビア	0.13	(0.02)	-0.69	(0.02)	-0.13	(0.00)	0.31	(0.01)	1.04	(0.01)	363	(4.2)	360	(3.8)	374	(4.6)	383	(4.9)	12.0	2.3	1.1	0.0
香港	0.32	(0.01)	-0.54	(0.01)	0.08	(0.00)	0.49	(0.00)	1.27	(0.01)	484	(3.8)	507	(3.5)	526	(3.1)	546	(2.8)	30.4	1.9	7.8	0.0
マカオ	0.08	(0.01)	-0.76	(0.01)	-0.16	(0.00)	0.25	(0.00)	0.97	(0.01)	474	(1.5)	481	(1.7)	496	(1.7)	517	(1.4)	22.4	1.1	5.7	0.0

(注) 太字は統計的に有意な差があることを示す。



図 8 読書活動（「楽しみで本を読む」）とデジタル読解力との関係



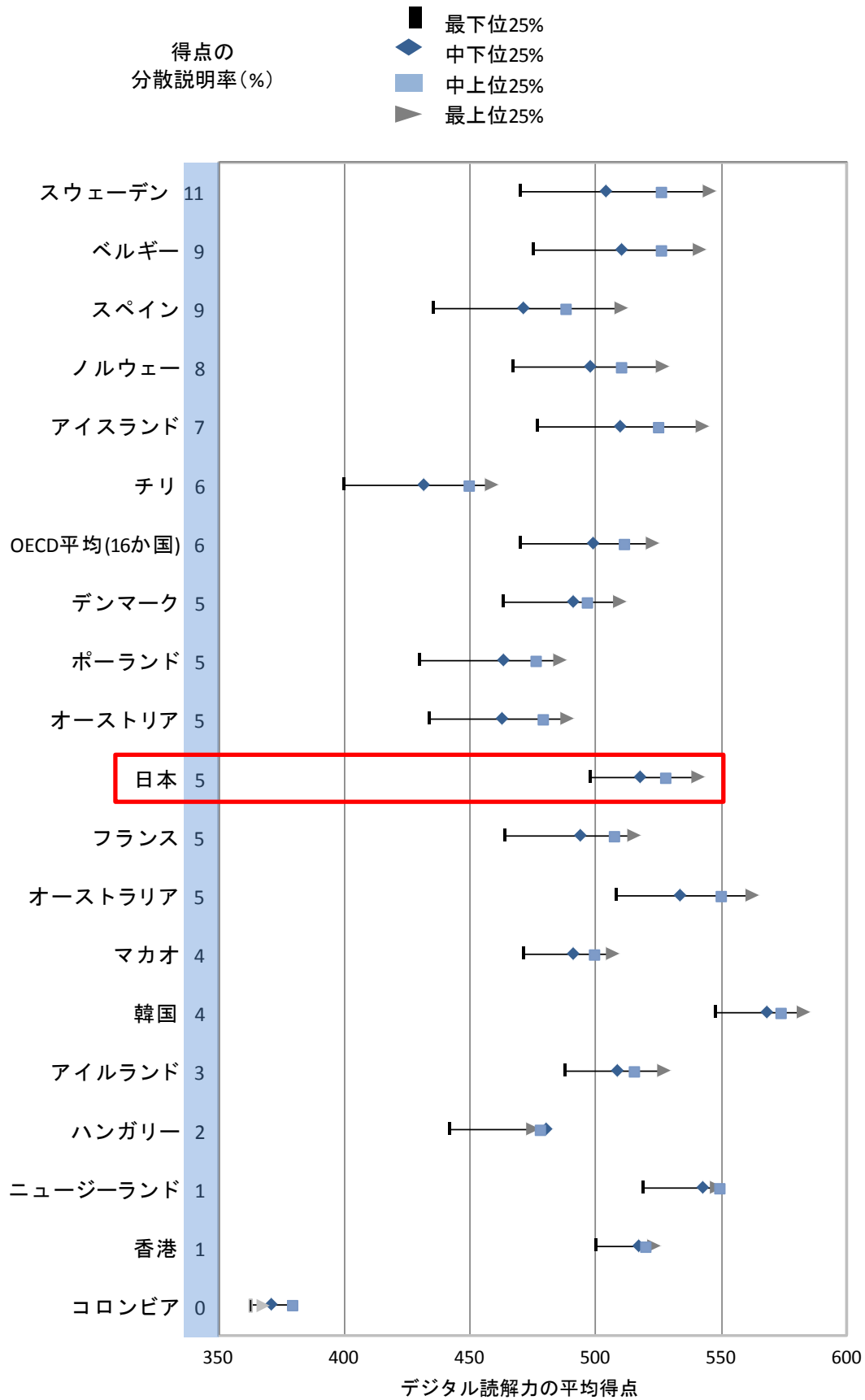
(注) 1. 読書活動（「楽しみで本を読む」）による得点の分散説明率が大きい順に上から並べている。  
 2. 最上位と最下位の差はすべて統計的に有意である。

表 16 読む本の種類・頻度とデジタル読解力の得点

国名	読む本の種類・頻度指標												指標によって国ごとに4分割した際の平均得点						指標1単位当たりの得点の変化		得点の分散説明率 (R <sup>2</sup> 値)							
	全生徒			最下位25%			中下位25%			中上位25%			最下位25%			中下位25%			中上位25%			最上位25%			得点	標準誤差	パーセント	標準誤差
	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差				
オーストラリア	-0.12	(0.01)	-1.25	(0.01)	-0.34	(0.00)	0.15	(0.00)	0.95	(0.01)	508	(2.9)	533	(3.1)	550	(3.6)	562	(3.8)	22.1	(1.4)	4.6	(0.5)						
オーストリア	0.01	(0.02)	-1.08	(0.03)	-0.19	(0.00)	0.29	(0.00)	1.03	(0.02)	433	(4.1)	462	(4.3)	479	(4.7)	489	(4.4)	23.3	(2.4)	5.0	(1.2)						
ベルギー	-0.08	(0.02)	-1.34	(0.03)	-0.30	(0.00)	0.23	(0.00)	1.08	(0.01)	475	(2.9)	510	(2.9)	527	(3.1)	541	(3.1)	26.4	(1.4)	8.7	(0.9)						
チリ	-0.02	(0.02)	-1.31	(0.03)	-0.24	(0.00)	0.33	(0.00)	1.15	(0.02)	400	(4.4)	431	(4.2)	450	(4.3)	458	(3.7)	20.6	(1.4)	5.6	(0.7)						
デンマーク	0.07	(0.02)	-1.20	(0.03)	-0.13	(0.01)	0.41	(0.00)	1.21	(0.02)	463	(3.7)	491	(3.5)	497	(3.1)	509	(3.2)	18.8	(1.2)	5.4	(0.7)						
フランス	-0.07	(0.02)	-1.28	(0.02)	-0.28	(0.00)	0.23	(0.01)	1.05	(0.02)	463	(4.5)	494	(5.9)	508	(6.1)	515	(6.9)	28.1	(1.9)	4.7	(1.6)						
ハンガリー	0.28	(0.02)	-1.12	(0.04)	0.07	(0.01)	0.63	(0.01)	1.53	(0.02)	441	(5.9)	480	(5.4)	478	(5.0)	475	(5.2)	21.2	(2.5)	1.9	(0.5)						
アイスランド	0.19	(0.02)	-1.06	(0.03)	-0.03	(0.01)	0.48	(0.00)	1.38	(0.03)	476	(3.0)	509	(3.0)	525	(3.0)	542	(2.9)	16.6	(2.0)	7.4	(0.9)						
アイルランド	-0.13	(0.02)	-1.18	(0.02)	-0.33	(0.00)	0.12	(0.00)	0.88	(0.02)	487	(3.7)	508	(3.7)	516	(4.4)	527	(4.3)	12.4	(1.6)	2.8	(0.7)						
日本	0.38	(0.02)	-0.77	(0.02)	0.12	(0.00)	0.63	(0.00)	1.56	(0.02)	497	(3.2)	517	(3.1)	528	(2.7)	540	(2.5)	23.0	(1.5)	4.7	(0.7)						
韓国	0.01	(0.02)	-1.26	(0.02)	-0.25	(0.01)	0.32	(0.00)	1.23	(0.02)	548	(4.1)	568	(3.9)	574	(3.2)	582	(3.4)	15.6	(1.3)	3.8	(0.9)						
ニュージーランド	0.05	(0.01)	-1.06	(0.02)	-0.19	(0.00)	0.32	(0.00)	1.11	(0.02)	519	(3.7)	542	(3.5)	550	(3.7)	548	(3.3)	22.5	(1.8)	1.3	(0.4)						
ノルウェー	0.32	(0.02)	-0.90	(0.03)	0.10	(0.01)	0.62	(0.00)	1.47	(0.03)	467	(3.8)	497	(3.4)	511	(3.0)	527	(4.1)	12.8	(1.7)	7.7	(1.1)						
ポーランド	0.00	(0.02)	-1.12	(0.02)	-0.20	(0.00)	0.29	(0.00)	1.02	(0.02)	430	(3.7)	463	(4.1)	477	(4.0)	486	(4.0)	12.2	(1.7)	5.4	(0.9)						
スペイン	-0.30	(0.02)	-1.50	(0.03)	-0.50	(0.01)	0.01	(0.01)	0.80	(0.02)	435	(5.5)	471	(4.6)	488	(4.1)	510	(4.3)	22.9	(1.8)	8.5	(1.0)						
スウェーデン	-0.01	(0.02)	-1.33	(0.03)	-0.20	(0.01)	0.34	(0.00)	1.14	(0.02)	470	(4.1)	504	(3.8)	526	(3.7)	545	(4.3)	27.9	(1.4)	11.3	(1.1)						
OECD平均(16か国)	0.04	(0.00)	-1.17	(0.01)	-0.18	(0.00)	0.34	(0.00)	1.16	(0.00)	469	(1.0)	499	(1.0)	511	(1.0)	522	(1.0)	20.4	(0.4)	5.6	(0.2)						
コロンビア	0.31	(0.03)	-1.05	(0.02)	-0.01	(0.01)	0.63	(0.01)	1.67	(0.02)	362	(4.7)	371	(4.1)	380	(4.7)	368	(4.6)	2.3	(2.0)	0.1	(0.2)						
香港	0.46	(0.02)	-0.69	(0.02)	0.23	(0.01)	0.73	(0.00)	1.58	(0.02)	500	(3.6)	517	(3.1)	520	(3.3)	523	(3.7)	9.5	(1.6)	1.3	(0.5)						
マカオ	0.17	(0.01)	-1.01	(0.02)	-0.05	(0.00)	0.47	(0.00)	1.29	(0.02)	471	(1.7)	491	(1.7)	500	(2.2)	507	(1.7)	14.1	(1.0)	4.3	(0.6)						

(注) 太字は統計的に有意な差があることを示す。

図 9 読む本の種類・頻度とデジタル読解力との関係



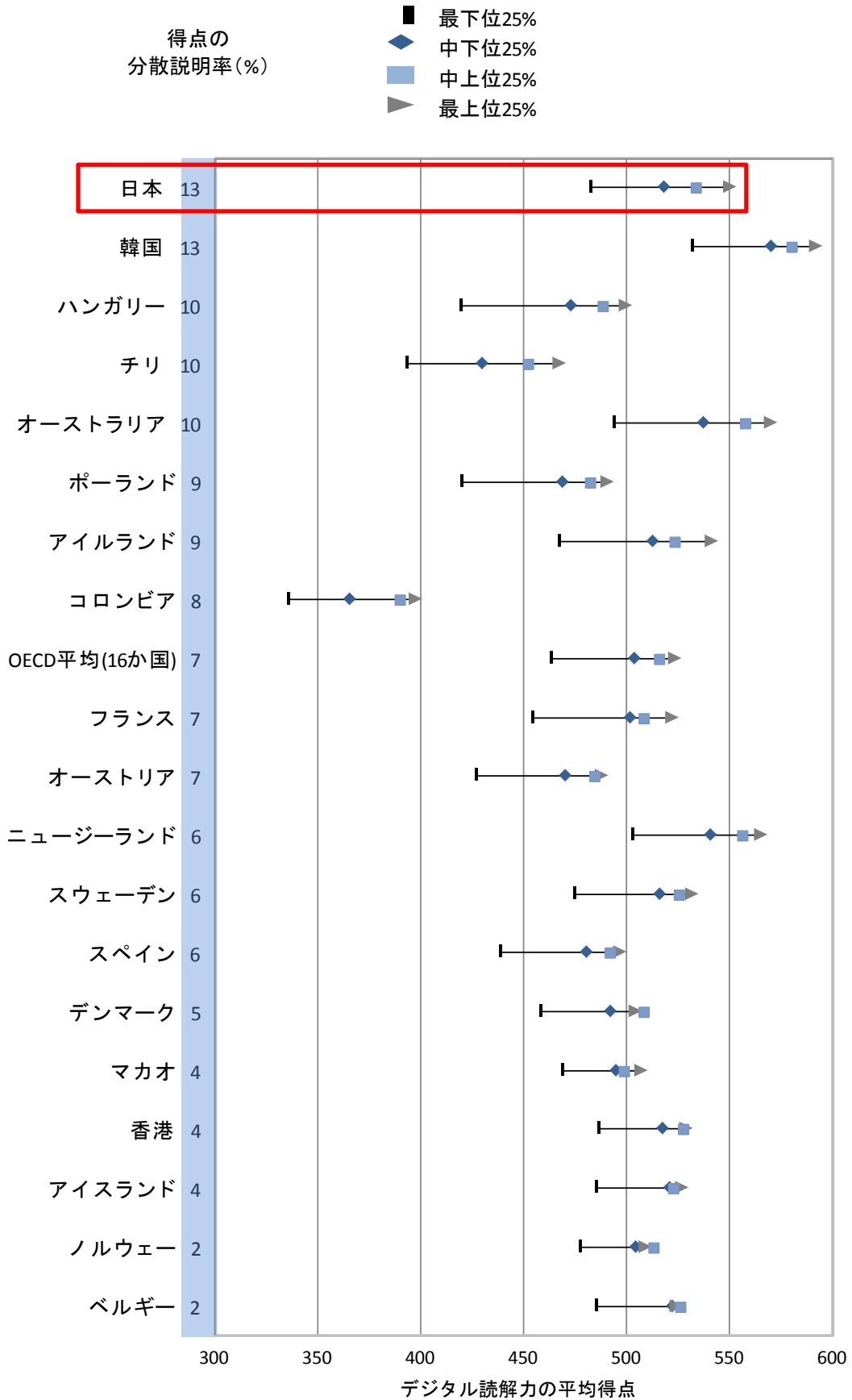
(注) 読む本の種類・頻度による得点の分散説明率が大きい順に上から並べている。

表 17 ネット検索（情報活動）とデジタル読解力の得点

国名	ネット検索(情報活動)指標												指標によって国ごとに4分割した際の平均得点						指標1単位当たりの得点の変化		得点の分散説明率 (R <sup>2</sup> 値)	
	全生徒		最下位25%		中下位25%		中上位25%		最上位25%		最下位25%		中下位25%		中上位25%		最上位25%		得点	標準誤差	パーセント	標準誤差
	平均	標準誤差	平均	標準誤差	平均	標準誤差	平均	標準誤差	平均	標準誤差	平均	標準誤差	平均	標準誤差	平均	標準誤差						
オーストラリア	-0.08	(0.02)	-1.27	(0.01)	-0.42	(0.00)	0.22	(0.00)	1.16	(0.01)	493	(3.1)	537	(2.8)	558	(3.3)	569	(3.7)	30.9	(1.5)	9.8	(0.8)
オーストリア	0.07	(0.02)	-1.12	(0.02)	-0.26	(0.01)	0.36	(0.01)	1.29	(0.02)	426	(4.7)	470	(4.0)	485	(4.3)	487	(5.4)	25.8	(2.2)	6.7	(1.3)
ベルギー	-0.42	(0.01)	-1.53	(0.01)	-0.75	(0.00)	-0.21	(0.00)	0.81	(0.02)	485	(2.6)	522	(3.1)	527	(3.0)	524	(3.3)	14.9	(1.7)	2.3	(0.5)
チリ	0.02	(0.02)	-1.21	(0.01)	-0.42	(0.01)	0.31	(0.01)	1.39	(0.01)	393	(4.3)	430	(4.1)	452	(3.5)	467	(4.7)	28.2	(1.8)	10.2	(1.2)
デンマーク	0.08	(0.02)	-1.03	(0.01)	-0.23	(0.01)	0.39	(0.01)	1.21	(0.01)	458	(3.3)	492	(3.1)	509	(3.5)	504	(3.3)	20.4	(1.4)	4.7	(0.6)
フランス	-0.12	(0.02)	-1.29	(0.02)	-0.44	(0.01)	0.15	(0.01)	1.11	(0.02)	454	(4.9)	501	(6.2)	509	(6.0)	522	(5.9)	23.0	(1.9)	7.1	(1.5)
ハンガリー	0.20	(0.02)	-1.07	(0.02)	-0.14	(0.01)	0.56	(0.01)	1.44	(0.01)	419	(5.9)	472	(4.8)	489	(4.8)	500	(4.7)	26.7	(2.0)	10.2	(1.3)
アイスランド	-0.01	(0.01)	-1.27	(0.02)	-0.36	(0.01)	0.32	(0.01)	1.27	(0.02)	485	(3.2)	521	(2.9)	523	(2.8)	527	(2.8)	26.9	(1.7)	3.6	(0.6)
アイルランド	-0.44	(0.02)	-1.56	(0.02)	-0.81	(0.01)	-0.23	(0.01)	0.85	(0.02)	467	(3.5)	512	(3.2)	524	(4.2)	541	(3.7)	32.8	(2.4)	8.9	(1.0)
日本	-0.23	(0.02)	-1.64	(0.02)	-0.66	(0.01)	0.10	(0.01)	1.30	(0.01)	482	(3.0)	518	(2.7)	534	(2.5)	550	(2.9)	16.9	(1.5)	13.3	(1.1)
韓国	0.35	(0.02)	-1.00	(0.02)	0.06	(0.01)	0.73	(0.01)	1.62	(0.01)	531	(4.5)	570	(3.0)	581	(3.1)	591	(3.3)	22.5	(1.1)	13.2	(1.3)
ニュージーランド	-0.13	(0.02)	-1.28	(0.01)	-0.47	(0.00)	0.15	(0.01)	1.07	(0.01)	503	(3.5)	540	(3.2)	557	(3.3)	565	(3.7)	14.5	(1.7)	6.2	(0.9)
ノルウェー	0.11	(0.02)	-1.01	(0.01)	-0.19	(0.01)	0.40	(0.00)	1.25	(0.01)	478	(3.5)	504	(3.4)	514	(3.7)	509	(4.0)	23.8	(1.4)	2.5	(0.6)
ポーランド	0.60	(0.02)	-0.62	(0.01)	0.34	(0.01)	0.94	(0.01)	1.74	(0.01)	419	(3.9)	468	(3.4)	483	(3.9)	490	(3.9)	25.4	(1.8)	9.5	(1.1)
スペイン	-0.03	(0.02)	-1.26	(0.02)	-0.40	(0.01)	0.28	(0.01)	1.26	(0.02)	438	(5.3)	480	(4.1)	492	(4.5)	496	(4.3)	30.1	(1.8)	5.8	(0.9)
スウェーデン	-0.01	(0.02)	-1.14	(0.01)	-0.35	(0.00)	0.28	(0.01)	1.19	(0.01)	475	(3.8)	516	(4.0)	526	(4.1)	532	(4.3)	23.1	(1.5)	5.9	(0.8)
OECD平均(16か国)	0.00	(0.00)	-1.21	(0.00)	-0.34	(0.00)	0.30	(0.00)	1.25	(0.00)	463	(1.0)	503	(0.9)	516	(1.0)	523	(1.0)	24.1	(0.4)	7.5	(0.3)
コロンビア	-0.07	(0.03)	-1.43	(0.02)	-0.42	(0.01)	0.30	(0.01)	1.28	(0.02)	336	(3.5)	365	(4.2)	390	(4.3)	397	(4.7)	22.1	(1.6)	8.3	(1.0)
香港	0.22	(0.02)	-0.87	(0.02)	-0.09	(0.00)	0.49	(0.01)	1.35	(0.01)	486	(3.3)	517	(3.1)	528	(3.3)	529	(3.5)	18.1	(1.5)	3.9	(0.7)
マカオ	-0.20	(0.01)	-1.35	(0.01)	-0.52	(0.00)	0.04	(0.00)	1.01	(0.02)	468	(1.7)	495	(1.6)	499	(1.6)	507	(1.6)	15.1	(1.1)	4.4	(0.6)

(注) 太字は統計的に有意な差があることを示す。

図 10 ネット検索（情報活動）とデジタル読解力との関係



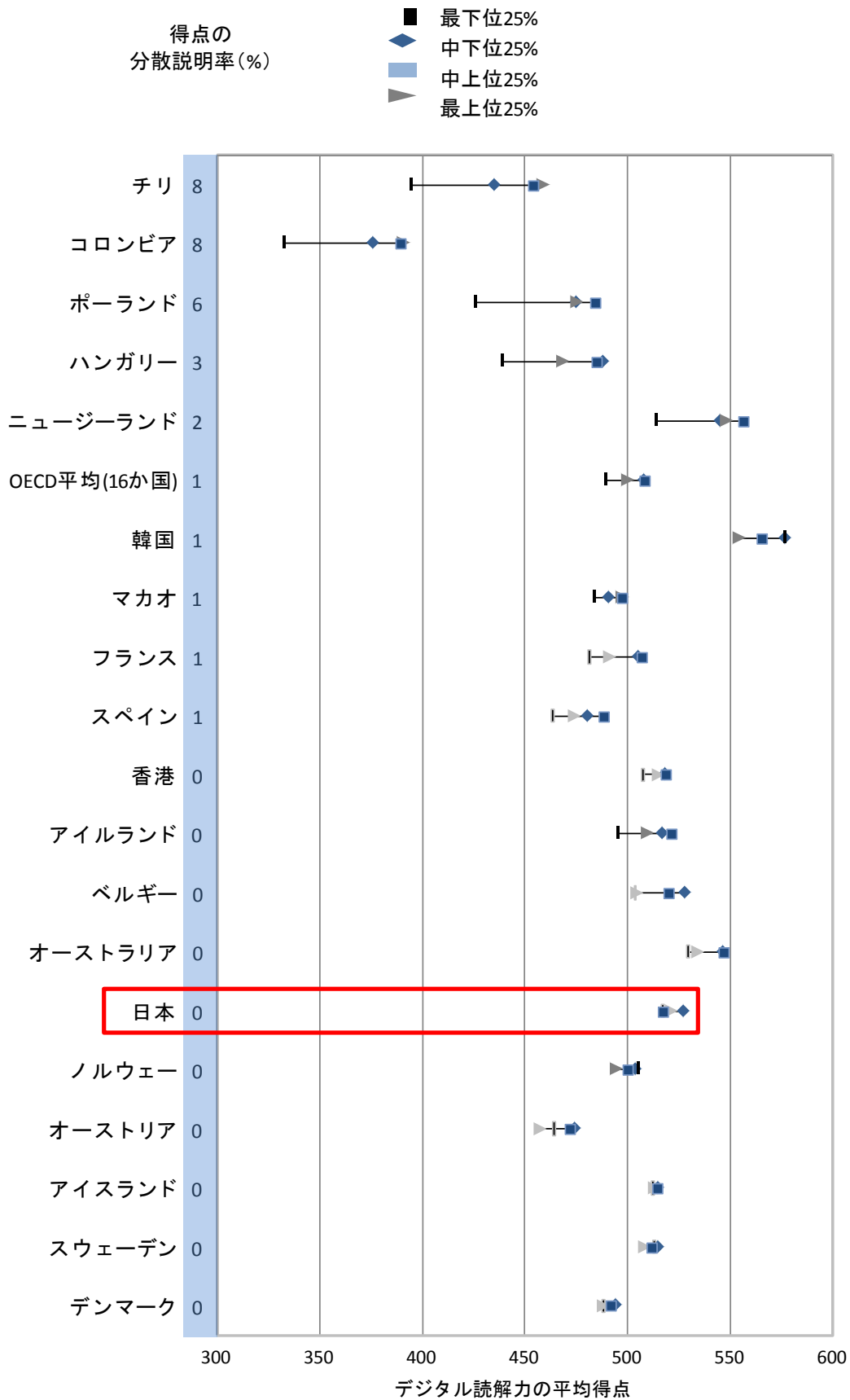
(注) 1. ネット検索とは、「ネット上でニュースを読む」「ネット上で辞書または辞典を使用する」「ある特定のテーマを調べるためにネットで検索をする」「生活情報をネットで検索する」こと。  
 2. ネット検索による得点の分散説明率が大きい順に上から並べている。  
 3. 最上位と最下位の差はすべて統計的に有意である。

表 18 ネット上での社会活動とデジタル読解力の得点

国名	ネット検索(情報活動)指標												指標によって国ごとに4分割した際の平均得点						指標1単位当たりの得点の変化		得点の分散説明率(R <sup>2</sup> 値)	
	全生徒			最下位25%			中下位25%			中上位25%			最上位25%			平均得点	標準誤差	得点	標準誤差	パーセント	標準誤差	
	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差	平均	標準誤差	標準誤差							
オーストラリア	0.03	(0.01)	-1.32	(0.01)	-0.16	(0.00)	0.45	(0.00)	0.14	(0.01)	530	(3.09)	547	(2.98)	547	(3.01)	534	(4.47)	3.6	(1.4)	0.1	(0.11)
オーストリア	0.19	(0.02)	-1.24	(0.02)	-0.01	(0.01)	0.66	(0.01)	1.37	(0.01)	465	(4.50)	474	(5.06)	473	(4.22)	458	(3.97)	-1.7	(1.6)	0.0	(0.07)
ベルギー	0.27	(0.01)	-1.01	(0.02)	0.12	(0.00)	0.66	(0.00)	1.32	(0.01)	504	(3.46)	527	(2.66)	521	(2.67)	505	(3.49)	3.9	(1.8)	0.2	(0.15)
チリ	-0.34	(0.03)	-1.86	(0.01)	-0.67	(0.01)	0.18	(0.01)	0.99	(0.01)	394	(4.14)	435	(4.00)	454	(4.03)	459	(4.06)	23.3	(1.5)	8.2	(1.01)
デンマーク	0.32	(0.02)	-0.83	(0.02)	0.18	(0.00)	0.69	(0.00)	1.24	(0.01)	489	(3.47)	494	(3.48)	492	(3.37)	488	(3.42)	0.8	(1.7)	0.0	(0.04)
フランス	0.11	(0.02)	-1.36	(0.02)	-0.08	(0.01)	0.58	(0.01)	1.28	(0.01)	482	(5.73)	505	(6.74)	508	(5.66)	491	(4.68)	6.9	(1.8)	0.7	(0.33)
ハンガリー	0.33	(0.02)	-0.99	(0.02)	0.23	(0.01)	0.80	(0.00)	1.28	(0.01)	439	(6.32)	487	(5.51)	486	(4.54)	468	(4.55)	7.7	(1.7)	2.6	(0.74)
アイスランド	0.34	(0.01)	-0.78	(0.02)	0.21	(0.00)	0.70	(0.00)	1.23	(0.01)	513	(3.12)	514	(3.54)	515	(3.35)	513	(3.09)	4.9	(1.6)	0.0	(0.06)
アイルランド	-0.36	(0.03)	-1.81	(0.01)	-0.73	(0.01)	0.11	(0.01)	0.97	(0.01)	496	(4.11)	517	(3.71)	522	(3.89)	509	(3.92)	18.0	(2.6)	0.4	(0.24)
日本	-0.31	(0.01)	-1.41	(0.02)	-0.45	(0.00)	-0.11	(0.00)	0.74	(0.01)	517	(2.48)	527	(3.12)	518	(2.85)	522	(3.10)	1.4	(2.1)	0.1	(0.12)
韓国	-0.66	(0.02)	-1.93	(0.01)	-1.01	(0.01)	-0.30	(0.01)	0.61	(0.01)	576	(3.65)	576	(3.60)	566	(2.92)	555	(4.13)	2.8	(1.3)	1.4	(0.51)
ニュージーランド	-0.30	(0.02)	-1.71	(0.01)	-0.63	(0.01)	0.15	(0.01)	1.00	(0.01)	514	(3.48)	545	(3.46)	557	(3.39)	548	(3.59)	-2.8	(2.0)	2.1	(0.50)
ノルウェー	0.24	(0.02)	-0.91	(0.02)	0.10	(0.00)	0.61	(0.00)	1.18	(0.01)	505	(3.68)	504	(3.24)	501	(3.69)	495	(3.93)	-8.0	(1.5)	0.1	(0.12)
ポーランド	0.06	(0.02)	-1.37	(0.02)	-0.03	(0.01)	0.56	(0.00)	1.11	(0.01)	426	(4.50)	475	(3.28)	485	(3.61)	475	(3.91)	13.2	(1.6)	6.2	(0.81)
スペイン	-0.01	(0.02)	-1.35	(0.02)	-0.26	(0.01)	0.42	(0.01)	1.15	(0.01)	463	(4.40)	480	(4.71)	489	(4.42)	474	(4.79)	22.7	(1.5)	0.5	(0.28)
スウェーデン	0.10	(0.01)	-1.04	(0.02)	-0.06	(0.00)	0.45	(0.00)	1.04	(0.01)	513	(4.16)	515	(4.37)	512	(4.29)	508	(3.90)	-0.9	(1.8)	0.0	(0.04)
OECD平均(16か国)	0.00	(0.00)	-1.31	(0.00)	-0.20	(0.00)	0.41	(0.00)	1.10	(0.00)	489	(1.03)	508	(1.02)	509	(0.95)	500	(0.99)	6.0	(0.4)	1.4	(0.11)
ロシア	-0.43	(0.04)	-2.09	(0.02)	-0.75	(0.01)	0.14	(0.01)	0.98	(0.01)	332	(4.37)	376	(4.41)	390	(3.77)	391	(4.85)	19.2	(1.9)	8.0	(1.42)
香港	0.18	(0.01)	-0.99	(0.02)	-0.02	(0.01)	0.53	(0.00)	1.18	(0.01)	508	(3.50)	518	(3.22)	519	(3.27)	515	(3.76)	6.1	(1.8)	0.4	(0.25)
マカオ	0.11	(0.01)	-1.04	(0.01)	-0.10	(0.00)	0.44	(0.00)	1.13	(0.01)	484	(1.78)	491	(1.69)	498	(1.60)	497	(1.86)	7.3	(1.2)	0.89	(0.29)

(注) 太字は統計的に有意な差があることを示す。

図 11 ネット上での社会活動とデジタル読解力との関係



(注) 1. ネット上での社会活動とは、「Eメールを読む」「ネット上でチャットをする」こと。  
 2. ネット上での社会活動による得点の分散説明率が大きい順に上から並べている。

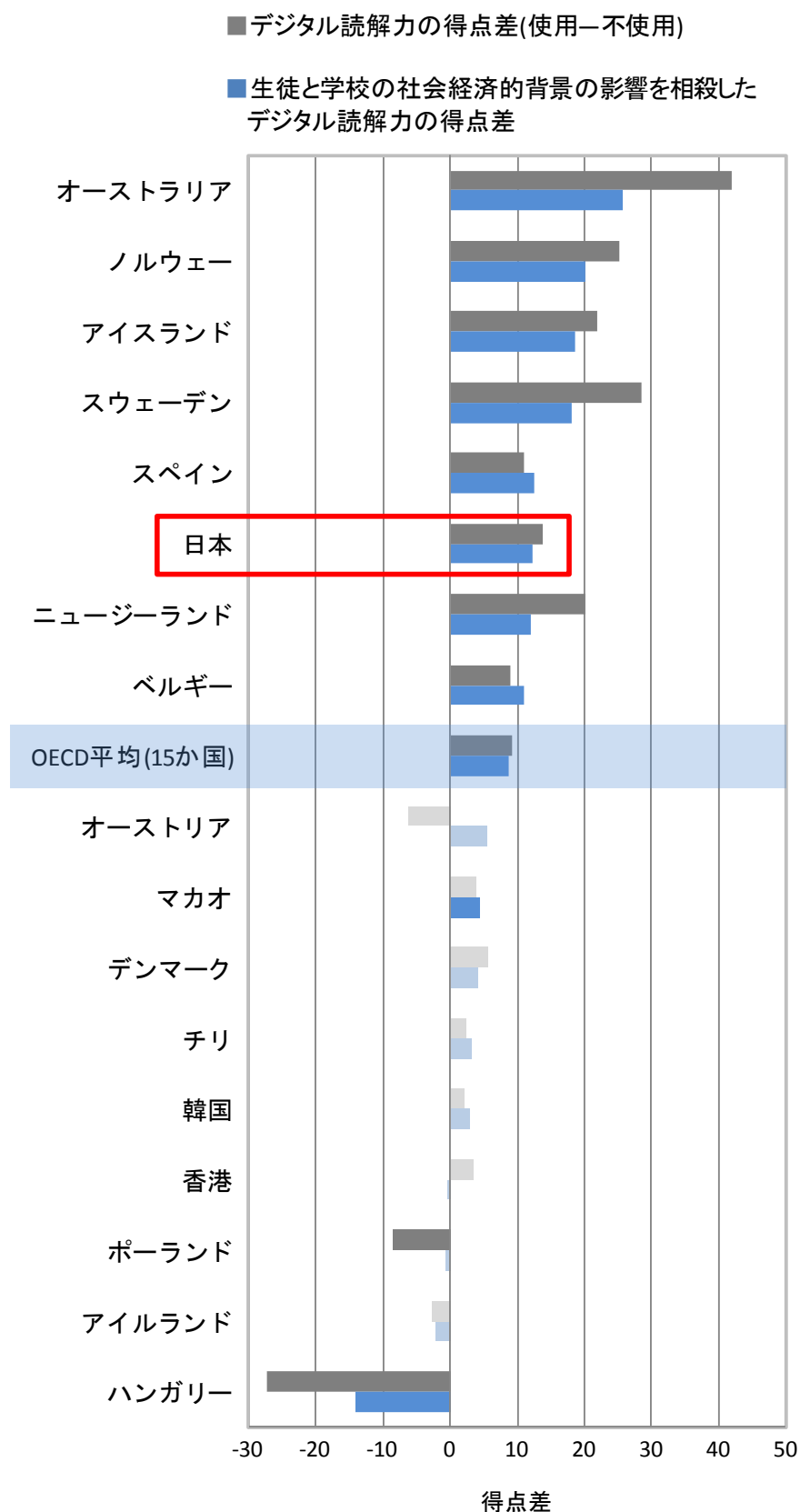


表 19 学校でのコンピュータ利用から見たデジタル読解力

国名	デジタル読解力												学校ごとの「生徒の社会経済文化的背景」指標(ESCS)の平均値									
	学校でコンピュータを利用していない生徒				学校でコンピュータを利用している生徒				得点差 (使用 - 不使用)				生徒の社会経済的背景の影響を相殺した後の得点差 (使用 - 不使用)		生徒と学校の社会経済的背景の影響を相殺した後の得点差 (使用 - 不使用)		学校でコンピュータを利用していない生徒のいる学校		学校でコンピュータを利用している生徒のいる学校		学校ごとのESCSの平均値の差 (不使用 - 使用)	
	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	差	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	差	標準 誤差	差	標準 誤差	平均	標準 誤差	平均	標準 誤差	差	標準 誤差	平均	標準 誤差	差	標準 誤差
オーストラリア	502	(4.7)	544	(2.8)	42	(4.4)	31	(4.0)	26	(3.9)	0.20	(0.03)	0.36	(0.01)	0.20	(0.03)	-0.15	(0.02)	0.36	(0.01)	-0.15	(0.02)
オーストリア	471	(5.1)	465	(3.9)	-6	(5.4)	-4	(4.5)	5	(4.4)	0.18	(0.04)	0.08	(0.02)	0.18	(0.04)	0.10	(0.04)	0.08	(0.02)	0.10	(0.04)
ベルギー	509	(3.4)	518	(2.2)	9	(3.8)	9	(2.9)	11	(3.0)	0.24	(0.03)	0.21	(0.02)	0.24	(0.03)	0.03	(0.04)	0.21	(0.02)	0.03	(0.04)
チリ	435	(4.6)	437	(3.6)	2	(4.0)	2	(3.2)	3	(3.1)	-0.55	(0.05)	-0.57	(0.04)	-0.55	(0.05)	0.02	(0.05)	-0.57	(0.04)	0.02	(0.05)
デンマーク	485	(6.2)	491	(2.6)	6	(6.0)	3	(5.8)	4	(5.4)	0.31	(0.04)	0.30	(0.02)	0.31	(0.04)	0.01	(0.03)	0.30	(0.02)	0.01	(0.03)
ハンガリー	488	(5.8)	461	(4.1)	-27	(4.8)	-22	(3.3)	-14	(2.8)	-0.11	(0.04)	-0.23	(0.03)	-0.11	(0.04)	0.13	(0.04)	-0.23	(0.03)	0.13	(0.04)
アイスランド	497	(3.9)	519	(1.6)	22	(4.4)	19	(4.3)	19	(4.3)	0.70	(0.01)	0.72	(0.00)	0.70	(0.01)	-0.02	(0.01)	0.72	(0.00)	-0.02	(0.01)
アイルランド	514	(3.1)	511	(3.3)	-3	(3.2)	-3	(2.8)	-2	(3.0)	0.07	(0.03)	0.04	(0.03)	0.07	(0.03)	0.03	(0.03)	0.04	(0.03)	0.03	(0.03)
日本	513	(2.9)	527	(2.8)	14	(3.6)	13	(3.1)	12	(2.8)	-0.02	(0.03)	0.00	(0.02)	-0.02	(0.03)	-0.02	(0.03)	0.00	(0.02)	-0.02	(0.03)
韓国	567	(2.9)	569	(3.8)	2	(3.7)	1	(3.2)	3	(2.7)	-0.14	(0.03)	-0.16	(0.04)	-0.14	(0.03)	0.02	(0.03)	-0.16	(0.04)	0.02	(0.03)
ニュージーランド	525	(4.1)	545	(2.6)	20	(4.9)	12	(4.3)	12	(4.1)	0.05	(0.02)	0.09	(0.02)	0.05	(0.02)	-0.04	(0.02)	0.09	(0.02)	-0.04	(0.02)
ノルウェー	478	(6.3)	503	(2.9)	25	(6.0)	20	(5.7)	20	(5.6)	0.45	(0.03)	0.47	(0.02)	0.45	(0.03)	-0.02	(0.02)	0.47	(0.02)	-0.02	(0.02)
ポーランド	469	(3.9)	461	(3.2)	-8	(3.5)	-3	(3.0)	-1	(2.9)	-0.21	(0.03)	-0.32	(0.02)	-0.21	(0.03)	0.11	(0.02)	-0.32	(0.02)	0.11	(0.02)
スペイン	470	(5.1)	481	(3.9)	11	(4.7)	11	(4.1)	13	(4.1)	-0.26	(0.03)	-0.34	(0.03)	-0.26	(0.03)	0.08	(0.03)	-0.34	(0.03)	0.08	(0.03)
スウェーデン	487	(6.7)	516	(3.3)	28	(6.6)	20	(5.9)	18	(5.7)	0.26	(0.04)	0.34	(0.02)	0.26	(0.04)	-0.08	(0.03)	0.34	(0.02)	-0.08	(0.03)
OECD平均(15か国)	494	(1.2)	503	(0.8)	9	(1.2)	7	(1.1)	9	(1.0)	0.08	(0.01)	0.07	(0.01)	0.08	(0.01)	0.01	(0.01)	0.07	(0.01)	0.01	(0.01)
香港	513	(4.5)	516	(2.6)	3	(4.3)	3	(4.1)	0	(4.0)	-0.86	(0.04)	-0.78	(0.04)	-0.86	(0.04)	-0.08	(0.04)	-0.78	(0.04)	-0.08	(0.04)
マカオ	489	(2.0)	493	(0.8)	4	(2.2)	4	(2.2)	4	(2.2)	-0.69	(0.01)	-0.71	(0.00)	-0.69	(0.01)	0.02	(0.01)	-0.71	(0.00)	0.02	(0.01)

(注) 太字は統計的に有意な差があることを示す。

図 12 学校でコンピュータを利用している生徒とそうでない生徒のデジタル読解力の得点差

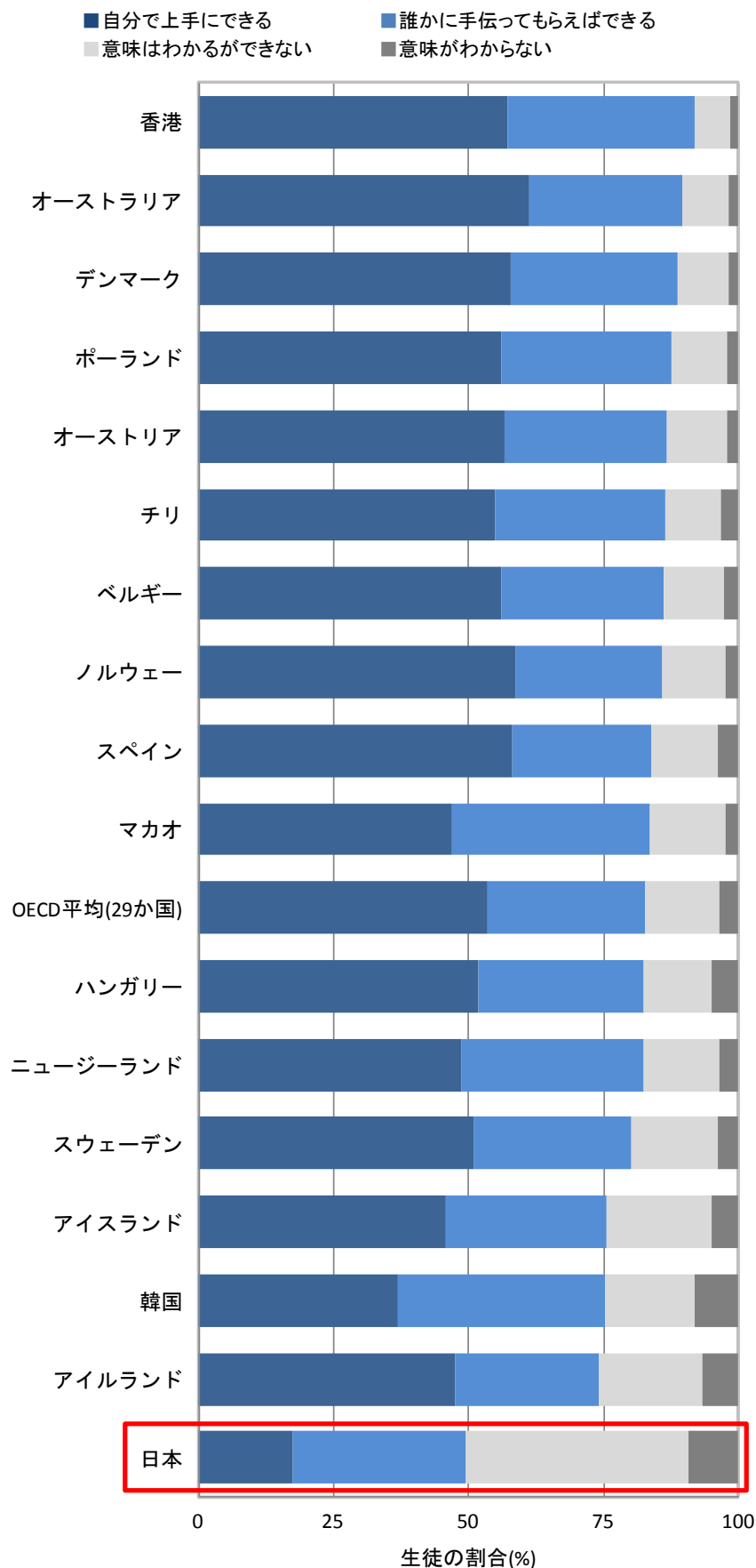


(注) 1. 社会経済的背景の影響を相殺した後の得点差の大きい順に上から並べている。  
2. 統計的に有意な得点差は、濃い色で表している。

表 20 マルチメディア作品を作ることに関する回答別で見た生徒の割合

国名	マルチメディア作品を作ることができると回答した生徒の割合							
	自分で上手にできる		誰かに手伝ってもらえばできる		意味はわかるができない		意味がわからない	
	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差
オーストラリア	61.3	(0.5)	28.2	(0.4)	8.7	(0.3)	1.8	(0.1)
オーストリア	56.6	(1.0)	30.1	(0.8)	11.2	(0.6)	2.2	(0.2)
ベルギー	56.2	(0.6)	29.8	(0.5)	11.3	(0.4)	2.7	(0.2)
チリ	54.9	(0.9)	31.4	(0.8)	10.4	(0.5)	3.2	(0.3)
デンマーク	57.9	(0.7)	31.0	(0.7)	9.4	(0.5)	1.7	(0.2)
ハンガリー	51.7	(1.1)	30.9	(0.8)	12.5	(0.5)	5.0	(0.5)
アイスランド	45.8	(0.9)	29.9	(0.8)	19.2	(0.7)	5.1	(0.4)
アイルランド	47.6	(1.1)	26.6	(0.8)	19.0	(0.8)	6.8	(0.4)
日本	17.6	(0.6)	32.0	(0.7)	41.2	(0.8)	9.3	(0.4)
韓国	36.9	(0.9)	38.3	(0.7)	16.7	(0.6)	8.1	(0.5)
ニュージーランド	48.6	(0.9)	33.8	(0.8)	14.2	(0.6)	3.5	(0.3)
ノルウェー	58.7	(0.9)	27.1	(0.7)	11.7	(0.6)	2.5	(0.2)
ポーランド	56.0	(0.9)	31.4	(0.8)	10.5	(0.5)	2.0	(0.2)
スペイン	58.1	(0.7)	25.8	(0.5)	12.3	(0.4)	3.7	(0.3)
スウェーデン	50.9	(0.8)	29.3	(0.8)	16.0	(0.6)	3.8	(0.3)
OECD平均(29か国)	53.6	(0.2)	29.1	(0.1)	13.7	(0.1)	3.6	(0.1)
香港	57.3	(0.9)	34.7	(0.9)	6.6	(0.4)	1.4	(0.2)
マカオ	46.9	(0.7)	36.6	(0.6)	14.0	(0.4)	2.4	(0.2)

図 13 マルチメディア作品を作ることができると回答した生徒の割合

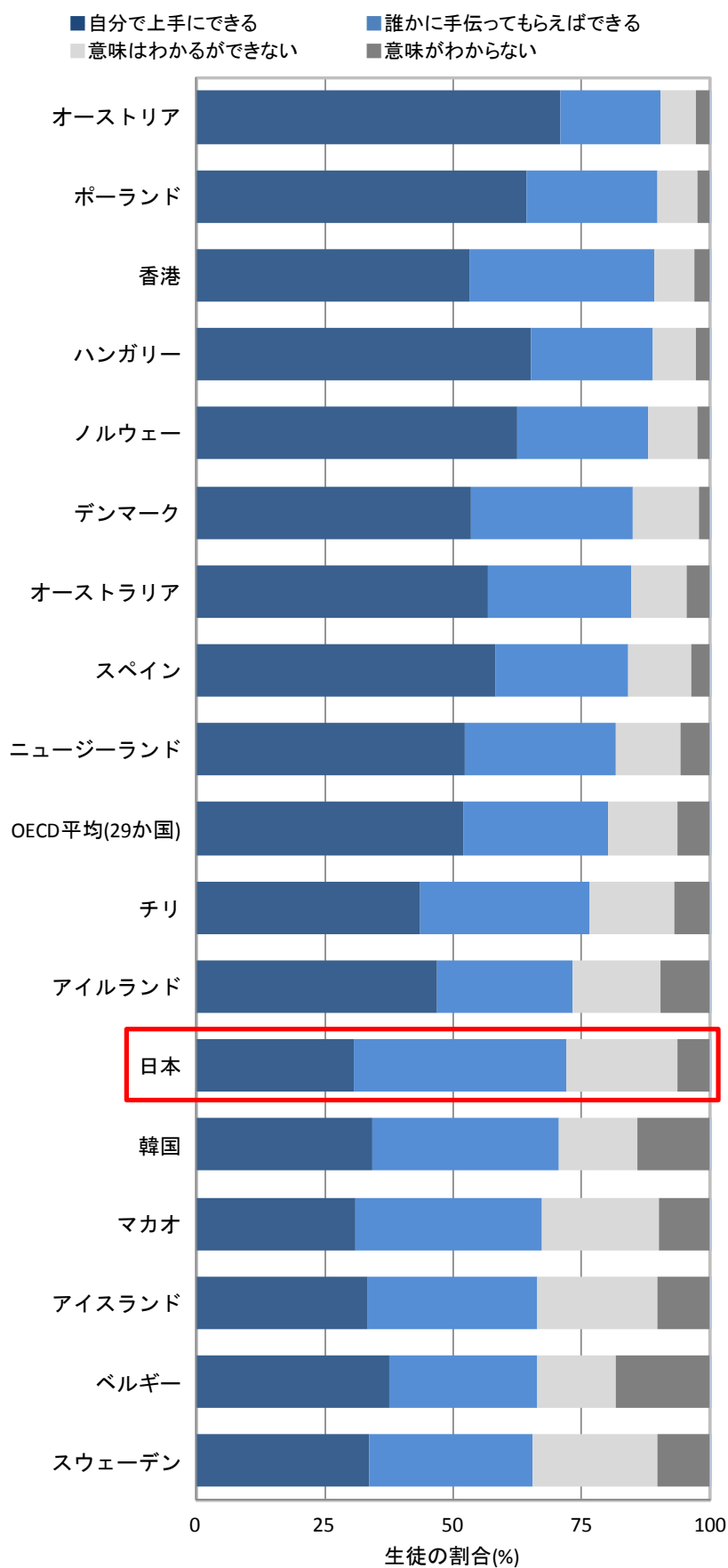


(注) マルティメディア作品を作ることが「誰かに手伝ってもらえばできる」「自分で上手にできる」と回答した生徒の割合の大きい順に上から並べている。

表 21 表計算ソフトを使ってグラフを作成することに関する回答別で見た生徒の割合

国名	表計算ソフトを使ってグラフを作成することができるという回答した生徒の割合							
	自分で上手にできる		誰かに手伝ってもらえばできる		意味はわかるが できない		意味がわからない	
	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差	割合	標準 誤差
オーストラリア	56.7	(0.6)	28.0	(0.4)	10.8	(0.4)	4.5	(0.2)
オーストリア	70.9	(1.0)	19.3	(0.8)	7.0	(0.4)	2.7	(0.2)
ベルギー	37.6	(0.7)	28.7	(0.6)	15.4	(0.5)	18.3	(0.6)
チリ	43.5	(0.7)	32.9	(0.7)	16.6	(0.6)	6.9	(0.5)
デンマーク	53.4	(1.1)	31.5	(0.9)	12.8	(0.7)	2.3	(0.3)
ハンガリー	65.1	(1.0)	23.9	(0.7)	8.1	(0.5)	2.9	(0.4)
アイスランド	33.4	(0.8)	33.0	(0.8)	23.3	(0.7)	10.3	(0.5)
アイルランド	46.7	(1.3)	26.6	(0.9)	17.0	(0.6)	9.6	(0.5)
日本	30.6	(0.8)	41.6	(0.8)	21.5	(0.7)	6.4	(0.4)
韓国	34.2	(1.0)	36.4	(0.8)	15.2	(0.5)	14.3	(0.6)
ニュージーランド	52.1	(0.8)	29.5	(0.6)	12.6	(0.5)	5.8	(0.3)
ノルウェー	62.4	(1.1)	25.6	(0.9)	9.6	(0.6)	2.4	(0.3)
ポーランド	64.2	(1.0)	25.3	(0.7)	7.8	(0.5)	2.6	(0.3)
スペイン	58.1	(0.7)	25.8	(0.5)	12.3	(0.4)	3.7	(0.3)
スウェーデン	33.6	(0.9)	31.9	(0.7)	24.3	(0.7)	10.2	(0.5)
OECD平均(29か国)	52.0	(0.2)	28.1	(0.1)	13.7	(0.1)	6.3	(0.1)
香港	53.2	(1.1)	35.9	(0.9)	7.8	(0.5)	3.2	(0.3)
マカオ	31.1	(0.6)	36.1	(0.6)	22.7	(0.5)	10.1	(0.4)

図 14 表計算ソフトを使ってグラフを作成することができるという回答した生徒の割合



(注) 表計算ソフトを使ってグラフを作成することが「誰かに手伝ってもらえばできる」「自分で上手にできる」と回答した生徒の割合の大きい順に上から並べている。

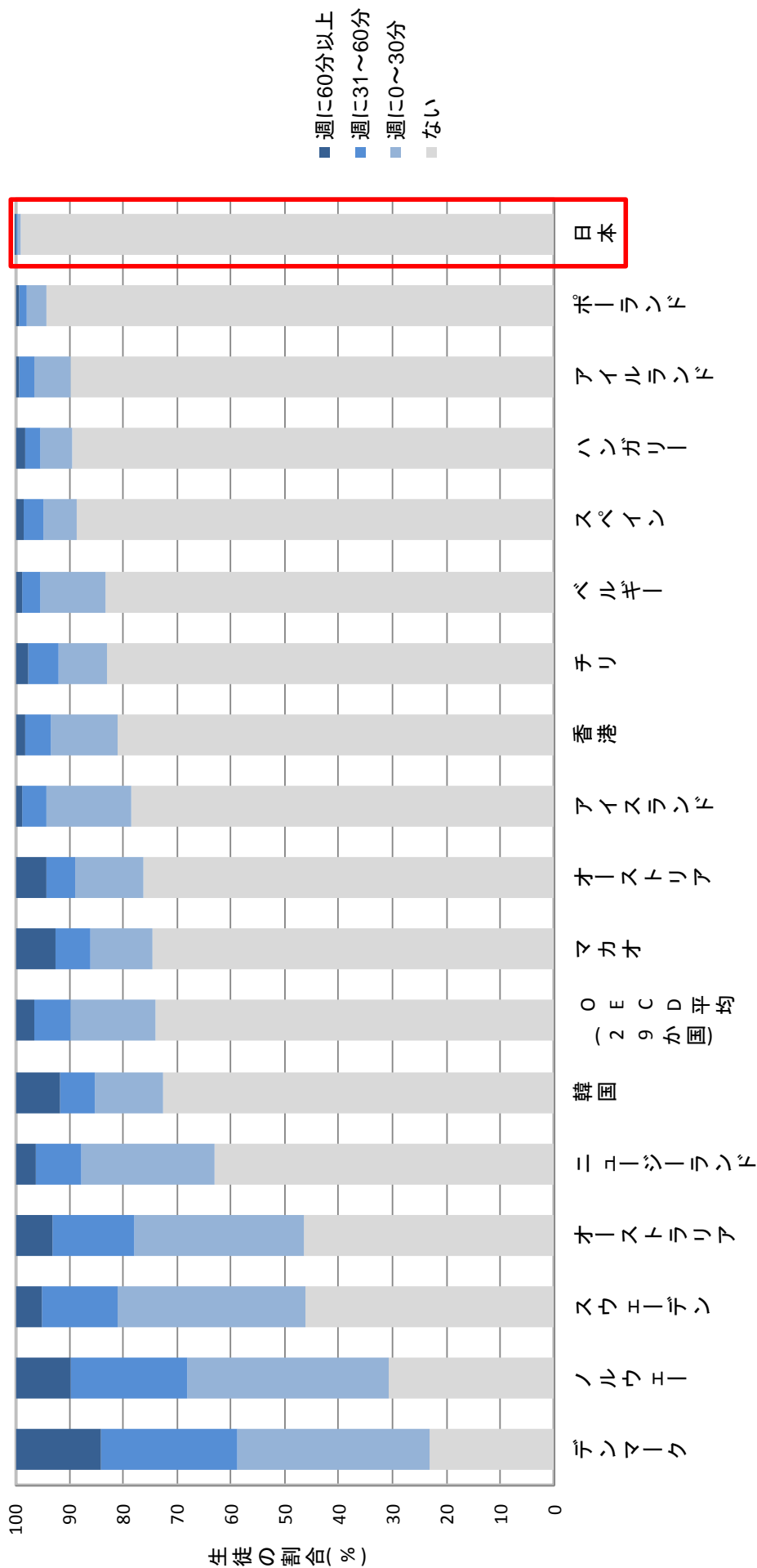
表22 国語・数学・理科の各授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）

国名	国語の授業						数学の授業						理科の授業											
	ない		週に0～30分		週に31～60分		週に60分以上		ない		週に0～30分		週に31～60分		週に60分以上		ない		週に0～30分		週に31～60分		週に60分以上	
	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差	割合	標準誤差
オーストラリア	46.3	(1.4)	31.5	(0.9)	15.2	(0.7)	7.0	(1.2)	73.5	(1.5)	16.2	(0.8)	7.1	(0.6)	3.2	(1.1)	53.6	(1.5)	28.4	(0.8)	12.7	(0.6)	5.3	(1.4)
オーストリア	76.4	(1.2)	12.5	(0.8)	5.5	(0.5)	5.6	(0.7)	88.7	(1.1)	6.4	(0.6)	2.8	(0.4)	2.1	(0.6)	81.4	(1.2)	10.7	(0.8)	4.9	(0.5)	3.0	(0.5)
ベルギー	83.4	(1.0)	12.0	(0.8)	3.2	(0.4)	1.3	(0.2)	90.5	(0.7)	6.3	(0.5)	2.4	(0.3)	0.9	(0.1)	87.5	(0.6)	8.1	(0.5)	3.3	(0.3)	1.1	(0.2)
チリ	83.0	(1.0)	8.9	(0.7)	5.6	(0.5)	2.5	(0.3)	89.1	(1.1)	6.4	(0.6)	3.3	(0.6)	1.2	(0.3)	82.9	(1.0)	9.5	(0.6)	5.9	(0.6)	1.6	(0.2)
デンマーク	23.2	(1.2)	35.7	(0.9)	25.1	(1.0)	15.9	(1.0)	60.3	(1.4)	26.0	(1.0)	7.6	(0.5)	6.1	(0.9)	49.0	(1.5)	31.2	(0.9)	13.1	(0.7)	6.7	(0.7)
ハンガリー	89.5	(0.6)	6.0	(0.5)	2.7	(0.3)	1.8	(0.2)	92.7	(0.7)	4.7	(0.5)	1.8	(0.3)	0.8	(0.1)	90.0	(0.8)	6.8	(0.6)	2.2	(0.3)	1.1	(0.2)
アイスランド	78.5	(0.7)	15.8	(0.6)	4.4	(0.3)	1.2	(0.2)	82.0	(0.6)	13.9	(0.6)	3.3	(0.3)	0.8	(0.2)	69.5	(0.7)	19.1	(0.6)	8.6	(0.5)	2.8	(0.3)
アイルランド	89.7	(0.8)	6.8	(0.6)	2.7	(0.3)	0.7	(0.2)	92.2	(0.7)	5.1	(0.5)	2.0	(0.3)	0.6	(0.2)	83.9	(1.0)	10.3	(0.7)	4.1	(0.5)	1.8	(0.3)
日本	99.0	(0.2)	0.6	(0.1)	0.2	(0.1)	0.2	(0.1)	98.7	(0.3)	0.7	(0.2)	0.4	(0.1)	0.2	(0.1)	98.4	(0.5)	0.8	(0.2)	0.6	(0.3)	0.2	(0.1)
韓国	72.6	(1.6)	12.7	(0.7)	6.4	(0.5)	8.4	(1.2)	91.7	(0.9)	4.4	(0.4)	1.6	(0.2)	2.3	(0.6)	69.2	(1.9)	10.1	(0.7)	10.3	(0.7)	10.5	(1.1)
ニュージーランド	62.9	(1.3)	25.0	(1.1)	8.3	(0.6)	3.8	(0.9)	88.3	(0.9)	8.7	(0.6)	2.4	(0.4)	0.6	(0.2)	79.0	(1.4)	14.5	(0.9)	5.1	(0.7)	1.4	(0.4)
ノルウェー	30.6	(1.3)	37.4	(1.1)	21.9	(1.0)	10.1	(0.8)	53.2	(1.7)	36.0	(1.3)	8.9	(0.7)	1.9	(0.2)	56.1	(1.7)	28.7	(1.2)	10.6	(0.7)	4.7	(0.7)
ポーランド	94.3	(0.5)	3.7	(0.4)	1.3	(0.2)	0.7	(0.1)	94.1	(0.6)	3.8	(0.4)	1.4	(0.2)	0.7	(0.2)	91.1	(0.8)	6.1	(0.6)	2.1	(0.3)	0.7	(0.2)
スペイン	88.6	(1.0)	6.3	(0.5)	3.6	(0.4)	1.6	(0.2)	89.9	(1.1)	5.6	(0.8)	3.4	(0.4)	1.1	(0.2)	83.8	(0.9)	9.2	(0.6)	4.7	(0.4)	2.3	(0.3)
スウェーデン	46.3	(1.7)	34.7	(1.0)	14.1	(0.9)	5.0	(0.5)	89.5	(0.8)	7.6	(0.7)	2.3	(0.3)	0.7	(0.1)	56.2	(1.7)	28.7	(1.2)	11.7	(0.7)	3.4	(0.5)
OECD平均(29か国)	74.0	(0.2)	15.6	(0.2)	6.8	(0.1)	3.5	(0.1)	84.2	(0.2)	10.1	(0.1)	3.9	(0.1)	1.7	(0.1)	75.4	(0.2)	15.2	(0.1)	6.6	(0.1)	2.9	(0.1)
香港	81.1	(0.9)	12.2	(0.6)	4.9	(0.4)	1.8	(0.2)	86.3	(0.6)	9.5	(0.5)	2.5	(0.3)	1.6	(0.2)	80.6	(0.8)	8.3	(0.6)	5.8	(0.4)	5.3	(0.5)
マカオ	74.4	(0.5)	11.6	(0.4)	6.6	(0.3)	7.4	(0.3)	84.9	(0.4)	9.4	(0.3)	3.4	(0.2)	2.3	(0.2)	73.5	(0.6)	8.7	(0.4)	7.7	(0.4)	10.0	(0.4)

(注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとロシアについてはこの間の結果が公表されていないため本表から除く。  
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

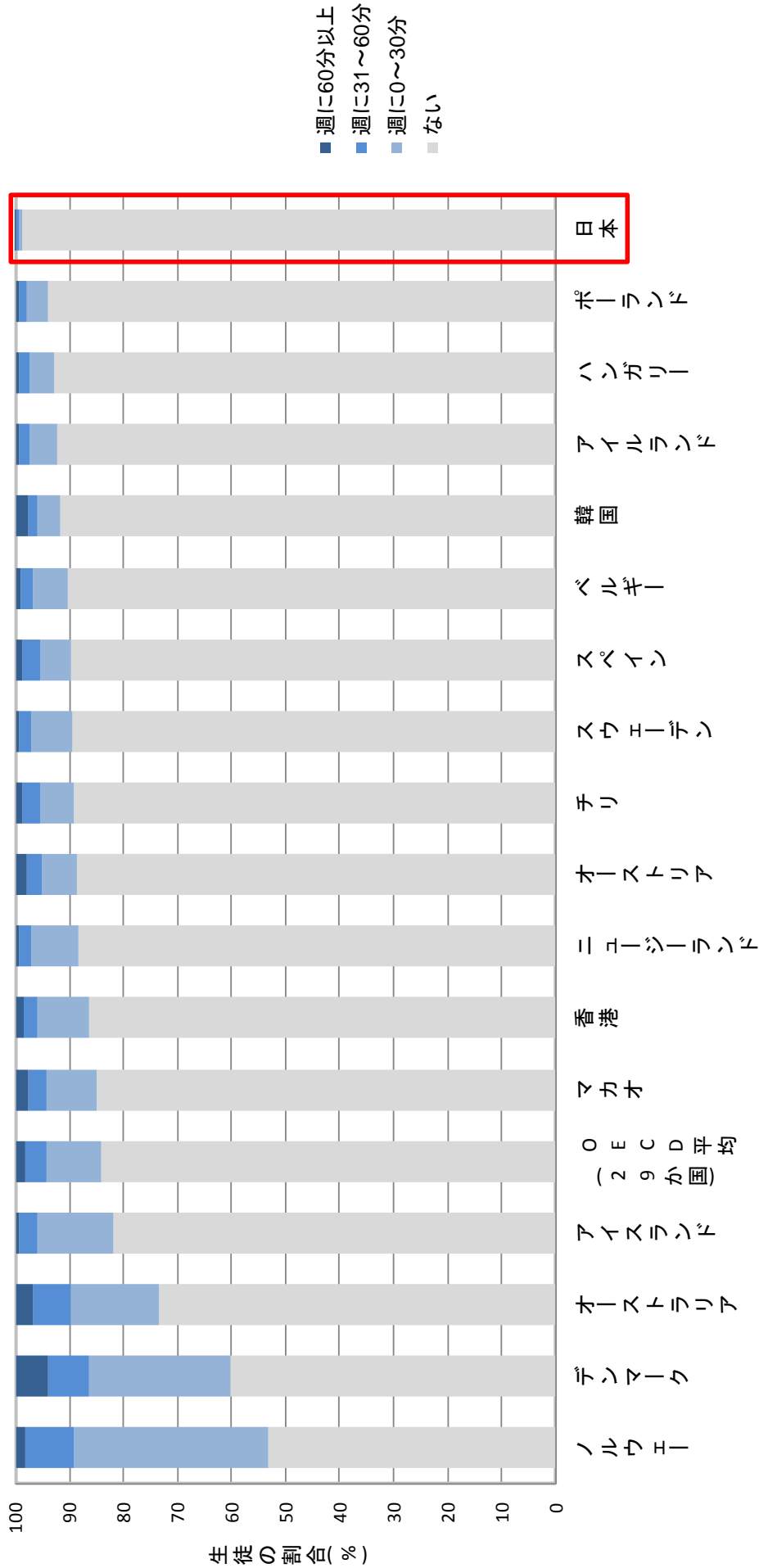


図15 国語の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）



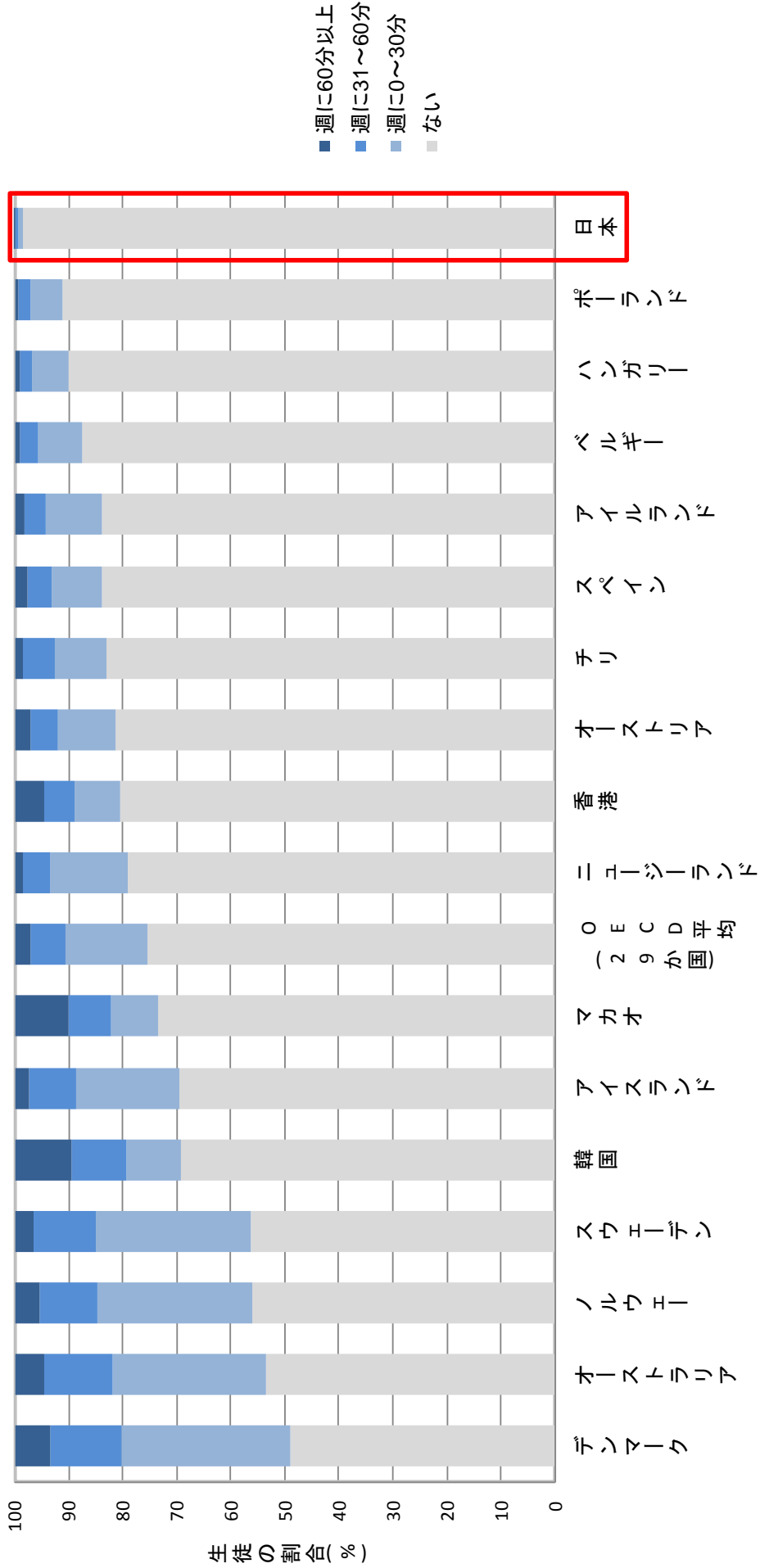
(注) 1. 国語の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。  
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの間の結果が公表されていないため本表から除く。  
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

図16 数学の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）



- (注) 1. 数学の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。  
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの間の結果が公表されていないため本表から除く。  
 3. OECD平均は、フランス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

図17 理科の授業におけるコンピュータの使用状況（デジタル読解力調査参加国）



(注) 1. 理科の授業で少しでもコンピュータを使ったことがある生徒の割合が大きい順に左から並べている。  
 2. デジタル読解力調査の参加国のうち、フランスとコロンビアについてはこの間の結果が公表されていないため本表から除く。  
 3. OECD平均は、フランス、イギリス、アメリカ、ルクセンブルグ、メキシコを除くOECD加盟29か国の平均。

表 23 自宅のコンピュータの有無から見たデジタル読解力

国名	デジタル読解力							
	自宅にコンピュータが無い生徒		自宅にコンピュータが1台以上ある生徒		得点差 (1台以上ー無し)		社会経済的背景の影響を相殺した後の得点差 (1台以上ー無し)	
	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	差	標準 誤差	差	標準 誤差
オーストラリア	448	(8.9)	540	(2.8)	<b>92</b>	(8.6)	<b>42</b>	(8.7)
オーストリア	390	(19.5)	460	(3.7)	<b>70</b>	(18.4)	20	(19.3)
ベルギー	401	(12.5)	511	(2.1)	<b>109</b>	(12.4)	<b>44</b>	(10.2)
チリ	382	(3.8)	452	(3.5)	<b>70</b>	(3.9)	<b>25</b>	(3.7)
デンマーク	c	c	490	(2.5)	c	c	c	c
フランス	418	(11.2)	497	(5.2)	<b>79</b>	(11.5)	<b>30</b>	(9.7)
ハンガリー	354	(9.2)	476	(3.9)	<b>122</b>	(9.2)	<b>47</b>	(8.7)
アイスランド	c	c	514	(1.4)	c	c	c	c
アイルランド	448	(10.0)	512	(2.8)	<b>64</b>	(9.5)	<b>36</b>	(9.8)
日本	482	(3.7)	526	(2.3)	<b>43</b>	(3.6)	<b>25</b>	(3.5)
韓国	528	(13.2)	568	(3.0)	<b>40</b>	(12.6)	12	(11.2)
ニュージーランド	455	(7.5)	543	(2.2)	<b>88</b>	(7.4)	<b>34</b>	(7.9)
ノルウェー	c	c	501	(2.8)	c	c	c	c
ポーランド	391	(7.0)	468	(3.1)	<b>78</b>	(7.1)	<b>24</b>	(6.3)
スペイン	428	(7.5)	481	(3.9)	<b>53</b>	(7.7)	<b>22</b>	(7.0)
スウェーデン	441	(17.5)	512	(3.3)	<b>71</b>	(17.2)	22	(14.3)
OECD平均(16か国)	428	(3.1)	503	(0.8)	<b>73</b>	(3.8)	<b>29</b>	(3.5)
コロンビア	342	(3.6)	407	(4.2)	<b>65</b>	(5.4)	<b>32</b>	(5.0)
香港	407	(16.9)	516	(2.5)	<b>109</b>	(17.0)	<b>89</b>	(17.5)
マカオ	458	(9.7)	492	(0.7)	<b>34</b>	(9.7)	<b>24</b>	(9.4)

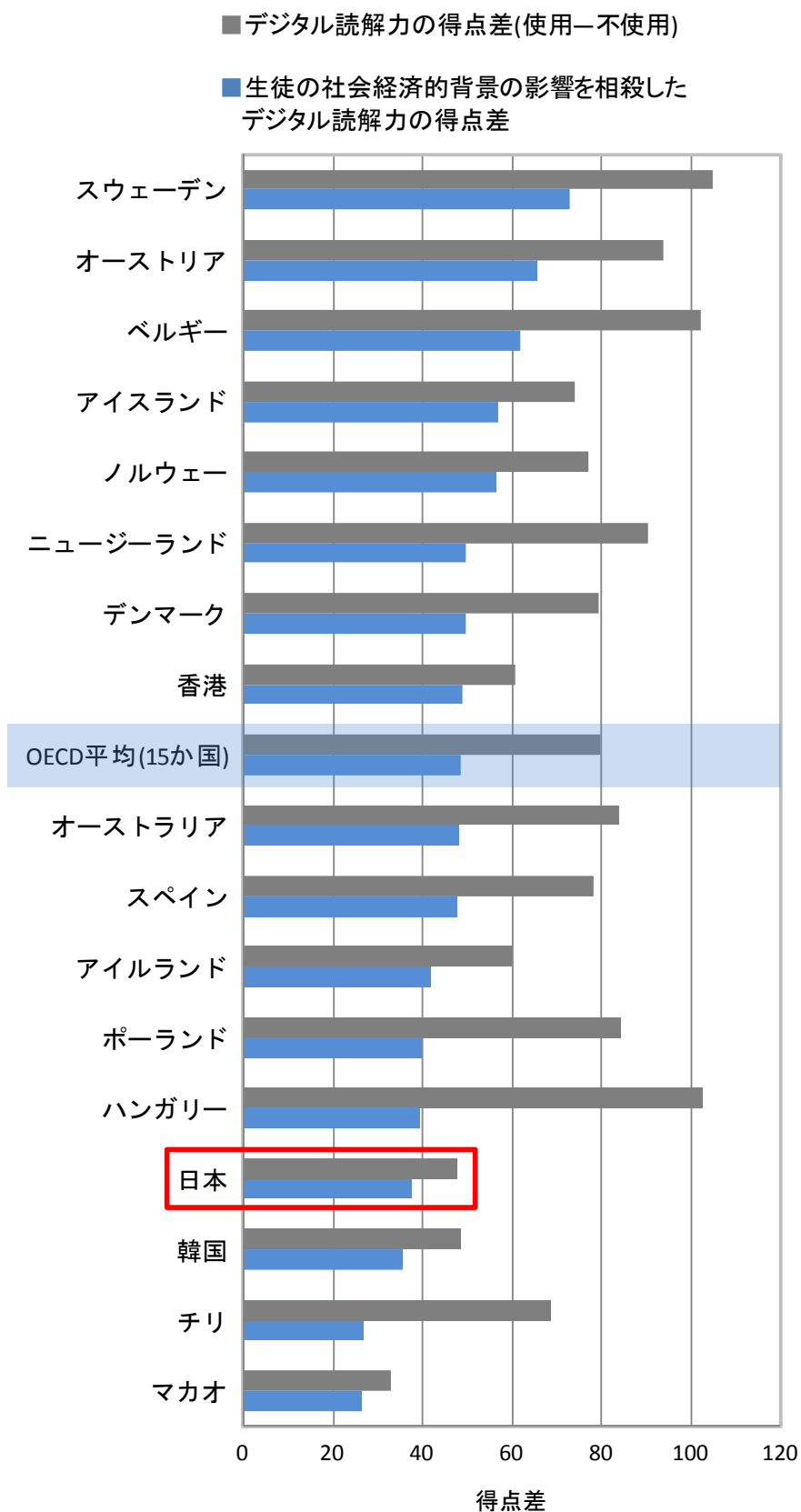
- (注) 1. 灰色の網掛は非OECD加盟国・地域を示す。  
 2. 太字は統計的に有意な差があることを示す。  
 3. 表中のcは欠損値。

表 24 自宅でのコンピュータ利用から見たデジタル読解力

国名	デジタル読解力							
	自宅でコンピュータを利用していない生徒		自宅でコンピュータを利用している生徒		得点差 (使用 - 不使用)		社会経済的背景の影響を相殺した後の 得点差 (使用 - 不使用)	
	平均得点	標準誤差	平均得点	標準誤差	差	標準誤差	差	標準誤差
オーストラリア	459	(5.9)	543	(2.7)	<b>84</b>	(6.0)	<b>48</b>	(5.7)
オーストリア	374	(13.0)	468	(3.5)	<b>94</b>	(12.3)	<b>66</b>	(12.0)
ベルギー	416	(6.8)	518	(2.0)	<b>102</b>	(6.9)	<b>62</b>	(5.9)
チリ	386	(3.8)	454	(3.5)	<b>69</b>	(3.8)	<b>27</b>	(3.8)
デンマーク	412	(11.9)	491	(2.6)	<b>79</b>	(12.4)	<b>50</b>	(13.1)
ハンガリー	375	(9.3)	478	(3.9)	<b>102</b>	(8.8)	<b>39</b>	(6.8)
アイスランド	441	(24.7)	515	(1.4)	<b>74</b>	(24.8)	<b>57</b>	(23.3)
アイルランド	456	(6.4)	516	(2.8)	<b>60</b>	(6.4)	<b>42</b>	(6.4)
日本	487	(2.9)	534	(2.3)	<b>48</b>	(2.9)	<b>38</b>	(2.7)
韓国	525	(4.6)	574	(3.1)	<b>49</b>	(4.7)	<b>36</b>	(4.2)
ニュージーランド	458	(5.7)	548	(2.2)	<b>90</b>	(5.6)	<b>50</b>	(6.3)
ノルウェー	425	(14.9)	502	(2.8)	<b>77</b>	(14.7)	<b>56</b>	(15.2)
ポーランド	387	(5.2)	471	(3.1)	<b>84</b>	(5.2)	<b>40</b>	(5.3)
スペイン	405	(7.0)	483	(3.8)	<b>78</b>	(6.9)	<b>48</b>	(6.8)
スウェーデン	410	(10.9)	515	(3.2)	<b>105</b>	(10.4)	<b>73</b>	(11.1)
OECD平均(15か国)	428	(2.7)	507	(0.8)	<b>80</b>	(2.7)	<b>49</b>	(2.6)
香港	457	(7.3)	518	(2.5)	<b>61</b>	(7.1)	<b>49</b>	(6.8)
マカオ	460	(5.4)	493	(0.7)	<b>33</b>	(5.4)	<b>27</b>	(5.3)

(注) 太字は統計的に有意な差があることを示す。

図 18 自宅でコンピュータを利用している生徒とそうでない生徒のデジタル読解力の得点差



(注) 1. 社会経済的背景の影響を相殺した後の得点差の大きい順に上から並べている。  
2. すべての得点差が統計的に有意である。

表 25 読解力の得点と「生徒の社会経済文化的背景」指標(ESCS)との関係

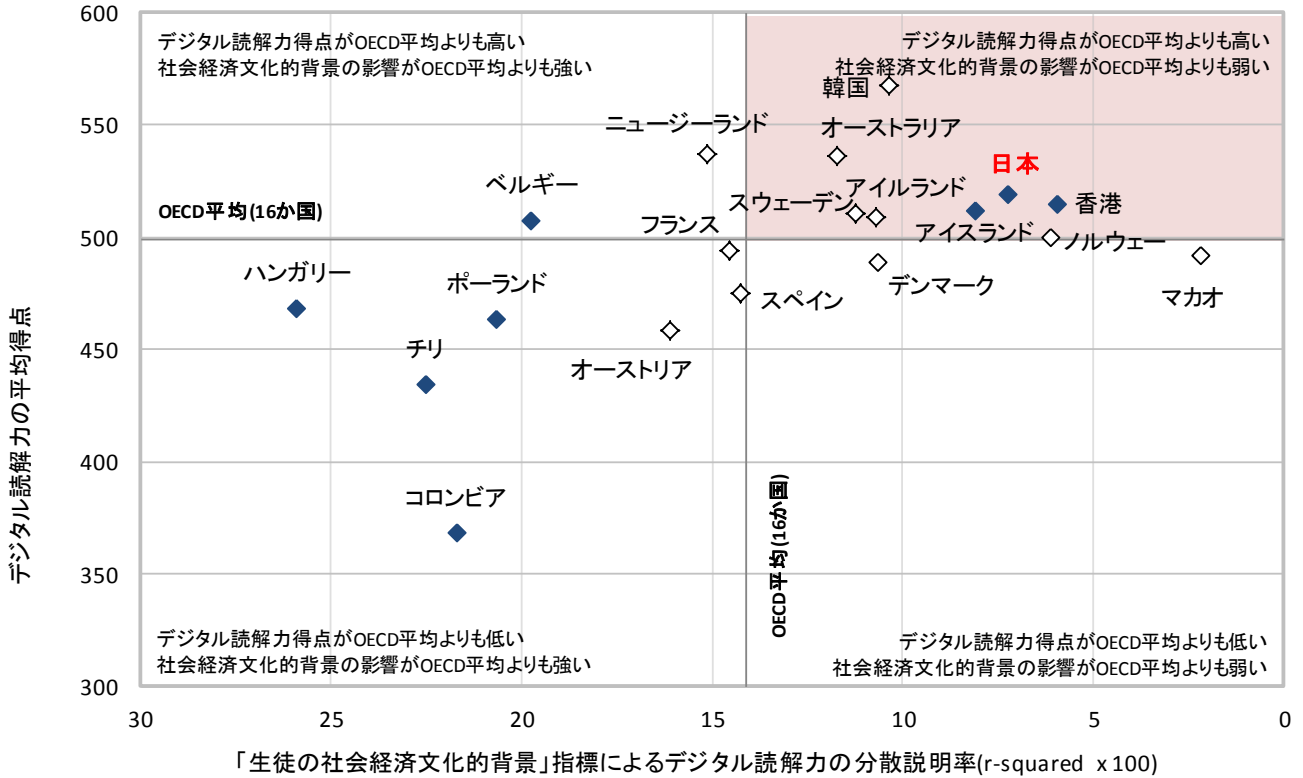
国名	調整前平均得点		OECD加盟国の平均 ECSCを同じにした場 合の平均得点		生徒の得点とECSCと の関係の強さ		ECSCによる回帰曲線 の傾き <sup>1</sup>	
	平均 得点	標準 誤差	平均 得点	標準 誤差	生徒の得点 に対する分 散説明率	標準 誤差	ECSC1単位 当たりの得 点変化	標準 誤差
<b>デジタル読解力</b>								
オーストラリア	<b>537</b>	(2.8)	524	(2.5)	11.7	(0.78)	<b>43</b>	(1.8)
オーストリア	<b>459</b>	(3.9)	456	(3.8)	16.1	(1.56)	<b>49</b>	(3.1)
ベルギー	<b>507</b>	(2.1)	501	(1.9)	<b>19.8</b>	(1.19)	<b>44</b>	(1.5)
チリ	<b>435</b>	(3.6)	456	(3.0)	<b>22.5</b>	(1.54)	37	(1.6)
デンマーク	489	(2.6)	481	(2.4)	<b>10.6</b>	(0.98)	<b>31</b>	(1.6)
フランス	494	(5.2)	502	(5.1)	14.5	(4.06)	43	(3.4)
ハンガリー	<b>468</b>	(4.2)	479	(3.4)	<b>25.9</b>	(2.28)	<b>54</b>	(2.7)
アイスランド	<b>512</b>	(1.4)	493	(2.0)	<b>8.1</b>	(0.91)	<b>29</b>	(1.7)
アイルランド	<b>509</b>	(2.8)	508	(2.6)	10.7	(1.57)	34	(2.7)
日本	<b>519</b>	(2.4)	<b>522</b>	(2.2)	<b>7.2</b>	(0.92)	<b>26</b>	(1.9)
韓国	<b>568</b>	(3.0)	572	(2.7)	10.4	(1.57)	<b>27</b>	(2.3)
ニュージーランド	<b>537</b>	(2.3)	537	(2.0)	15.1	(1.14)	<b>47</b>	(2.0)
ノルウェー	500	(2.8)	487	(2.9)	<b>6.1</b>	(0.81)	<b>28</b>	(2.0)
ポーランド	<b>464</b>	(3.1)	477	(2.3)	<b>20.7</b>	(1.24)	<b>47</b>	(1.7)
スペイン	<b>475</b>	(3.8)	487	(3.5)	14.3	(1.86)	<b>33</b>	(2.1)
スウェーデン	<b>510</b>	(3.3)	500	(3.1)	11.2	(1.44)	36	(2.3)
OECD平均(16か国)	499	(0.8)	499	(0.7)	14.1	(0.42)	38	(0.6)
コロンビア	<b>368</b>	(3.4)	405	(3.6)	<b>21.7</b>	(1.98)	<b>30</b>	(1.7)
香港	<b>515</b>	(2.6)	530	(2.8)	<b>5.9</b>	(1.15)	<b>19</b>	(2.0)
マカオ	492	(0.7)	500	(1.2)	<b>2.2</b>	(0.46)	<b>11</b>	(1.1)
<b>プリント読解力</b>								
オーストラリア	<b>515</b>	(2.3)	502	(2.0)	12.7	(0.85)	<b>46</b>	(1.8)
オーストリア	<b>470</b>	(2.9)	468	(2.6)	16.6	(1.39)	<b>48</b>	(2.3)
ベルギー	<b>506</b>	(2.3)	499	(2.0)	<b>19.3</b>	(1.01)	<b>47</b>	(1.5)
チリ	<b>449</b>	(3.1)	468	(2.6)	<b>18.7</b>	(1.56)	<b>31</b>	(1.5)
デンマーク	495	(2.1)	485	(1.8)	14.5	(1.02)	<b>36</b>	(1.4)
フランス	496	(3.4)	505	(2.9)	16.7	(1.97)	<b>51</b>	(2.9)
ハンガリー	494	(3.2)	504	(2.5)	<b>26.0</b>	(2.17)	<b>48</b>	(2.2)
アイスランド	500	(1.4)	483	(2.0)	<b>6.2</b>	(0.81)	<b>27</b>	(1.8)
アイルランド	496	(3.0)	496	(2.6)	12.6	(1.17)	39	(2.0)
日本	<b>520</b>	(3.5)	<b>522</b>	(3.0)	<b>8.6</b>	(0.96)	<b>40</b>	(2.8)
韓国	<b>539</b>	(3.5)	544	(3.0)	11.0	(1.51)	<b>32</b>	(2.5)
ニュージーランド	<b>521</b>	(2.4)	519	(2.0)	16.6	(1.08)	<b>52</b>	(1.9)
ノルウェー	503	(2.6)	487	(2.4)	<b>8.6</b>	(0.96)	<b>36</b>	(2.1)
ポーランド	500	(2.6)	512	(2.2)	14.8	(1.38)	39	(1.9)
スペイン	<b>481</b>	(2.0)	491	(1.8)	13.6	(1.30)	<b>29</b>	(1.5)
スウェーデン	497	(2.9)	485	(2.4)	13.4	(1.33)	43	(2.2)
OECD平均(16か国)	499	(0.7)	498	(0.6)	14.4	(0.33)	40	(0.5)
コロンビア	<b>413</b>	(3.7)	445	(3.3)	16.6	(1.90)	<b>28</b>	(1.8)
香港	<b>533</b>	(2.1)	548	(2.5)	<b>4.5</b>	(1.08)	<b>17</b>	(2.2)
マカオ	<b>487</b>	(0.9)	495	(1.1)	<b>1.8</b>	(0.35)	<b>12</b>	(1.2)

(注) 1. ECSCにおける読解力得点の単回帰、傾きはECSCに対する回帰係数。  
2. 太字はOECD平均に対して統計的に有意な差があることを示す。

図 19 社会経済文化的背景の影響力と読解力

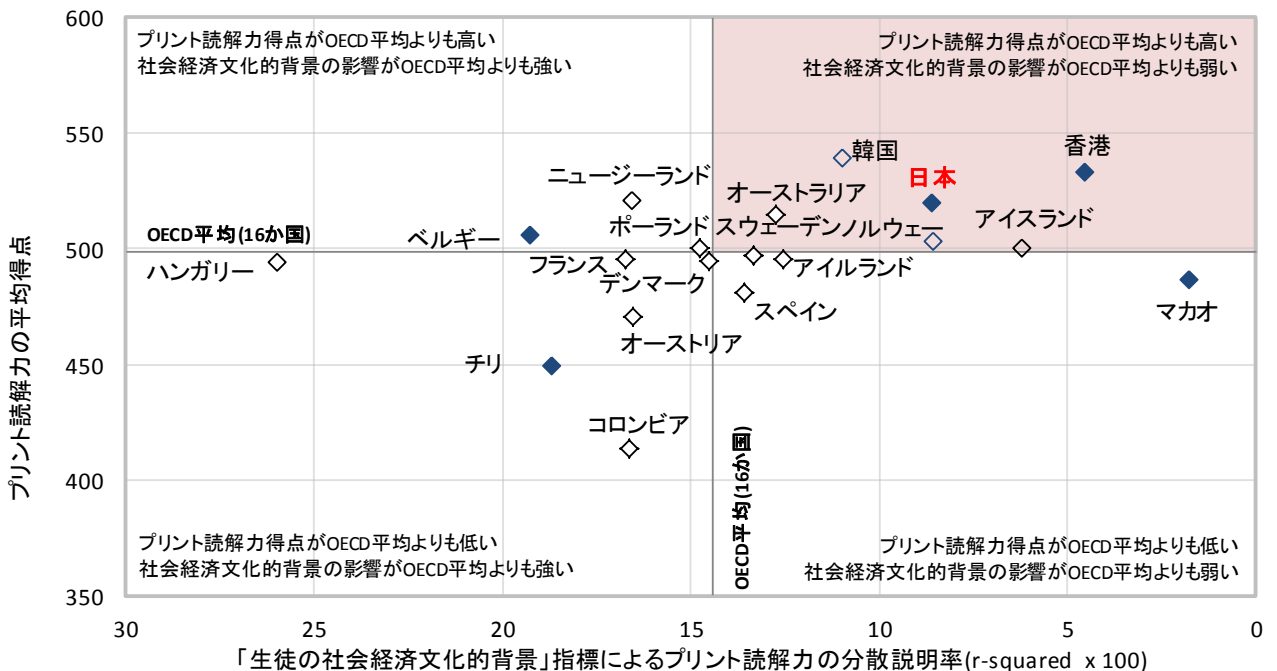
<デジタル読解力>

- ◆ 「デジタル読解力の平均得点」と「平均得点と社会経済文化的背景との関連性」の双方において、OECD平均と統計的に有意な差がある。
- ◇ 「デジタル読解力の平均得点」と「平均得点と社会経済文化的背景との関連性」の双方、もしくは一方で、OECD平均と統計的な有意差が認められない。



<プリント読解力>

- ◆ 「プリント読解力の平均得点」と「平均得点と社会経済文化的背景との関連性」の双方において、OECD平均と統計的に有意な差がある。
- ◇ 「プリント読解力の平均得点」と「平均得点と社会経済文化的背景との関連性」の双方、もしくは一方で、OECD平均と統計的な有意差が認められない。





## 7. デジタル読解力の問題例

デジタル読解力の問題は9ユニット、29題であった。表26(65ページ)はデジタル読解力に関する9ユニット、29題ごとにテキストの形式、読解の側面、出題形式に分類し、日本とOECD平均の正答率と無答率及びそれぞれの差を一覧にして示したものである。また、表27(66ページ)は同様の一覧において、日本とOECD平均の男女別の正答率とその差を示している。デジタル読解力の問題の平均正答率は、日本が66%、OECD平均が60%である。平均無答率は、日本、OECD平均ともに7%で、同程度であった。平均正答率を男女別に見ると、日本の男子が63%、女子が69%であり、OECD平均は男子が57%、女子が63%である。日本もOECD平均も、女子が男子よりも平均正答率が高い。

なお、実際に使用したデジタル読解力調査問題の国際版の例などは、以下のサイトで見ることができる。

<http://erasq.acer.edu.au/>  
(ログインネーム: public、パスワード: access)

### 7. 1 問題ごとの正答率と無答率

表28(67ページ)は、デジタル読解力問題における分野別に見た平均正答率、無答率である。

このうち、読解の側面別で平均正答率を見ると、「情報へのアクセス・取り出し」については日本が83%、OECD平均が77%、「統合・解釈」については日本が64%、OECD平均が59%、「熟考・評価」については日本が56%、OECD平均が51%、「複合されたもの」については日本が59%、OECD平均が52%となっており、その差は約4~7ポイントとなっている。

また、テキストの環境別で平均正答率を見ると、「静的テキスト」については日本が62%、OECD平均が57%、「動的テキスト」については日本が76%、OECD平均が71%、「混成型テキスト」については日本が59%、OECD平均が51%となっており、その差は約4~8ポイントとなっている。

表26 デジタル読解力問題の分類と正答率、無答率

ユニットの名称	小問番号	小問の分類										正答率		無答率		差 (日本-OECD)
		テキスト・タイプ	テキストの形式	テキストの環境	読解の側面	用途・状況	出題形式	日本	OECD	日本	OECD	差 (日本-OECD)				
		用途・状況	出題形式	日本	OECD	差 (日本-OECD)										
スラン	問1	記述	非連続	静的	情報へのアクセス・取り出し	公的	多肢選択	95.4	94.6	0.8	2.1	1.2	0.9			
スラン	問2	記述	複合	静的	情報へのアクセス・取り出し	公的	多肢選択	91.2	82.5	8.6	1.5	1.7	-0.2			
スラン	問3	処理	複合	混成型	複合されたもの	私的	自由記述	55.8	50.3	5.5	14.9	16.8	-1.9			
手助けしたい	問1	記述	連続	動的	情報へのアクセス・取り出し	職業的	多肢選択	87.6	84.6	3.0	1.1	1.6	-0.5			
手助けしたい	問2	記述	複合	動的	情報へのアクセス・取り出し	職業的	多肢選択	73.4	78.4	-5.0	2.5	1.9	0.6			
手助けしたい	問3	議論	複合	静的	統合・解釈	職業的	多肢選択	64.3	69.2	-4.8	2.1	1.6	0.4			
手助けしたい	問4	不特定	複合	混成型	複合されたもの	職業的	自由記述	62.3	51.0	11.3	26.4	37.4	-11.1			
句い	問1	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	32.7	42.3	-9.6	1.4	3.3	-1.9			
句い	問2	解説	複合	静的	熟考・評価	公的	自由記述	39.2	26.8	12.4	13.4	9.6	3.8			
句い	問3	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	78.5	63.9	14.6	2.4	3.4	-1.0			
映画	問1a	処理	複合	動的	複合されたもの	私的	複合的多肢選択	85.2	77.0	8.2	3.3	9.3	-6.0			
映画	問1b	処理	複合	動的	複合されたもの	私的	複合的多肢選択	73.7	69.8	3.9	16.6	14.2	2.3			
お仕事検索ネット	問1	記述	非連続	静的	熟考・評価	職業的	多肢選択	75.1	67.0	8.1	2.5	2.9	-0.4			
お仕事検索ネット	問2	記述	複合	動的	統合・解釈	職業的	複合的多肢選択	58.3	51.1	7.2	8.4	13.9	-5.5			
お仕事検索ネット	問3	記述	混成	静的	熟考・評価	職業的	自由記述	43.4	49.5	-6.1	24.0	15.1	9.0			
スポーツクラブ	問1	処理	複合	動的	統合・解釈	私的	多肢選択	78.8	71.8	7.0	0.4	0.9	-0.5			
スポーツクラブ	問2	議論	複合	静的	情報へのアクセス・取り出し	私的	多肢選択	73.9	63.5	10.4	1.8	1.9	-0.1			
スポーツクラブ	問3	議論	複合	静的	複合されたもの	私的	自由記述	52.5	49.3	3.2	14.2	7.1	7.1			
花粉症	問1	記述	非連続	静的	熟考・評価	公的	自由記述	49.3	47.3	2.0	14.3	9.1	5.2			
花粉症	問2	解説	複合	静的	情報へのアクセス・取り出し	公的	多肢選択	62.5	47.5	15.0	4.4	5.5	-1.1			
花粉症	問3	記述	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	70.9	64.7	6.2	2.7	3.2	-0.5			
花粉症	問4	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	46.7	42.1	4.6	3.1	3.5	-0.5			
語学の学習	問1	議論	連続	静的	統合・解釈	教育的	多肢選択	56.0	54.5	1.6	2.0	2.6	-0.7			
語学の学習	問2	議論	複合	動的	情報へのアクセス・取り出し	教育的	多肢選択	95.5	89.0	6.5	0.8	1.1	-0.3			
語学の学習	問3	議論	複合	動的	熟考・評価	教育的	自由記述	51.5	46.0	5.5	10.1	4.8	5.3			
偽造	問1	解説	混成	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	72.9	60.2	12.7	1.1	1.6	-0.4			
偽造	問2	解説	複合	静的	熟考・評価	公的	多肢選択	77.3	70.2	7.1	1.5	1.6	-0.1			
偽造	問3	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	79.2	65.8	13.4	1.3	1.6	-0.4			
偽造	問4	解説	複合	静的	複合されたもの	公的	自由記述	25.6	14.9	10.7	20.6	19.6	1.0			
					平均			65.8	60.2	5.6	6.9	6.8	0.1			

(注) ユニットの名称の網掛けは非公開問題を示す。

表27 デジタル読解力問題の分類と男女別正答率

ユニットの名称	小問番号	小問の分類						日本		OECD平均	差 (男子-女子)		
		テキスト・タイプ	テキストの形式	テキストの環境	読解の側面	用途・状況	出題形式	男子	女子				
								男子	女子				
スラン	問1	記述	非連続	静的	情報へのアクセス・取り出し	公的	多肢選択	94.5	96.4	93.4	95.9	-1.9	-2.5
スラン	問2	記述	複合	静的	情報へのアクセス・取り出し	公的	多肢選択	90.0	92.4	80.2	84.8	-2.4	-4.6
スラン	問3	処理	複合	混成型	複合されたもの	私的	自由記述	49.5	62.3	45.4	55.2	-12.8	-9.8
手助けしたい	問1	記述	連続	動的	情報へのアクセス・取り出し	職業的	多肢選択	84.3	91.0	80.8	88.4	-6.6	-7.5
手助けしたい	問2	記述	複合	動的	情報へのアクセス・取り出し	職業的	多肢選択	71.5	75.4	74.9	81.9	-3.9	-6.9
手助けしたい	問3	議論	複合	静的	統合・解釈	職業的	多肢選択	61.6	67.2	65.5	72.8	-5.5	-7.3
手助けしたい	問4	不特定	複合	混成型	複合されたもの	職業的	自由記述	57.0	67.8	47.5	54.5	-10.8	-6.9
匂い	問1	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	31.7	33.8	39.5	45.1	-2.1	-5.5
匂い	問2	解説	複合	静的	熟考・評価	公的	自由記述	34.6	43.8	24.0	29.6	-9.3	-5.7
匂い	問3	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	76.6	80.5	61.5	66.3	-3.9	-4.8
映画	問1a	処理	複合	動的	複合されたもの	私的	複合的多肢選択	84.1	86.4	74.5	79.4	-2.3	-4.9
映画	問1b	処理	複合	動的	複合されたもの	私的	複合的多肢選択	68.6	79.0	66.9	72.7	-10.4	-5.9
お仕事検索ネット	問1	記述	非連続	静的	熟考・評価	職業的	多肢選択	74.2	75.9	64.3	69.6	-1.7	-5.3
お仕事検索ネット	問2	記述	複合	動的	統合・解釈	職業的	複合的多肢選択	58.1	58.5	48.2	54.0	-0.5	-5.8
お仕事検索ネット	問3	記述	混成	静的	熟考・評価	職業的	自由記述	40.1	46.8	45.4	53.5	-6.7	-8.1
スポーツクラブ	問1	処理	複合	動的	統合・解釈	私的	多肢選択	77.7	79.8	68.2	75.4	-2.1	-7.2
スポーツクラブ	問2	議論	複合	静的	情報へのアクセス・取り出し	私的	多肢選択	73.2	74.6	61.5	65.4	-1.4	-3.9
スポーツクラブ	問3	議論	複合	静的	複合されたもの	私的	自由記述	48.0	57.1	44.9	53.7	-9.1	-8.8
花粉症	問1	記述	非連続	静的	熟考・評価	公的	自由記述	45.6	53.0	43.7	50.9	-7.4	-7.2
花粉症	問2	解説	複合	静的	情報へのアクセス・取り出し	公的	多肢選択	60.7	64.4	46.5	48.5	-3.7	-1.9
花粉症	問3	記述	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	64.1	77.9	58.7	70.7	-13.8	-12.0
花粉症	問4	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	45.3	48.1	40.8	43.3	-2.8	-2.5
語学の学習	問1	議論	連続	静的	統合・解釈	教育的	多肢選択	52.9	59.3	51.8	57.1	-6.4	-5.2
語学の学習	問2	議論	複合	動的	情報へのアクセス・取り出し	教育的	多肢選択	94.2	96.8	86.4	91.6	-2.7	-5.1
語学の学習	問3	議論	複合	動的	熟考・評価	教育的	自由記述	48.9	54.2	43.4	48.6	-5.3	-5.2
偽造	問1	解説	混成	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	72.1	73.8	61.5	59.0	-1.6	2.5
偽造	問2	解説	複合	静的	熟考・評価	公的	多肢選択	73.2	81.7	68.8	71.6	-8.6	-2.8
偽造	問3	解説	複合	静的	統合・解釈	公的	多肢選択	74.8	83.8	61.9	69.8	-9.0	-7.9
偽造	問4	解説	複合	静的	複合されたもの	公的	自由記述	23.4	28.0	13.9	16.0	-4.6	-2.1
							平均	63.1	68.6	57.4	62.9	-5.5	-5.5

(注) ユニットの名称の網掛は非公開問題を示す。

表 28 デジタル読解力問題における分類別に見た平均正答率、平均無答率

分類	内容	平均正答率			平均無答率		
		日本	OECD	差 (日本-OECD)	日本	OECD	差 (日本-OECD)
テキストの 環境	静的	62.4	56.6	5.8	6.1	5.1	1.1
	動的	75.5	71.0	4.5	5.4	6.0	-0.6
	混成型	59.1	50.7	8.4	20.6	27.1	-6.5
テキストの 形式	連続	71.8	69.5	2.3	1.5	2.1	-0.6
	非連続	73.2	69.6	3.6	6.3	4.4	1.9
	混成	58.2	54.9	3.3	12.6	8.3	4.3
	複合	65.0	58.5	6.4	7.0	7.5	-0.5
テキスト・ タイプ	議論	65.6	61.9	3.7	5.2	3.2	2.0
	記述	71.6	68.9	2.7	6.6	5.6	0.9
	解説	57.2	48.2	9.0	5.4	5.5	-0.1
	処理	73.4	67.2	6.2	8.8	10.3	-1.5
	特定できないもの	62.3	51.0	11.3	26.4	37.4	-11.1
読解の側面	情報へのアクセス・取り出し	82.8	77.2	5.6	2.0	2.1	-0.1
	統合・解釈	63.8	58.6	5.3	2.5	3.6	-1.1
	熟考・評価	56.0	51.1	4.8	10.9	7.2	3.8
	複合されたもの	59.2	52.0	7.1	16.0	17.4	-1.4
用途・状況	私的	70.0	63.6	6.4	8.5	8.4	0.2
	公的	63.2	55.6	7.6	5.4	5.0	0.4
	職業的	66.3	64.4	1.9	9.6	10.6	-1.1
	教育的	67.7	63.2	4.5	4.3	2.9	1.4
出題形式	多肢選択	72.9	67.3	5.6	1.9	2.3	-0.4
	複合的多肢選択	72.4	66.0	6.4	9.4	12.5	-3.1
	自由記述	47.4	41.9	5.6	17.2	14.9	2.3
全体		65.8	60.2	5.6	6.9	6.8	0.1

## 7. 2 公開問題の解説

デジタル読解力調査の公開問題は、3 ユニット 10 題である。以下、公開問題である「手助けしたい」「匂い」「お仕事検索ネット」について解説し、各問の結果を示す。

### (1) 「手助けしたい」に関する問題

#### ● 問 1

手助けしたい-マイカのブログ - ホーム - E005P24 - Internet Browser  
アドレス http://www.maikasblog.com/index.html

マイカのブログ

## 16才から始まる人生

1月1日 - 火曜日

明けましておめでとう！  
今日ブログをアップしたのは、私の新年の決意を早くみんなに知らせたかったからなの。今年はボランティアをする年にしよと決めたんだ(マジで)。  
ボランティアの仕事を探すつもり。  
昨年、私が短期のボランティアを何回かしたの覚えているかもしれないね。とてもいい経験だったんだけど、今年は1年間くらい長期の仕事をしたいの。そうしたら、本当の意味で他人の人生に関わることが出来るでしょう。まずは、[www.iwanttohelp.org](http://www.iwanttohelp.org)から始めてみようと思うんだけど、このサイトを利用したことある人いる？

[コメント](#)

1月6日 - 日曜日

今日は友だちのリュウタが、私がボランティアに興味がある「本当の理由」は？なんて質問してきた、昼食を食べながら激しく議論してしまいました。リュウタは、今どきボランティアを募集しようと思ったら、ボランティアしたらどんなメリットがあるのか、先に知らせておかないと人なんて集まらないんだって言ってゆずらないの。どうやったら他人を手助けできるかなんて、

目次  
[ホーム](#)  
[このサイトについて](#)  
[連絡先](#)

プロフィール  
「16才から始まる人生」はM.マイカの個人的なブログです。  
[詳しいプロフィールを請求](#)

手助けしたい: 問 1 (E005Q01)  
マイカのブログの1月1日の日記を読んでください。マイカのボランティア経験について、ブログに書かれていることは次のどれですか。

- マイカは長年ボランティアをしてきた
- マイカは友だちと一緒にいるためだけにボランティアをする
- マイカは少しボランティアをしたことがあるが、もっとやりたがっている
- マイカはボランティアを試してみたことがあるが有意義だとは思っていない

問 1 の出題の意図は次のとおりである。

問題の形式：多肢選択

テキストの環境：動的

テキストの形式：連続型

テキスト・タイプ：記述

側面：情報へのアクセス・取り出し

用途・状況：職業的

問 1 の正答は 3 番目の「マイカは少しボランティアをしたことがあるが、もっとやりたがっている」であり、結果は表 29 に示した（反応率の番号は、選択肢の上から 1、2、3、4 を指す）。

問 1 は、ボランティアに興味を持つマイカのブログについて、最初に出てきたページの上の方にある 1 つの短い、簡単なテキストの中の情報と問の文言（日付）が一致するように、必要な情報取り出ししてくる問題である。したがって、問題の難易度はレベル 1 以下(362 点)、正答率の OECD 平均は 85%、日本は 88% である。男女別の正答率は、OECD 平均では男子が 81%、女子が 88%、日本は男子が 84%、女子が 91% である。

表 29 「手助けしたい」に関する問1の結果

国名	反応率					正答率		
	1	2	3	4	無答・他	全体	男子	女子
日本	5.1	3.8	87.6	2.4	1.1	87.6	84.3	91.0
オーストラリア	5.8	3.0	89.2	1.5	0.6	89.2	87.1	91.1
オーストリア	9.5	11.5	73.8	3.2	2.0	73.8	68.8	78.6
ベルギー	5.3	3.6	87.2	2.3	1.5	87.2	84.2	90.3
チリ	11.0	5.5	76.7	2.3	4.5	76.7	71.5	83.0
デンマーク	8.8	5.1	83.3	2.4	0.4	83.3	81.3	85.2
スペイン	7.8	3.6	85.7	1.3	1.6	85.7	83.7	87.7
フランス	8.9	2.6	85.6	0.8	2.1	85.6	83.1	88.0
ハンガリー	11.9	8.3	71.3	6.0	2.4	71.3	67.4	75.3
アイルランド	5.5	3.0	88.6	1.3	1.7	88.6	83.5	93.7
アイスランド	5.2	4.1	86.6	2.1	2.0	86.6	81.6	91.0
韓国	2.9	1.4	93.7	1.3	0.6	93.7	92.5	95.1
ノルウェー	6.9	3.4	86.4	1.6	1.7	86.4	81.4	91.4
ニュージーランド	4.2	2.4	90.6	1.9	0.8	90.6	85.2	95.9
ポーランド	10.2	6.4	79.9	2.4	1.0	79.9	75.4	84.3
スウェーデン	4.0	4.5	87.4	2.8	1.3	87.4	82.2	92.4
OECD平均	7.1	4.5	84.6	2.2	1.6	84.6	80.8	88.4
コロンビア	23.0	8.8	59.9	3.7	4.5	59.9	58.3	61.6
香港	4.9	2.6	88.0	3.0	1.5	88.0	84.3	92.2
マカオ	6.0	3.1	85.3	3.4	2.2	85.3	81.3	89.4

(注) 正答率は、正答3に解答した生徒の割合である。

● 問2

手助けしたい - マイカブログ - ホーム - E005P24 - Internet Browser

アドレス <http://www.maikasblog.com/index.html>

マイカブログ

## 16才から始まる人生

1月1日 - 火曜日

明けましておめでとう！  
今日ブログをアップしたのは、私の新年の決意を早くみんなに知らせたかったからなの。今年はボランティアをする年にしよと決めたんだ(マジで)。  
ボランティアの仕事を探すつもり。  
昨年、私が短期のボランティアを何回かしたの覚えているかもしれないね。とてもいい経験だったんだけど、今年は1年間くらい長期の仕事をしたいの。そうしたら、本当の意味で他人の人生に関わることが出来るでしょう。まずは、[www.iwanttohelp.org](http://www.iwanttohelp.org)から始めてみようと思うんだけど、このサイトを利用したことある人いる？

[コメント](#)

1月6日 - 日曜日

今日は友だちのリュウタが、私がボランティアに興味がある本当の理由は？なんて質問してきた、昼食を食べながら楽しく議論してしまいました。リュウタは、今どきボランティアを募集しようと思ったら、ボランティアしたらどんなメリットがあるのか、先に知らせておかないと人なんて集まらないんだって言ってゆずらないの。どうやったら他人を助けられるかなんて、

**目次**  
[ホーム](#)  
[このサイトについて](#)  
[連絡先](#)

**プロフィール**  
 「16才から始まる人生」はM.マイカの個人的なブログです。  
[詳しいプロフィールを読む](#)

**手助けしたい: 問2** [E005Q02]  
 マイカブログ内の「このサイトについて」のページに移動してください。  
 マイカは学校を卒業したらどんな種類の仕事につきたいと思っていますか。

- 写真関係
- ウェブデザイン
- 銀行業務
- 社会福祉関係

問2の出題の意図は次のとおりである。

問題の形式：多肢選択

テキストの環境：動的

テキストの形式：複合型

テキスト・タイプ：記述

側面：情報へのアクセス・取り出し

用途・状況：職業的

問2の正答は2番目の「ウェブデザイン」であり、結果は表30に示した（反応率の番号は、選択肢の上から1、2、3、4を指す）。

問2は、最初のページから、必要な情報がある次のページに移動し、短いテキストを取り出すことが求められる問題である。問題の難易度はレベル2（417点）、正答率のOECD平均は78%、日本は73%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が75%、女子が82%、日本は男子が72%、女子が75%である。

表30 「手助けしたい」に関する問2の結果

国名	反応率					正答率		
	1	2	3	4	無答・他	全体	男子	女子
日本	5.0	73.4	1.2	18.0	2.5	73.4	71.5	75.4
オーストラリア	7.1	83.5	0.6	8.2	0.5	83.5	79.7	87.0
オーストリア	18.6	67.4	3.7	8.0	2.3	67.4	62.7	72.0
ベルギー	10.0	79.6	1.3	6.7	2.4	79.6	77.2	82.1
チリ	6.0	61.9	2.1	24.7	5.3	61.9	58.4	66.0
デンマーク	9.6	79.6	0.7	8.5	1.6	79.6	76.2	82.9
スペイン	8.5	67.2	2.6	18.9	2.7	67.2	63.2	71.2
フランス	7.9	85.6	0.8	4.6	1.2	85.6	83.9	87.2
ハンガリー	13.8	75.0	3.8	5.8	1.7	75.0	70.1	80.1
アイルランド	13.4	75.9	1.3	7.8	1.6	75.9	69.4	82.5
アイスランド	8.5	83.6	1.0	5.1	1.8	83.6	79.2	87.5
韓国	4.1	93.7	0.2	1.9	0.1	93.7	92.5	95.0
ノルウェー	5.6	84.3	0.8	7.9	1.3	84.3	83.4	85.3
ニュージーランド	8.1	84.0	1.0	5.7	1.3	84.0	80.6	87.5
ポーランド	11.8	76.9	2.4	7.6	1.3	76.9	73.1	80.6
スウェーデン	7.3	82.9	1.6	6.0	2.2	82.9	78.0	87.6
OECD平均	9.1	78.4	1.6	9.1	1.9	78.4	74.9	81.9
コロンビア	11.4	43.7	6.5	33.9	4.5	43.7	42.2	45.2
香港	8.8	73.9	0.5	15.1	1.7	73.9	72.9	75.1
マカオ	5.4	76.3	0.6	15.2	2.4	76.3	74.9	77.8

(注) 正答率は、正答2に解答した生徒の割合である。

● 問3

手助けしたい - マイカのブログ - ホーム - E005P24 - Internet Browser

アドレス <http://www.maikasblog.com/index.html>

マイカのブログ

## 16才から始まる人生

**1月1日 - 火曜日**

明けましておめでとう！  
今日ブログをアップしたのは、私の新年の決意を早くみんなに知らせたかったからなの。今年はボランティアをする年しようと思ったんだ(マジで)。  
ボランティアの仕事を探すつもり。  
昨年、私が短期のボランティアを何回かしたの覚えているかもしれないね。とてもいい経験だったんだけど、今年は1年間くらい長期の仕事をしたいの。そうしたら、本当の意味で他人の人生に関わることが出来るでしょう。まずは、[www.iwantohelp.org](http://www.iwantohelp.org)から始めてみようと思うんだけど、このサイトを利用したことある人いる？

[コメント](#)

**1月6日 - 日曜日**

今日は友だちのリュウタが、私がボランティアに興味がある本当の理由は？なんて質問してきて、昼食を食べながら激しく議論してしまいました。リュウタは、今どきボランティアを募集しようと思ったら、ボランティアしたらどんなメリットがあるのか、先に知らせておかないと人なんて集まらないんだって言ってゆずらないの。どうやったら他人を助けられるかなんて、

**目次**  
[ホーム](#)  
[このサイトについて](#)  
[連絡先](#)

  
**プロフィール**  
「16才から始まる人生」はM.マイカの個人的なブログです。  
[詳しいプロフィールを読む](#)

**手助けしたい 問3** [E005P03]  
マイカの1月1日の日記の中にあるリンクを開いてください。このウェブサイトの主な目的は何ですか。

- 「手助けしたい」の製品を買うようにすすめること
- お金に困っている人に募金するようにすすめること
- ボランティアでお金をかせぐ方法を説明すること
- ボランティアをする方法について情報を提供すること
- ボランティアを必要としている人にどこで支援が得られるかを教えること

問3の出題の意図は次のとおりである。

- 問題の形式：多肢選択
- テキストの環境：静的
- テキストの形式：複合型
- テキスト・タイプ：議論
- 側面：統合・解釈
- 用途・状況：職業的

問3の正答は4番目の「ボランティアをする方法について情報を提供すること」であり、結果は表31に示した(反応率の番号は、選択肢の上から1、2、3、4、5を指す)。

問3は、最初のページからリンク先に移動し、その中に出てくる情報の中から、そのサイトの目的が何かを理解することが求められる問題である。問題の難易度はレベル2(462点)で、正答率のOECD平均は69%、日本は64%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が66%、女子が73%、日本は男子が62%、女子が67%である。



表 31 「手助けしたい」に関する問3の結果

国名	反応率						正答率		
	1	2	3	4	5	無答・他	全体	男子	女子
日本	5.6	9.0	0.9	64.3	18.1	2.1	64.3	61.6	67.2
オーストラリア	3.3	8.3	3.5	81.4	2.7	0.8	81.4	79.0	83.6
オーストリア	9.8	17.4	11.1	54.2	5.3	2.2	54.2	52.4	55.9
ベルギー	5.1	6.6	5.8	75.5	5.8	1.1	75.5	74.4	76.7
チリ	9.9	8.7	8.9	59.8	8.9	3.9	59.8	55.7	64.6
デンマーク	5.6	9.6	10.0	70.1	3.7	1.1	70.1	69.4	70.7
スペイン	6.4	11.9	7.0	64.5	8.5	1.7	64.5	64.1	65.0
フランス	2.9	7.7	5.7	72.5	9.5	1.7	72.5	70.2	74.7
ハンガリー	12.7	12.5	14.6	50.9	6.9	2.4	50.9	47.7	54.1
アイルランド	6.5	10.5	4.3	72.3	4.3	2.1	72.3	65.7	79.0
アイスランド	3.9	6.1	4.2	80.4	3.9	1.6	80.4	72.8	87.1
韓国	0.0	2.4	0.6	83.6	13.1	0.2	83.6	81.1	86.5
ノルウェー	4.3	13.1	6.9	68.6	5.5	1.6	68.6	65.0	72.3
ニュージーランド	3.4	7.3	4.6	78.6	5.0	1.1	78.6	73.1	84.1
ポーランド	6.2	12.7	6.7	65.5	7.5	1.4	65.5	58.6	72.3
スウェーデン	5.0	11.4	8.6	64.6	9.1	1.2	64.6	57.6	71.2
OECD平均	5.7	9.7	6.5	69.2	7.4	1.6	69.2	65.5	72.8
コロンビア	16.1	11.7	11.5	40.4	15.5	4.7	40.4	39.3	41.4
香港	1.5	7.0	2.8	80.2	7.0	1.6	80.2	76.0	85.1
マカオ	2.6	6.6	2.2	77.8	8.4	2.3	77.8	73.2	82.5

(注) 正答率は、正答 4 に解答した生徒の割合である。

● 問 4

問4の出題の意図は次のとおりである。

問題の形式：自由記述

テキストの環境：混成型

テキストの形式：複合型

テキスト・タイプ：特定できないもの

側面：複合されたもの

用途・状況：職業的

問4の採点基準は以下のとおりであり、結果は表32に示した。

「手助けしたい」の問4の採点基準	
<p>※生徒の解答が複数だった場合（募集されているのは「グラフィック・アーティスト」「ベジタリアン祭」「双子滝道路の修復作業手伝い求む!」「上井小学校」の4つ）、すべての解答を検討し、最も良い採点が付された解答の得点を採用する。</p>	
コード	解答
「グラフィック・アーティスト」についてのメール	
完全正答	
2	<p><u>すでに募集中のものや活動期間がこれからのもの、ウェブ・デザインや芸術関係の募集、あるいは、(子ども)に教えたり、元気づけることで影響を与えること</u>について言及している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 君は芸術の才能を持っているし、これはいつでも始められる募集だよ。長く続けられる方が良いつて言ってなかったっけ？</li> <li>● すでに募集中の活動だし、あなたの将来の仕事にも役立つと思います。</li> <li>● あなたは、グラフィック・デザインにとっても関心があるし、学校を卒業したらその道に進みたいんでしょう。ボランティア活動も好きになると思うよ。どちらにとっても素晴らしい機会だし、自分の経歴につけ加えるにもいいんじゃない！</li> <li>● 何千人もの人を元気づけることができるかもしれない。</li> </ul>
部分正答	
1	<p><u>不十分な答え、もしくは漠然とした答え</u>をあげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 気にいると思うよ。</li> </ul> <p><u>募集の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答え</u>をあげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもと一緒にたくさん活動できるよ。(無関係。マイカの持っている基準ではない)</li> <li>● 外に出てまわる機会になると思います。</li> </ul> <p><u>理解できない答えや、不完全な答え。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 君ならできる。</li> <li>● マイカ</li> </ul>
誤答／無答	
0	適用なし

9	無答
「ベジタリアン祭」についてのメール	
誤答／無答	
0	全ての解答
9	無答
「双子滝道路の修復作業手伝い求む！」についてのメール	
誤答／無答	
0	全ての解答
9	無答
「上井小学校」についてのメール	
完全正答	
2	<p>すでに募集中のものや、子どもと働くことの影響力について言及している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● これは良い仕事でしょう。現在募集中だし、子どもたちを助けることができる。</li> <li>● お手本になることで、本当の意味で人に影響を与える仕事があるよ。</li> <li>● これは募集中です。</li> </ul>
部分正答	
1	<p>不十分な答え、もしくは漠然とした答えをしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 1週間につき1時間必要だけど、これがあなたが探している仕事なんじゃないかな。（活動の特徴についての言及がなく、課題文の一部の繰り返し）</li> <li>● 気に入ると思うよ。</li> <li>● 分からない。</li> </ul> <p>募集の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答えをあげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 外に出てまわる機会になると思います。</li> </ul> <p>理解できない答えや、不完全な答え。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒たち</li> </ul>
誤答／無答	
0	適用なし
9	無答

問4は、マイカに適するボランティアの募集を見つけ、それがなぜマイカに適した募集と言えるのかという理由も示しながら、マイカにメールで教えるという問である。すなわち、複雑なナビゲーションを組み合わせて、複雑なテキストの中から必要な情報を探し出し、その上で情報の中の4つの可能性から1つを選び、それを選択した短い理由を書いて、メッセージを送ることが求められる問題である。問題の難易度は、完全正答でレベル4(567点)、部分正答でレベル3(525点)である。正答率のOECD平均は51%、日本は62%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が48%、女子が55%、日本は男子が57%、女子が68%である。

表 32 「手助けしたい」に関する問4の結果

国名	反応率				正答率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答・他	全体	男子	女子
日本	54.7	15.1	3.8	26.4	62.3	57.0	67.8
オーストラリア	62.3	13.4	1.7	22.6	69.0	64.0	73.7
オーストリア	26.8	12.0	3.2	58.0	32.8	32.3	33.2
ベルギー	46.5	10.4	5.8	37.2	51.7	46.9	56.6
チリ	19.6	15.5	5.5	59.4	27.4	26.7	28.1
デンマーク	41.0	18.2	6.9	33.9	50.1	49.7	50.5
スペイン	35.9	19.4	5.6	39.1	45.6	41.2	50.0
フランス	37.7	11.7	5.7	44.9	43.6	43.3	43.9
ハンガリー	26.1	15.0	8.2	50.7	33.6	31.4	35.9
アイルランド	49.0	14.9	3.5	32.6	56.5	50.1	63.0
アイスランド	57.5	14.8	5.8	21.9	64.9	55.3	73.4
韓国	68.6	12.4	2.2	16.8	74.8	72.2	77.7
ノルウェー	53.2	14.7	5.5	26.7	60.5	55.2	65.9
ニュージーランド	65.0	10.2	1.9	22.8	70.1	63.7	76.5
ポーランド	18.0	7.4	1.8	72.7	21.7	23.7	19.8
スウェーデン	44.0	15.1	7.5	33.3	51.6	47.8	55.2
OECD平均	44.1	13.8	4.7	37.4	51.0	47.5	54.5
コロンビア	8.4	9.8	3.5	78.4	13.2	13.8	12.7
香港	45.7	16.7	3.7	33.9	54.0	52.3	56.0
マカオ	39.1	21.9	3.2	35.8	50.1	45.5	54.7

(注) 正答率は、完全正答した生徒の割合に部分正答の生徒の割合を 0.5 倍して加えたものである。

## (2) 「匂い」に関する問題

### ● 問 1

匂い(におい) - グローバル検索 - E006P01 - Internet Browser  
アドレス http://www.globalsearch.jp/  
グローバル検索

グローバル  
検索

匂い におい 検索

- **匂い:入門編**  
生物にとって匂いほどの役割を持っているのでしょうか。生物学の学生を対象にした入門編... 現在の研究プロジェクト...  
[www.biology.litfernuni.edu.jp/smell/index.html](http://www.biology.litfernuni.edu.jp/smell/index.html)
- **匂い - オンライン百科事典**  
...匂いに対する感覚を表現します。ヒトや動物は匂いを手がかりに...匂いコードは ソースコード内の目印で(匂いコード)は ...  
[www.jp.onlineencyclopaedia.org/Smell](http://www.jp.onlineencyclopaedia.org/Smell)
- **ニュースのなかの食品**  
ピザの匂いは人間の行動を変えることも... 人間の匂いの感覚に潜む能力に関する研究が続けられ...  
[www.whatsinthenews.com/articles/inn.asp?id=4381](http://www.whatsinthenews.com/articles/inn.asp?id=4381)
- **現代の心理学**  
『現代の心理学』の見本誌を無料でプレゼント中。年間購読なら61%もお得に...レモンの匂いではなんと ...  
[www.psychologynow.com/articles/id=672.html](http://www.psychologynow.com/articles/id=672.html)

匂い:問1 [E006Q02]  
「匂い:入門編」のページに移動してください。このページでもっとも言いたいことを表現している文は次のうちどれですか。

- 匂いは通常の行動パターンを邪魔(じゃま)することがある
- 匂いは人や動物に危険を知らせる
- 嗅覚(きゅうかく)の基本的な目的は動物が食べ物を探すことである
- 嗅覚(きゅうかく)は生まれてすぐに発達する
- 匂いをかぐことの基本的なはたらきは識別することである

問 1 の出題の意図は次のとおりである。

問題の形式：多肢選択

テキストの環境：静的

テキストの形式：複合型

テキスト・タイプ：解説

側面：統合・解釈

用途・状況：公的

問 1 の正答は 5 番目の「匂いをかぐことの基本的なはたらきは識別することである」であり、結果は表 33 に示した（反応率の番号は、選択肢の上から 1、2、3、4、5 を指す）。

問 1 は、最初のページから指示されたページに移動し、そのページの中の情報からテキストの主な考えを把握する問題である。すなわち、まずは、最初のページに示されている 6 つの「匂い」に関連するサイトの中から 1 つのサイトを選択し、次に、移動したページ全体を読むためにタブを使ったり、スクロールするなどの操作が必要となる。必要な情報が含まれるテキストは、科学用語などが用いられ、文字数が多いのが特徴である。また、リンク先には「現在情報がありません」などのメッセージが出てくるようになっているものもあり、必要な情報を探し出すのに比較的時間がかかる。このため、この問題の難易度はレベル 4（572 点）となっている。正答率の OECD 平均は 42%、日本は 33% である。

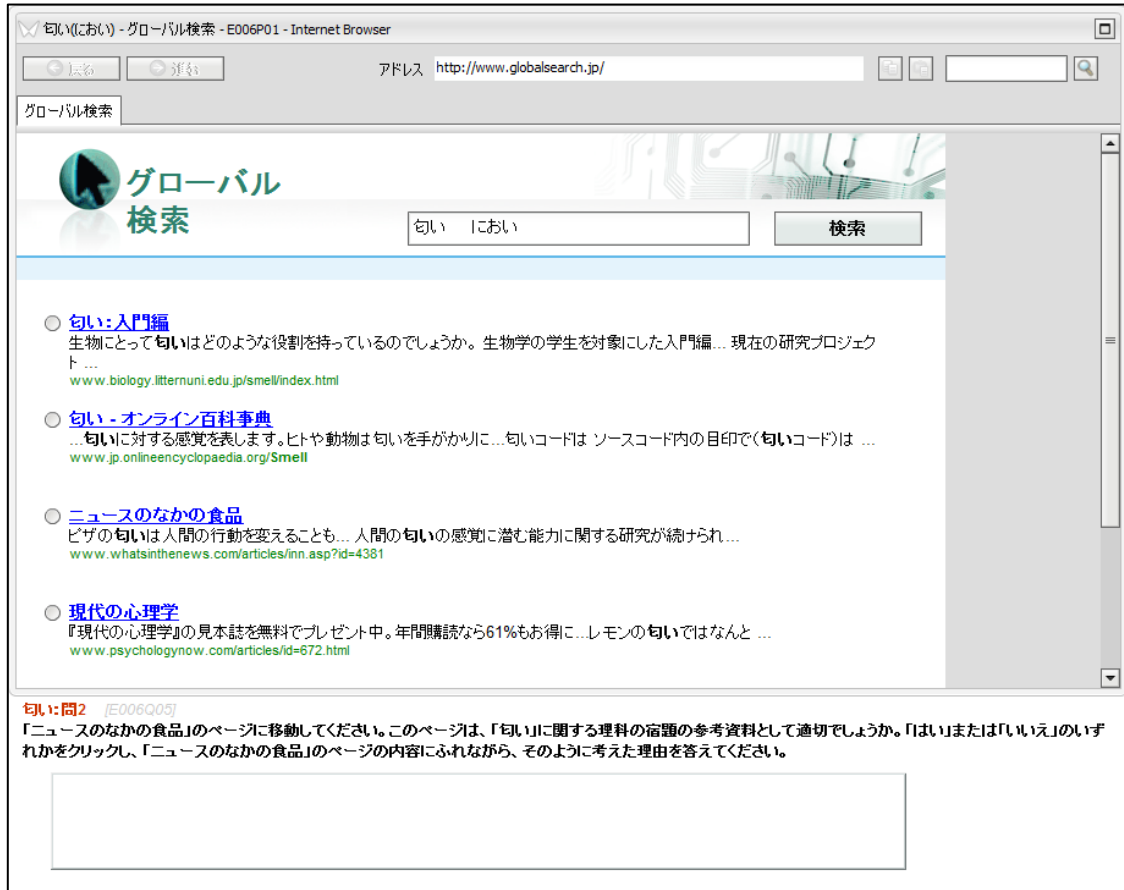
男女別の正答率は、OECD 平均で男子が 40%、女子が 45%、日本は男子が 32%、女子が 34%である。

表 33 「匂い」に関する問 1 の結果

国名	反応率						正答率		
	1	2	3	4	5	無答・他	全体	男子	女子
日本	1.3	40.6	5.2	18.8	32.7	1.4	32.7	31.7	33.8
オーストラリア	10.4	18.1	5.4	10.6	53.4	2.1	53.4	51.3	55.5
オーストリア	10.8	35.0	13.9	10.7	26.1	3.6	26.1	22.0	30.0
ベルギー	5.5	28.7	9.5	12.0	40.7	3.5	40.7	40.5	41.0
チリ	8.7	16.4	8.5	10.5	47.6	8.2	47.6	42.2	53.9
デンマーク	10.9	25.8	8.8	17.9	34.3	2.2	34.3	30.0	38.5
スペイン	10.9	18.2	8.4	10.3	48.9	3.3	48.9	43.6	54.2
フランス	3.1	27.4	8.7	17.0	41.1	2.8	41.1	43.2	39.1
ハンガリー	4.7	27.8	11.0	8.6	42.9	5.0	42.9	40.9	44.9
アイルランド	8.1	31.7	6.8	11.9	37.4	4.1	37.4	36.0	38.9
アイスランド	8.2	14.7	6.5	14.6	52.7	3.4	52.7	46.5	58.3
韓国	2.7	19.6	2.3	12.1	62.8	0.6	62.8	60.5	65.3
ノルウェー	7.3	26.0	4.5	12.6	47.4	2.2	47.4	43.5	51.3
ニュージーランド	9.3	18.2	5.9	10.5	53.3	2.8	53.3	47.9	58.6
ポーランド	11.3	40.4	16.8	14.4	11.8	5.3	11.8	12.0	11.6
スウェーデン	3.4	29.5	7.0	15.0	43.4	1.8	43.4	40.4	46.2
OECD平均	7.3	26.1	8.1	13.0	42.3	3.3	42.3	39.5	45.1
コロンビア	11.0	21.3	13.7	5.1	41.3	7.6	41.3	39.0	43.7
香港	7.7	31.7	4.6	5.0	49.5	1.5	49.5	50.7	48.2
マカオ	11.1	27.8	5.9	9.1	42.8	3.3	42.8	38.5	47.0

(注) 正答率は、正答 5 に解答した生徒の割合である。

● 問 2



問 2 の出題の意図は次のとおりである。

- 問題の形式：自由記述
- テキストの環境：静的
- テキストの形式：複合型
- テキスト・タイプ：解説
- 側面：熟考・評価
- 用途・状況：公的

問 2 の採点基準は以下に、結果は表 34 に示した。

「匂い」の問 2 の採点基準	
コード	解答
正答	
1	<p>「<u>いいえ</u>」と（あるいは、それとわかるように）答え、かつ、適切な説明をしている。説明のなかで、<u>ウェブサイトの内容がわからない、またはセン動的である</u>ということか、<u>ジャーナリストによって問題が通俗的なものになってしまったこと</u>か、あるいは、<u>サイトの情報源について明確にしていないこと</u>について言及している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>いいえ</u>。このページは科学の大衆化でしかなく、もともとの研究を単純化し過ぎている。</li> <li>● <u>いいえ</u>。話題を振りまくだけのニュースでしかありません。このサイト</li> </ul>

	<p>で取り上げられているのは、中身のなさそうな記事ばかりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● いいえ。このサイトは明らかに一般的なニュース雑誌であって、学術的な情報ではありません。</li> <li>● いいえ。真面目なウェブサイトには見えない、くだらないリンクがたくさんあります。</li> <li>● いいえ。科学者ではなくて記者によって書かれているから、適当ではない。</li> </ul> <p>「はい」と（あるいは、それとわかるように）答え、かつ、より信頼性の高い情報源へと導くことがあるので、このサイトは<u>二次的な情報源としては有用である</u>ことを示した答え。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はい。元の研究を探すのに役立つそうだから。</li> <li>● はい。より真面目な論文に同じことが書かれているかどうかを確認する場合には使えそうだから。</li> </ul> <p>「はい」と（あるいは、それとわかるように）答え、かつ、記事の情報源または書かれている詳細部分にふれながら、説得力のある適切な説明をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はい。実際の研究について書かれた記事だから。</li> <li>● はい。実際の複数の調査結果について述べているから。</li> <li>● はい。ノーベル賞を獲得した研究について述べているので、本当であるはずだ。</li> <li>● はい。調査結果の詳細が述べられているので、作り話とは思えない。</li> </ul>
誤答／無答	
0	<p><u>不十分な答え、もしくは漠然とした答えをあげている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はい。「ニュースのなかの食品」ページが示していた研究結果は、独断的ではなく信頼できるように感じられたので、説得力があった。（曖昧）</li> <li>● 人間の嗅覚に潜む能力について述べているので信頼できるようには思えない。（曖昧）</li> <li>● はい。長い記事だから。これら全部をでっちあげているとは考えられない。</li> <li>● いいえ。私の先生は感銘を受けそうにもない。</li> </ul> <p>課題文の<u>理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答えをあげている。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● はい。なんといっても自動車団体が行っているから。（無関係）</li> <li>● 匂いが人の気分を与える影響について述べているから信頼できそうに思う。（無関係）</li> </ul>
9	無答

問2は、最初のページから指示されたページに移動し、そのページの中の情報が、ある特定の文脈において利用するのに適切といえるかどうかを、理由を挙げて答えさせる問題



である。正答は、適切とは言えない場合（「いいえ」の解答）も、適切と言える場合（「はい」の解答）もあるが、それぞれそのサイトの内容の信頼性について言及していること、すなわち情報源が示されている、あるいは示されていないなど、適切な説明をしているかどうかポイントとなってくる。問題の難易度はレベル5以上（657点）で、公開されたデジタル読解力調査問題3ユニットの10題台中、最も高い難易度が設定されている。正答率のOECD平均は27%、日本は39%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が24%、女子が30%、日本は男子が35%、女子が44%である。

表 34 「匂い」に関する問2の結果

国名	反応率			正答率		
	正答	誤答	無答・他	全体	男子	女子
日本	39.2	47.5	13.4	39.2	34.6	43.8
オーストラリア	42.6	52.8	4.7	42.6	38.7	46.2
オーストリア	11.1	72.0	16.9	11.1	9.3	12.9
ベルギー	32.7	59.7	7.6	32.7	29.2	36.3
チリ	28.2	54.6	17.2	28.2	24.3	32.8
デンマーク	20.3	71.8	7.9	20.3	19.1	21.6
スペイン	32.5	60.1	7.4	32.5	27.9	37.2
フランス	34.3	58.3	7.4	34.3	33.6	34.9
ハンガリー	10.1	72.6	17.2	10.1	10.4	9.9
アイルランド	22.8	69.0	8.2	22.8	19.7	26.1
アイスランド	19.7	72.6	7.7	19.7	17.3	21.8
韓国	26.7	69.5	3.8	26.7	23.8	29.9
ノルウェー	25.0	66.7	8.3	25.0	23.1	26.9
ニュージーランド	40.1	53.5	6.4	40.1	34.3	46.0
ポーランド	17.8	71.1	11.1	17.8	15.6	20.0
スウェーデン	25.4	66.2	8.4	25.4	22.7	28.0
OECD平均	26.8	63.6	9.6	26.8	24.0	29.6
コロンビア	12.2	70.6	17.2	12.2	8.7	15.7
香港	13.9	77.4	8.8	13.9	10.7	17.6
マカオ	22.2	70.4	7.4	22.2	19.6	24.7

● 問 3

匂い(におい) - グローバル検索 - E006P01 - Internet Browser  
 アドレス http://www.globalsearch.jp/  
 グローバル検索

**グローバル検索**

匂い におい 検索

- **匂い:入門編**  
 生物にとって匂いとはどのような役割を持っているのでしょうか。生物学の学生を対象にした入門編... 現在の研究プロジェクト...  
[www.biology.liternuni.edu.jp/smell/index.html](http://www.biology.liternuni.edu.jp/smell/index.html)
- **匂い - オンライン百科事典**  
 ...匂いに対する感覚を表します。ヒトや動物は匂いを手がかりに... 匂いコードは ソースコード内の目印で(匂いコード)は ...  
[www.jp.onlineencyclopaedia.org/Smell](http://www.jp.onlineencyclopaedia.org/Smell)
- **ニュースのなかの食品**  
 ピザの匂いは人間の行動を変えることも... 人間の匂いの感覚に潜む能力に関する研究が続けれ...  
[www.whatsinthenews.com/articles/inn.asp?id=4381](http://www.whatsinthenews.com/articles/inn.asp?id=4381)
- **現代の心理学**  
 『現代の心理学』の見本誌を無料でプレゼント中。年間購読なら61%もお得に... レモンの匂いではなんと ...  
[www.psychologynow.com/articles/id=672.html](http://www.psychologynow.com/articles/id=672.html)

**匂い:問3** [E006Q06]  
 「ニュースのなかの食品」と「現代の心理学」の両方のページに、レモンの匂いのことが書かれています。レモンの匂いに関する二つの研究の結論をまとめた文は、次のうちどれでしょうか。

- 両方の研究とも、レモンの匂いは作業をすばやく行なわせる働きがあることを示している
- 両方の研究とも、レモンの匂いは多くの人に好まれていることを示している
- 両方の研究とも、レモンの匂いは集中力を高める作用があることを示している
- 両方の研究とも、女性のほうが男性よりもレモンの匂いを敏感に感じ取ることが示している

問3の出題の意図は次のとおりである。

- 問題の形式：多肢選択
- テキストの環境：静的
- テキストの形式：複合型
- テキスト・タイプ：解説
- 側面：統合・解釈
- 用途・状況：公的

問3の正答は3番目の「両方の研究とも、レモンの匂いは集中力を高める作用があることを示している」であり、結果は表35に示した（反応率の番号は、選択肢の上から1、2、3、4を指す）。

問3は、指定された2つのページの情報を比較して、2つのページに示されている情報に共通する結論を把握する問題である。問題の難易度はレベル3（485点）である。正答率のOECD平均は64%、日本は79%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が62%、女子が66%、日本は男子が77%、女子が81%である。

表 35 「匂い」に関する問3の結果

国名	反応率					正答率		
	1	2	3	4	無答・他	全体	男子	女子
日本	6.2	6.5	78.5	6.3	2.4	78.5	76.6	80.5
オーストラリア	7.0	8.4	71.3	11.2	2.0	71.3	69.7	72.8
オーストリア	9.3	15.1	55.4	16.6	3.6	55.4	53.6	57.1
ベルギー	7.9	9.1	66.3	14.4	2.4	66.3	63.7	68.9
チリ	14.0	14.8	48.4	12.3	10.4	48.4	49.8	46.7
デンマーク	10.2	9.1	65.9	13.1	1.7	65.9	66.3	65.6
スペイン	10.3	9.9	63.2	12.7	4.0	63.2	62.1	64.2
フランス	6.6	12.5	63.9	14.2	2.9	63.9	64.0	63.9
ハンガリー	11.7	16.9	50.7	16.5	4.2	50.7	44.9	56.5
アイルランド	8.8	9.9	60.9	15.5	4.9	60.9	59.7	62.1
アイスランド	8.9	8.3	68.2	10.4	4.2	68.2	62.2	73.5
韓国	9.1	2.1	78.6	9.6	0.7	78.6	78.3	78.9
ノルウェー	11.6	11.0	59.7	15.3	2.4	59.7	55.9	63.6
ニュージーランド	8.0	8.2	67.1	13.6	3.1	67.1	61.8	72.3
ポーランド	12.3	16.0	54.7	13.5	3.4	54.7	48.4	61.0
スウェーデン	7.0	11.0	70.0	9.5	2.5	70.0	66.9	72.9
OECD平均	9.3	10.6	63.9	12.8	3.4	63.9	61.5	66.3
コロンビア	16.7	25.4	33.7	16.5	7.8	33.7	34.2	33.2
香港	14.1	6.4	67.9	9.3	2.3	67.9	67.5	68.3
マカオ	9.6	5.2	69.5	11.7	4.0	69.5	67.6	71.4

(注) 正答率は、正答3に解答した生徒の割合である。

### (3) 「お仕事検索ネット」に関する問題

#### ● 問1

The screenshot shows a web browser window with the URL <http://www.oshigoto-net.jp/jobs.html>. The page title is "お仕事検索ネット" (Job Search Network). Below the title, there is a navigation bar with buttons for "登録情報" (Registration Information), "本日の求人" (Today's Job Openings), and "私の履歴書" (My Resume). The "本日の求人" section is active and displays two job listings:

- カフェのアルバイト・スタッフ  
平日の昼間に働くカフェのアルバイト・スタッフを募集しています。  
[接資](#) > [接資係](#)
- ジュース・バーのスタッフ  
素敵なアルバイトをお探しですか？ 人生を楽しみ、すばらしい仲間との交流ができると思いますか？  
もしそうなら、<ぜひ！>私たちのチームの一員になってください。午後5時からの勤務が可能です。  
[接資](#) > [飲食スタッフスタッフ](#)

At the bottom, there is a section for "お仕事検索ネット: 問1 [E012P01]" with the text: "これは、求人情報を掲載しているウェブサイトのページです。この中で高校生にもっとも通じた仕事はどれですか。それぞれの求人情報の左側にあるボタンをクリックしてください。"

問1の出題の意図は次のとおりである。

- 問題の形式：多肢選択
- テキストの環境：静的
- テキストの形式：非連続型
- テキスト・タイプ：記述
- 側面：熟考・評価
- 用途・状況：職業的

問1の正答は2番目の「ジュース・バーのスタッフ」であり、結果は表36に示した（反応率の番号は、選択肢の上から1、2、3、4を指す）。

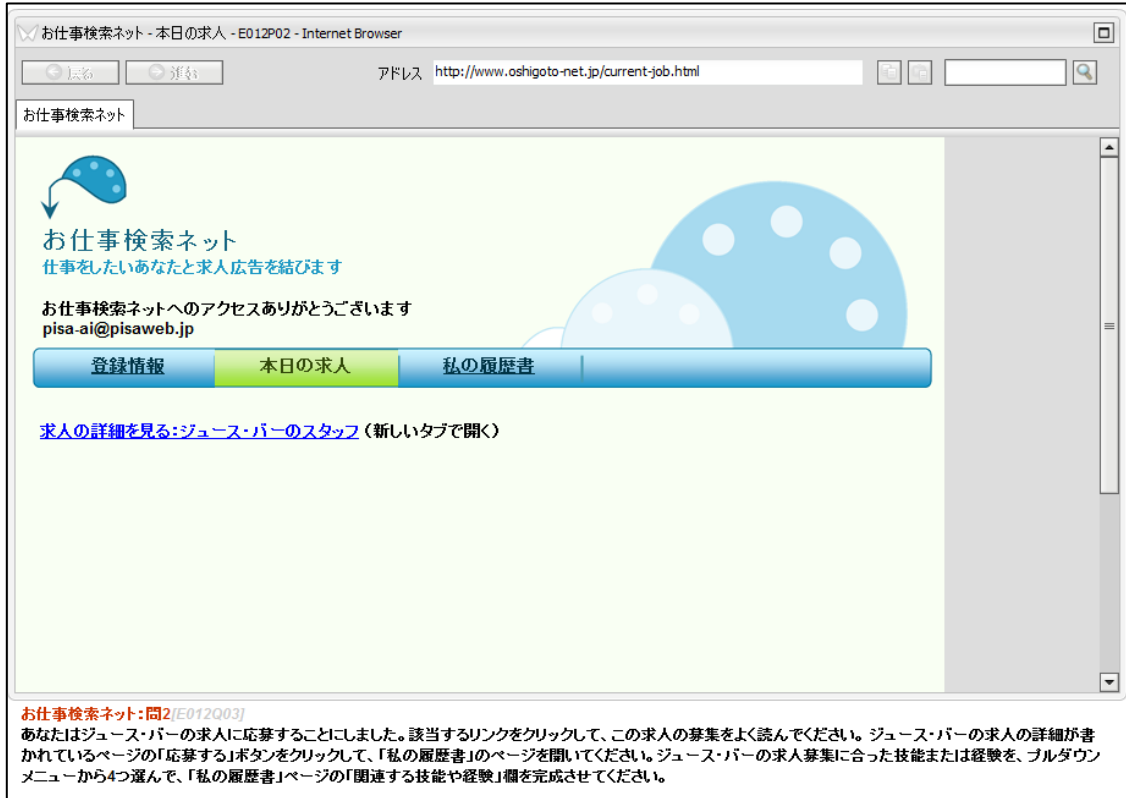
問1は、最初のページにある情報の中で最も適したものを、ボタンをクリックすることによって解答（選択）する問題である。問題の難易度はレベル2（463点）である。正答率のOECD平均は67%、日本は75%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が64%、女子が70%、日本は男子が74%、女子が75%である。

表 36 「お仕事検索ネット」に関する問1の結果

国名	反応率					正答率		
	1	2	3	4	無答・他	全体	男子	女子
日本	13.9	75.1	3.1	5.5	2.5	75.1	74.2	75.9
オーストラリア	13.1	79.8	2.1	2.4	2.6	79.8	76.6	82.8
オーストリア	26.8	42.4	10.5	14.8	5.5	42.4	40.5	44.3
ベルギー	17.2	62.2	6.8	11.3	2.4	62.2	57.4	67.1
チリ	17.7	56.6	11.9	4.9	9.0	56.6	57.3	55.7
デンマーク	23.2	64.4	2.9	8.8	0.8	64.4	63.2	65.5
スペイン	16.8	55.2	15.3	9.5	3.2	55.2	52.6	57.8
フランス	12.1	69.5	6.5	10.7	1.1	69.5	68.1	70.9
ハンガリー	19.6	58.7	7.9	7.6	6.2	58.7	56.8	60.6
アイルランド	11.5	77.1	4.1	4.9	2.4	77.1	71.2	83.2
アイスランド	7.9	72.2	8.0	10.2	1.7	72.2	67.2	76.6
韓国	6.9	84.8	4.5	3.6	0.2	84.8	82.7	87.1
ノルウェー	13.6	63.7	3.1	18.0	1.5	63.7	59.4	68.1
ニューージーランド	10.9	82.1	3.0	1.5	2.5	82.1	77.1	87.0
ポーランド	17.9	60.6	8.7	8.3	4.5	60.6	58.7	62.4
スウェーデン	23.4	67.3	2.1	6.0	1.2	67.3	65.7	68.8
OECD平均	15.8	67.0	6.3	8.0	2.9	67.0	64.3	69.6
コロンビア	16.3	40.8	28.4	3.2	11.3	40.8	42.2	39.4
香港	18.5	72.1	4.2	4.3	0.8	72.1	69.3	75.3
マカオ	18.9	68.2	7.6	4.4	0.9	68.2	66.1	70.2

(注) 正答率は、正答2に解答した生徒の割合である。

● 問 2



問 2 の出題の意図は次のとおりである。

- 問題の形式：複合的多肢選択
- テキストの環境：動的
- テキストの形式：複合型
- テキスト・タイプ：記述
- 側面：統合・解釈
- 用途・状況：職業的

問 2 の採点基準は以下に、結果は表 37 に示した。

「お仕事検索ネット」の問 2 の採点基準	
コード	解答
完全正答	
2	以下の 4 つが選択されている（順不同）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 食器洗いを手際よくできる：レストランさくらで働いた経験がある</li> <li>● 指示に正しく従える：キッチンの安全規則に毎日従った</li> <li>● 食品の取扱いの知識と下ごしらえの経験がある：レストランさくらで働いた</li> <li>● 協調性がある：昨年のスポーツチームプレーヤー賞を受賞した</li> </ul>
部分正答	
1	以下の 4 つの内、3 つが選択されている（順不同）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 食器洗いを手際よくできる：レストランさくらで働いた経験がある</li> <li>● 指示に正しく従える：キッチンの安全規則に毎日従った</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品の取扱いの知識と下ごしらえの経験がある：レストランさくらで働いた</li> <li>● 協調性がある：昨年のスポーツチームプレーヤー賞を受賞した</li> </ul>
誤答／無答	
0	その他の答え
9	無答

問2は、インターネットを使って求人募集に応募するもので、問題の指示に従って「私の履歴書」のページまで移動し、求人募集に合った技能または経験をプルダウンメニューから4つ選ぶ問題である。問題の難易度は、完全正答がレベル4（624点）で、部分正答がレベル2（462点）ある。正答率のOECD平均は51%、日本は58%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が48%、女子が54%、日本は男子が58%、女子が59%である。

表 37 「お仕事検索ネット」に関する問2の結果

国名	反応率				正答率		
	完全正答	部分正答	誤答	無答・他	全体	男子	女子
日本	35.4	45.9	10.4	8.4	58.3	58.1	58.5
オーストラリア	40.5	43.1	9.4	6.9	62.1	58.5	65.4
オーストリア	24.3	38.1	19.1	18.5	43.3	40.0	46.5
ベルギー	27.4	44.0	16.7	11.9	49.4	47.1	51.7
チリ	8.6	38.2	22.1	31.1	27.7	25.7	30.0
デンマーク	33.5	39.8	16.4	10.3	53.4	52.2	54.6
スペイン	15.7	42.7	24.7	16.9	37.0	35.5	38.6
フランス	26.5	48.3	14.0	11.2	50.7	48.3	52.9
ハンガリー	20.6	31.5	20.0	27.8	36.4	34.0	38.8
アイルランド	33.6	42.8	11.5	12.1	55.0	50.4	59.8
アイスランド	36.0	36.4	13.2	14.4	54.2	48.4	59.4
韓国	60.1	29.9	7.2	2.8	75.1	72.0	78.5
ノルウェー	25.2	46.2	15.9	12.6	48.3	45.0	51.6
ニュージーランド	41.7	43.2	8.1	7.0	63.3	59.9	66.7
ポーランド	25.4	34.0	21.2	19.4	42.5	37.0	47.9
スウェーデン	43.9	34.2	10.3	11.5	61.0	58.6	63.4
OECD平均	31.2	39.9	15.0	13.9	51.1	48.2	54.0
コロンビア	5.5	25.5	19.2	49.8	18.2	18.2	18.3
香港	27.8	50.1	13.6	8.5	52.8	52.0	53.8
マカオ	27.1	45.0	21.1	6.8	49.7	45.0	54.1

● 問 3

お仕事検索ネット - ジュース・バー - E012P03 - Internet Browser  
 アドレス http://www.oshigoto-net.jp/juicebar.html

ジュース・バー

ジュース・バー

私どもの最も活気のある店の一つで、スタッフを募集しています。販売や接客の経験者を希望しますが、未経験者でも大丈夫です。お客様を喜ばせたいという情熱を持っていただくと私たちも大歓迎です。

私どもが求めているのは次のような方です。

- 上司の指示を守る人
- チームの一員として協力しながら働く人
- てきぱき仕事ができる人
- もちろん、フルーツをいじってジュースを作る人！

同じシフトで週2回勤務できることが条件です。  
 今回募集するシフトは次のとおりです：

月曜日 午後5時 - 午後8時  
 火曜日 午後7時 - 午後9時  
 水曜日 午後5時 - 午後7時  
 木曜日 午後5時 - 午後7時  
 金曜日 午後7時 - 午後9時

注：採用者は、週あたり最大で2シフトの勤務が可能です。

お仕事検索ネット：問3 [E012Q05]  
 「注：採用者は、週あたり最大で2シフトの勤務が可能です。」とあります  
 雇用者は、なぜこのような条件で求人を行なっているのでしょうか。

問 3 の出題の意図は次のとおりである。

- 問題の形式：自由記述
- テキストの環境：静的
- テキストの形式：混成型
- テキスト・タイプ：記述
- 側面：熟考・評価
- 用途・状況：職業的

問 3 の採点基準は以下に、結果は表 38 に示した。

「お仕事検索ネット」の問 3 の採点基準	
コード	解答
正答	
1	<p>雇用者あるいは被雇用者にとって利益や保護があることに（はっきりと、あるいは、それとなく）言及した答え。答えは、<u>最大で2シフトしか勤務できないという条件、および同じシフトで週2回勤務するという条件に一致していなければならない</u>。被雇用者（求職者）の柔軟性、信頼度、有用性について言及していてもよいし、雇用者が被雇用者の福利について関心を持っているという点に言及していてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● たとえ誰かが数週間休んだとしても、お店は十分にまわしていただけるので、お店にとっては安全だから。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学生は、アルバイト以外にも優先してやらなければならないことがある。（シフトや被雇用者にとっての利益について言及している）</li> <li>● たいていの学生にとって、週に3シフト以上働くことはむずかしい。</li> <li>● 特定の人にだけ、頼るのは嫌だから。（リスク回避を意味している）</li> <li>● 働き始めたばかりの頃は、きちんと仕事がこなせないから。</li> <li>● 雇用者は、多くの人に働いてもらいたいと考えているから。</li> <li>● 雇用者は多くの人の笑顔が見たいから。</li> <li>● 従業員を消耗させたくないから。</li> <li>● とても大変な仕事なので、疲れ切ったあげくに辞めてほしくないから。</li> <li>● 誰かが辞めたり病気になった場合を想定して、多くの人材を確保しておきたいから。</li> <li>● ジュース・バーでの仕事はあわただしく、どんな人でも週3日以上はとも働けないから。</li> <li>● 仕事ができる人は、仕事以外にも興味関心や趣味を持っているので、そういった人たちが、好きなことができるようにするため。</li> <li>● 勉強中の学生や他の仕事を持っている人は、アルバイトで働くことはできても、朝から晩まで毎日働くことはできないから。</li> </ul>
誤答／無答	
0	<p>2回のシフトを最大ではなく最小の条件としている答え。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被雇用者が週1シフトしか働かない場合は、簡単には仕事に慣れないし、仕事の効率もあがらないので、雇用者はこのような条件を出している。（週当たり最大2シフトの考え方に対応していない）</li> </ul> <p>不十分な答え、もしくは漠然とした答えをあげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● そのほうが安全だから。（曖昧）</li> </ul> <p>課題文の理解が不正確、または説得力のない答え、無関係な答えをあげている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 被雇用者のシフトを同じにすることができるから、雇用者はこのような条件を提示している。（理解が不正確。すべての被雇用者のシフトを同じにする必要性については言及されていない）</li> <li>● お金を稼ぎすぎないように。（説得力がない）</li> <li>● 超過勤務とならないように。（説得力がない）</li> <li>● 毎週違う日に働いたほうが、自由度が高いから。（理解が不正確）</li> </ul>
9	無答

問3は、雇用者が提示している求人の条件について、なぜそのような条件を提示しているのかの理由を記述する問題である。問題の難易度はレベル3（558点）である。正答率のOECD平均は50%、日本は43%である。男女別の正答率は、OECD平均では男子が45%、女子が54%、日本は男子が40%、女子が47%である。



表 38 「お仕事検索ネット」に関する問3の結果

国名	反応率			正答率		
	正答	誤答	無答・他	全体	男子	女子
日本	43.4	32.6	24.0	43.4	40.1	46.8
オーストラリア	61.2	31.6	7.2	61.2	58.5	63.8
オーストリア	42.4	33.9	23.7	42.4	38.9	45.7
ベルギー	50.0	36.6	13.4	50.0	44.2	55.9
チリ	39.3	43.1	17.6	39.3	35.4	43.8
デンマーク	29.3	59.4	11.3	29.3	31.7	27.0
スペイン	50.8	35.7	13.5	50.8	48.2	53.3
フランス	43.6	39.1	17.3	43.6	38.5	48.4
ハンガリー	57.5	21.4	21.1	57.5	54.9	60.2
アイルランド	46.3	41.8	11.9	46.3	39.2	53.6
アイスランド	54.5	32.7	12.8	54.5	43.2	64.5
韓国	46.5	44.7	8.8	46.5	47.3	45.7
ノルウェー	63.1	23.6	13.3	63.1	56.4	69.7
ニュージーランド	63.1	27.8	9.1	63.1	57.3	68.8
ポーランド	46.7	28.3	25.0	46.7	43.3	50.1
スウェーデン	54.2	34.9	11.0	54.2	48.9	59.1
OECD平均	49.5	35.5	15.1	49.5	45.4	53.5
コロンビア	32.4	48.4	19.2	32.4	30.6	34.3
香港	37.6	45.8	16.6	37.6	38.5	36.5
マカオ	25.5	58.5	16.0	25.5	23.2	27.8

## IV. 付録

### 1. PISA2009 年調査結果の概要（分野別平均得点の国際比較）

総合読解力			「情報へのアクセス ・取り出し」		「統合・解釈」		「熟考・評価」	
順位	国・地域	得点	国・地域	得点	国・地域	得点	国・地域	得点
1	上海	556	上海	549	上海	558	上海	557
2	韓国	539	韓国	542	韓国	541	韓国	542
3	フィンランド	536	フィンランド	532	フィンランド	538	香港	540
4	香港	533	日本	530	香港	530	フィンランド	536
5	シンガポール	526	香港	530	シンガポール	525	カナダ	535
6	カナダ	524	シンガポール	526	カナダ	522	ニュージーランド	531
7	ニュージーランド	521	ニュージーランド	521	日本	520	シンガポール	529
8	日本	520	オランダ	519	ニュージーランド	517	オーストラリア	523
9	オーストラリア	515	カナダ	517	オーストラリア	513	日本	521
10	オランダ	508	ベルギー	513	オランダ	504	アメリカ	512
11	ベルギー	506	オーストラリア	513	ベルギー	504	オランダ	510
12	ノルウェー	503	ノルウェー	512	ポーランド	503	ベルギー	505
13	エストニア	501	リヒテンシュタイン	508	アイスランド	503	ノルウェー	505
14	スイス	501	アイスランド	507	ノルウェー	502	イギリス	503
15	ポーランド	500	スイス	505	スイス	502	エストニア	503
16	アイスランド	500	スウェーデン	505	ドイツ	501	アイルランド	502
17	アメリカ	500	エストニア	503	エストニア	500	スウェーデン	502
18	リヒテンシュタイン	499	デンマーク	502	台湾	499	ポーランド	498
19	スウェーデン	497	ハンガリー	501	リヒテンシュタイン	498	リヒテンシュタイン	498
20	ドイツ	497	ドイツ	501	フランス	497	スイス	497
21	アイルランド	496	ポーランド	500	ハンガリー	496	ポルトガル	496
22	フランス	496	アイルランド	498	アメリカ	495	アイスランド	496
23	台湾	495	台湾	496	スウェーデン	494	フランス	495
24	デンマーク	495	OECD平均	495	アイルランド	494	OECD平均	494
25	イギリス	494	マカオ	493	OECD平均	493	デンマーク	493
26	ハンガリー	494	アメリカ	492	デンマーク	492	台湾	493
	OECD平均	493	フランス	492	イギリス	491	ラトビア	492
27	ポルトガル	489	クロアチア	492	イタリア	490	ドイツ	491
28	マカオ	487	イギリス	491	スロベニア	489	ギリシャ	489
29	イタリア	486	スロバキア	491	マカオ	488	ハンガリー	489
30	ラトビア	484	スロベニア	489	チェコ	488	スペイン	483
31	スロベニア	483	ポルトガル	488	ポルトガル	487	イスラエル	483
32	ギリシャ	483	イタリア	482	ラトビア	484	イタリア	482
33	スペイン	481	スペイン	480	ギリシャ	484	マカオ	481
34	チェコ	478	チェコ	479	スロバキア	481	トルコ	473
35	スロバキア	477	オーストリア	477	スペイン	481	クロアチア	471
36	クロアチア	476	リトアニア	476	ルクセンブルグ	475	ルクセンブルグ	471
37	イスラエル	474	ラトビア	476	イスラエル	473	スロベニア	470
38	ルクセンブルグ	472	ルクセンブルグ	471	クロアチア	472	スロバキア	466
39	オーストリア	470	ロシア	469	オーストリア	471	ドバイ	466
40	リトアニア	468	ギリシャ	468	リトアニア	469	リトアニア	463
41	トルコ	464	トルコ	467	ロシア	467	オーストリア	463
42	ドバイ	459	イスラエル	463	トルコ	459	チェコ	462
43	ロシア	459	ドバイ	458	ドバイ	457	チリ	452
44	チリ	449	セルビア	449	チリ	452	ロシア	441
45	セルビア	442	チリ	444	セルビア	445	ウルグアイ	436
46	ブルガリア	429	メキシコ	433	ブルガリア	436	メキシコ	432
47	ウルグアイ	426	タイ	431	ルーマニア	425	セルビア	430
48	メキシコ	425	ブルガリア	430	ウルグアイ	423	チュニジア	427
49	ルーマニア	424	ウルグアイ	424	モンテネグロ	420	ルーマニア	426
50	タイ	421	ルーマニア	423	トリニダード・トバゴ	419	ブラジル	424
51	トリニダード・トバゴ	416	トリニダード・トバゴ	413	メキシコ	418	コロンビア	422
52	コロンビア	413	モンテネグロ	408	タイ	416	タイ	420
53	ブラジル	412	ブラジル	407	コロンビア	411	ブルガリア	417
54	モンテネグロ	408	コロンビア	404	ヨルダン	410	トリニダード・トバゴ	413
55	ヨルダン	405	インドネシア	399	ブラジル	406	インドネシア	409
56	チュニジア	404	カザフスタン	397	アルゼンチン	398	ヨルダン	407
57	インドネシア	402	アルゼンチン	394	インドネシア	397	アルゼンチン	402
58	アルゼンチン	398	ヨルダン	394	カザフスタン	397	モンテネグロ	383
59	カザフスタン	390	チュニジア	393	チュニジア	393	パナマ	377
60	アルバニア	385	アルバニア	380	アルバニア	393	アルバニア	376
61	カタール	372	ペルー	364	カタール	379	カタール	376
62	パナマ	371	パナマ	363	アゼルバイジャン	373	カザフスタン	373
63	ペルー	370	アゼルバイジャン	361	パナマ	372	ペルー	368
64	アゼルバイジャン	362	カタール	354	ペルー	371	アゼルバイジャン	335
65	キルギス	314	キルギス	299	キルギス	327	キルギス	300

## 数学的リテラシー

順位	国・地域	得点
1	上海	600
2	シンガポール	562
3	香港	555
4	韓国	546
5	台湾	543
6	フィンランド	541
7	リヒテンシュタイン	536
8	スイス	534
9	日本	529
10	カナダ	527
11	オランダ	526
12	マカオ	525
13	ニュージーランド	519
14	ベルギー	515
15	オーストラリア	514
16	ドイツ	513
17	エストニア	512
18	アイスランド	507
19	デンマーク	503
20	スロベニア	501
21	ノルウェー	498
22	フランス	497
23	スロバキア	497
24	オーストリア	496
	OECD平均	496
25	ポーランド	495
26	スウェーデン	494
27	チェコ	493
28	イギリス	492
29	ハンガリー	490
30	ルクセンブルグ	489
31	アメリカ	487
32	アイルランド	487
33	ポルトガル	487
34	スペイン	483
35	イタリア	483
36	ラトビア	482
37	リトアニア	477
38	ロシア	468
39	ギリシャ	466
40	クロアチア	460
41	ドバイ	453
42	イスラエル	447
43	トルコ	445
44	セルビア	442
45	アゼルバイジャン	431
46	ブルガリア	428
47	ルーマニア	427
48	ウルグアイ	427
49	チリ	421
50	タイ	419
51	メキシコ	419
52	トリニダード・トバゴ	414
53	カザフスタン	405
54	モンテネグロ	403
55	アルゼンチン	388
56	ヨルダン	387
57	ブラジル	386
58	コロンビア	381
59	アルバニア	377
60	チュニジア	371
61	インドネシア	371
62	カタール	368
63	ペルー	365
64	パナマ	360
65	キルギス	331

## 科学的リテラシー

順位	国・地域	得点
1	上海	575
2	フィンランド	554
3	香港	549
4	シンガポール	542
5	日本	539
6	韓国	538
7	ニュージーランド	532
8	カナダ	529
9	エストニア	528
10	オーストラリア	527
11	オランダ	522
12	台湾	520
13	ドイツ	520
14	リヒテンシュタイン	520
15	スイス	517
16	イギリス	514
17	スロベニア	512
18	マカオ	511
19	ポーランド	508
20	アイルランド	508
21	ベルギー	507
22	ハンガリー	503
23	アメリカ	502
	OECD平均	501
24	チェコ	500
25	ノルウェー	500
26	デンマーク	499
27	フランス	498
28	アイスランド	496
29	スウェーデン	495
30	オーストリア	494
31	ラトビア	494
32	ポルトガル	493
33	リトアニア	491
34	スロバキア	490
35	イタリア	489
36	スペイン	488
37	クロアチア	486
38	ルクセンブルグ	484
39	ロシア	478
40	ギリシャ	470
41	ドバイ	466
42	イスラエル	455
43	トルコ	454
44	チリ	447
45	セルビア	443
46	ブルガリア	439
47	ルーマニア	428
48	ウルグアイ	427
49	タイ	425
50	メキシコ	416
51	ヨルダン	415
52	トリニダード・トバゴ	410
53	ブラジル	405
54	コロンビア	402
55	モンテネグロ	401
56	アルゼンチン	401
57	チュニジア	401
58	カザフスタン	400
59	アルバニア	391
60	インドネシア	383
61	カタール	379
62	パナマ	376
63	アゼルバイジャン	373
64	ペルー	369
65	キルギス	330

(注) 網掛は非OECD加盟国・地域。

## 2. 第1回から第4回調査の国際比較

### 読解力

順位	PISA2000(32か国中)		PISA2003(41か国・地域中)		PISA2006(57か国・地域中)		PISA2009(65か国・地域中)	
1	フィンランド	546	フィンランド	543	韓国	556	上海	556
2	カナダ	534	韓国	534	フィンランド	547	韓国	539
3	ニュージーランド	529	カナダ	528	香港	536	フィンランド	536
4	オーストラリア	528	オーストラリア	525	カナダ	527	香港	533
5	アイルランド	527	リヒテンシュタイン	525	ニュージーランド	521	シンガポール	526
6	韓国	525	ニュージーランド	522	アイルランド	517	カナダ	524
7	イギリス	523	アイルランド	515	オーストラリア	513	ニュージーランド	521
8	日本	522	スウェーデン	514	リヒテンシュタイン	510	日本	520
9	スウェーデン	516	オランダ	513	ポーランド	508	オーストラリア	515
10	オーストリア	507	香港	510	スウェーデン	507	オランダ	508
11	ベルギー	507	ベルギー	507	オランダ	507	ベルギー	506
12	アイスランド	507	ノルウェー	500	ベルギー	501	ノルウェー	503
13	ノルウェー	505	スイス	499	エストニア	501	エストニア	501
14	フランス	505	日本	498	スイス	499	スイス	501
15	アメリカ	504	マカオ	498	日本	498	ポーランド	500

### 数学的リテラシー

順位	PISA2000(32か国中)		PISA2003(41か国・地域中)		PISA2006(57か国・地域中)		PISA2009(65か国・地域中)	
1	日本	557	香港	550	台湾	549	上海	600
2	韓国	547	フィンランド	544	フィンランド	548	シンガポール	562
3	ニュージーランド	537	韓国	542	香港	547	香港	555
4	フィンランド	536	オランダ	538	韓国	547	韓国	546
5	オーストラリア	533	リヒテンシュタイン	536	オランダ	531	台湾	543
6	カナダ	533	日本	534	スイス	530	フィンランド	541
7	スイス	529	カナダ	532	カナダ	527	リヒテンシュタイン	536
8	イギリス	529	ベルギー	529	マカオ	525	スイス	534
9	ベルギー	520	マカオ	527	リヒテンシュタイン	525	日本	529
10	フランス	517	スイス	527	日本	523	カナダ	527
11	オーストリア	515	オーストラリア	524	ニュージーランド	522	オランダ	526
12	デンマーク	514	ニュージーランド	523	ベルギー	520	マカオ	525
13	アイスランド	514	チェコ	516	オーストラリア	520	ニュージーランド	519
14	リヒテンシュタイン	514	アイスランド	515	エストニア	515	ベルギー	515
15	スウェーデン	510	デンマーク	514	デンマーク	513	オーストラリア	514

### 科学的リテラシー

順位	PISA2000(32か国中)		PISA2003(41か国・地域中)		PISA2006(57か国・地域中)		PISA2009(65か国・地域中)	
1	韓国	552	フィンランド	548	フィンランド	563	上海	575
2	日本	550	日本	548	香港	542	フィンランド	554
3	フィンランド	538	香港	539	カナダ	534	香港	549
4	イギリス	532	韓国	538	台湾	532	シンガポール	542
5	カナダ	529	リヒテンシュタイン	525	エストニア	531	日本	539
6	ニュージーランド	528	オーストラリア	525	日本	531	韓国	538
7	オーストラリア	528	マカオ	525	ニュージーランド	530	ニュージーランド	532
8	オーストリア	519	オランダ	524	オーストラリア	527	カナダ	529
9	アイルランド	513	チェコ	523	オランダ	525	エストニア	528
10	スウェーデン	512	ニュージーランド	521	リヒテンシュタイン	522	オーストラリア	527
11	チェコ	511	カナダ	519	韓国	522	オランダ	522
12	フランス	500	スイス	513	スロベニア	519	台湾	520
13	ノルウェー	500	フランス	511	ドイツ	516	ドイツ	520
14	アメリカ	499	ベルギー	509	イギリス	515	リヒテンシュタイン	520
15	ハンガリー	496	スウェーデン	506	チェコ	513	スイス	517

- (注) 1. 網掛は非OECD加盟国・地域。  
2. 16位以下は省略。

### 3. 日本における生徒の習熟度レベル分布の変化

